

# 令和2年度

## 第1回 市政モニターアンケート報告書

### テーマ

1. 環境に関する意識や行動について
2. 広報活動について
3. 消費者問題について
4. 文化芸術について
5. 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について

堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

# 目 次

■調査概要	1
■回答者属性	4
■調査結果	5
1. 環境に関する意識や行動について	
(1) 環境に対する意識について	5
《環境に関する用語の認知度》	5
《本市の環境に対する実感》	7
《環境問題への関心度》	9
《実現してほしい将来像》	11
(2) 環境に対する行動について	13
《マイバッグの使用状況》	13
《マイバッグを選ぶ際に重視した点①》	14
《マイバッグを選ぶ際に重視した点②》	15
《持っているマイバッグを使わない理由》	16
《レジ袋に支払える金額》	17
《マイボトルの使用状況》	18
《マイボトルに求めるもの》	19
《持っているマイボトルを使わない理由》	20
《マイボトル給水機が必要》	21
2. 広報活動について	
(1) 市政情報の入手について	23
《市政情報の入手方法》	23
(2) 広報紙について	26
《広報さかいを読む頻度》	26
《広報さかいの情報量》	27
《広報さかいの読みやすさ》	28
《広報さかいの文字の大きさ》	29
《広報さかいの写真やイラスト》	30
《広報さかいの読みたい情報の見つけやすさ》	31
《広報さかいで利用する情報》	32
《広報さかいを読まない理由》	34
《広報さかいで利用する情報》	35
《広報さかいのカラーページについて》	38
《広報さかいの規格・形態（サイズ）について》	39
《広報さかいの配布方法》	40
《広報さかいの配布方法》	41

《広報さかいへの希望》	42
<b>(3) 堺市くらしのガイドブックについて</b>	43
《堺市くらしのガイドブックの利用頻度》	43
《堺市くらしのガイドブックで利用する情報》	44
《堺市くらしのガイドブックを利用していない理由》	46
《堺市くらしのガイドブックの配布方法》	47
<b>(4) 堺市ホームページについて</b>	48
《堺市ホームページの利用頻度》	48
《堺市ホームページから入手する情報》	49
《堺市ホームページの利用方法》	51
《堺市政に関する情報の検索方法》	52
《堺市ホームページの利用しやすさ》	53
《堺市ホームページが利用しにくい理由》	54
《堺市ホームページを利用しない理由》	55
<b>(5) SNS について</b>	56
《堺市広報課 SNS の利用》	56
《SNS から入手する情報》	57
《SNS による堺市政に関する情報の入手希望》	59
《SNS から入手したい堺市政に関する情報》	60
《SNS から堺市政に関する情報の入手を希望しない理由》	61
<b>(6) インターネット動画について</b>	62
《堺動画チャンネルの視聴》	62
<b>3. 消費者問題について</b>	
<b>(1) 堺市立消費生活センターについて</b>	63
《消費生活センターの認知度》	63
<b>(2) 商品やサービスの不満や被害等について</b>	64
《商品購入やサービス利用上の経験》	64
《苦情の相談先》	66
《苦情を相談も伝えもしなかった理由》	68
<b>(3) 悪質商法等について</b>	69
《悪質商法にあった経験》	69
<b>(4) インターネットのトラブルについて</b>	71
《インターネットトラブルにあった経験》	71
<b>(5) 訪問販売・電話勧誘販売について</b>	73
《訪問販売や電話勧誘販売を受けた商品・サービス》	73
《訪問販売や電話勧誘販売についての感想》	77
《クーリング・オフ制度の認識度》	79
《訪問販売お断りシールの利用度》	80
《訪問販売お断りシールの効果》	81

《訪問販売お断りシールを利用しない理由》	82
<b>(6) 消費者教育・啓発について</b>	83
《18歳、19歳の未成年者取消権の認知度》	83
《消費者トラブルを防ぐ方法》	84
《消費者教育を受けた経験》	85
《消費者教育を受けた場所》	86
《消費生活で欲しい情報》	87
<b>(7) 計量について</b>	89
《計量業務の認知度》	89
《風袋（ふうたい）の取り扱いの認知度》	89
<b>(8) その他</b>	91
《市の取組として期待すること》	91
<b>4. 文化芸術について</b>	
<b>(1) 本市の文化的環境について</b>	92
《本市の文化的環境に対する満足度》	92
<b>(2) 文化芸術活動について</b>	93
《文化芸術活動のしやすさ》	93
《文化芸術活動の実施の有無》	94
《文化芸術活動を通じた国際交流の有無》	95
《文化芸術活動をしない理由》	96
<b>(3) 本市の歴史文化資源と文化芸術事業について</b>	99
《堺の歴史文化資源に対する誇りの有無》	99
《世界に誇れる堺の歴史文化資源》	100
《本市の文化芸術事業の認知度》	102
《堺のまちなみの魅力の有無》	104
<b>(4) 子どもの文化芸術体験について</b>	105
《子どもを対象とした文化芸術に触れる機会の提供に対する満足度》	105
《学校教育における文化芸術に触れる機会の提供に対する満足度》	106
<b>(5) 文化芸術に関する施設の利用について</b>	107
《文化芸術に関する施設利用》	107
<b>5. 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について</b>	
<b>(1) 自転車の「安全利用」「利用促進」について</b>	108
《自転車の利用頻度》	108
《コロナ禍後の利用頻度》	109
《自転車通勤・通学の割合》	110
《コミュニティサイクル、シェアサイクルの認知度》	111
《コミュニティサイクル、シェアサイクル事業の利用実績》	112
《ヘルメットの着用状況》	113
《自転車保険の加入状況》	114

《自転車歩道通行可の標識走行》 .....	116
《自転車のあおり運転》 .....	117
《自転車のあおり運転の情報収集手段》 .....	118
<b>(2) 自転車の通行環境について</b> .....	119
《自転車の通行位置》 .....	119
《自転車通行環境のルール・マナー》 .....	120
《自転車通行環境整備の通行頻度》 .....	121
《自転車通行環境整備の推進について》 .....	122
《自転車のまちづくりに対する自由意見》 .....	123

## ■調査概要

### 1. 調査目的

#### (1) 環境に関する意識や行動について

近年、地球環境を取り巻く状況は大きく変化しており、気候変動への適応策や海洋プラスチック問題など、新たな環境問題が取り沙汰されています。そのような中、国によって令和2年7月1日からプラスチック製買物袋（いわゆるレジ袋）が有料化されるなど、皆様の生活に大きく影響する取組も実施されています。

このアンケートは、環境に関する皆様の意識や行動をお聞きして、今後の環境施策を進める参考とさせていただくためのものです。

#### (2) 広報活動について

本市では、市民に開かれた市政、市民協働によるまちづくりを進めるため、さまざまな広報活動に取り組んでいます。現在、「広報さかい」「堺市くらしのガイドブック」「堺市ホームページ」「SNS」などの各種媒体を用いて広報活動を行い、広く市民と行政をつなぐ様々な活動を行っています。

今回のアンケートでは、本市の広報活動についての市民の皆様の意識や意見を調査し、今後の広報活動の充実に活用していきたいと考えています。

#### (3) 消費者問題について

近年、規制緩和や高度情報化・国際化の進展等により、社会経済情勢は大きく変化しています。これにより、多種多様な商品・サービスが様々な方法で提供されるなど、消費者の利便性や選択肢は大きく拡大しています。

本市では、多様化・複雑化する消費者問題に的確・迅速に対応するため、平成22年4月に「堺市消費生活条例」を施行し、消費生活相談による消費者トラブルへの対応や条例違反事業者に対する指導、被害を未然に防止するための情報提供などを行っています。また、平成28年2月に「消費者教育の推進」を重点課題のひとつとして策定した「第2期堺市消費者基本計画」を基に、市民の皆様が安全・安心な消費生活を営むことができる暮らしの実現をめざしています。

今回のアンケートは、市民の皆様がこれまでの生活の中で経験された消費者トラブルの実態や、消費者問題についてのご意見をお伺いすることで、本市消費者行政の課題等を明らかにし、今後の施策に反映させるなど、より効果的な取り組みの基礎資料とするために実施するものです。

#### (4) 文化芸術について

本市では、自らのまちを愛する心を共有し、誇りに感じることで「文化芸術創造のまち堺」をめざし、文化芸術の振興に関する施策を進めているところです。

今回のアンケートは、本市における文化芸術振興について市民の皆様のご意見をお伺いすることで、平成28年3月に策定した「自由都市堺文化芸術推進計画」の目標の達成度等を把握し、「自由都市堺文化芸術推進計画」の検証・評価に活用するものです。

## **(5) 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について**

本市では平成 26 年 10 月に「堺市自転車のまちづくり推進条例」を施行し、また、令和元年 8 月には、「堺市自転車利用環境計画〈追補版〉 - 重点アクションプラン -」を策定し、自転車のまちづくりを進めています。

また、「堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン 50km」に基づき、自転車通行環境整備に取り組んでいます。

今回のアンケートは、「自転車のまち 堺」として積極的に取り組んでいる自転車に関わる施策のうち、「安全利用・利用促進」に係る施策と「通行環境整備」の効果を検証するとともに、今後における施策展開の参考とするために実施するものです。

なお、設問については過去と同様のものがありますが、経年変化を確認しておりますのでご了承願います。

## **2. 調査期間**

令和 2 年 8 月 26 日（水）～令和 2 年 9 月 9 日（水）

## **3. テーマ担当課**

### **(1) 環境に関する意識や行動について**

環境局 環境都市推進部 環境政策課

### **(2) 広報活動について**

市長公室 広報戦略部 広報課

### **(3) 消費者問題について**

市民人権局 市民生活部 消費生活センター

### **(4) 文化芸術について**

文化観光局 文化部 文化課

### **(5) 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について**

建設局 自転車まちづくり部 自転車企画推進課、自転車環境整備課

## 4. 調査方法

### (1) 対象

市内在住在勤在学の18歳以上で、公募による市政モニター

### (2) 人数

498人（eモニター407人、郵送モニター91人）

### (3) 調査方法

調査票（回答用紙）への記入、インターネットを通じたアンケート回答

### (4) 回収率

回答対象者498人に対して、有効回収数486人 回収率97.6%となった。

## 5. 報告書の見方

(1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は486である。数表中のNは比例算出の基礎となる回答者総数を表している。

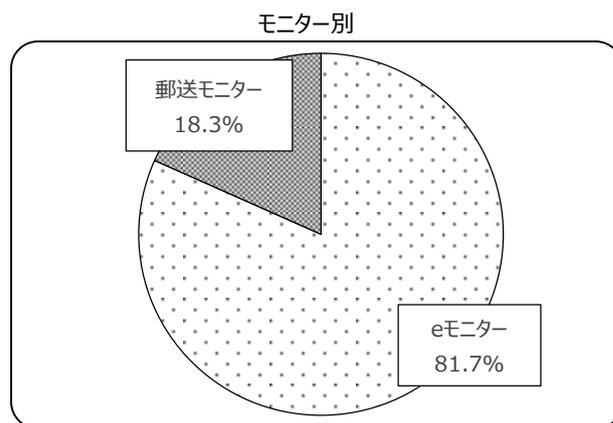
(2) 個々の選択比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。

(3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。

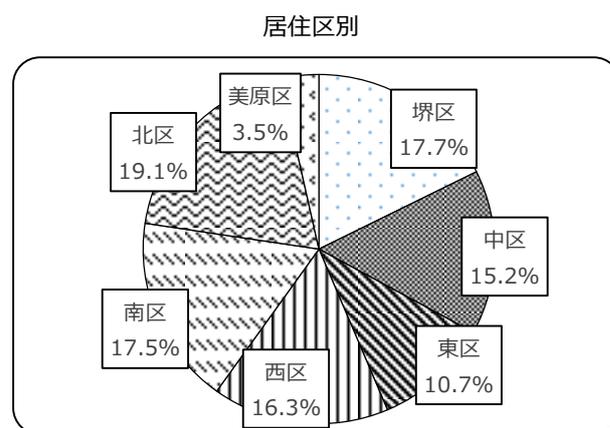
(4) 「その他記述」および「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

## ■回答者属性

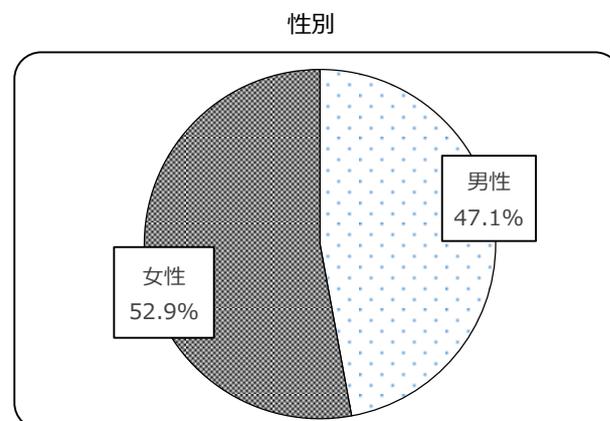
モニター別		回答数	構成比
1	eモニター	397	81.7%
2	郵送モニター	89	18.3%
	計	486	100.0%



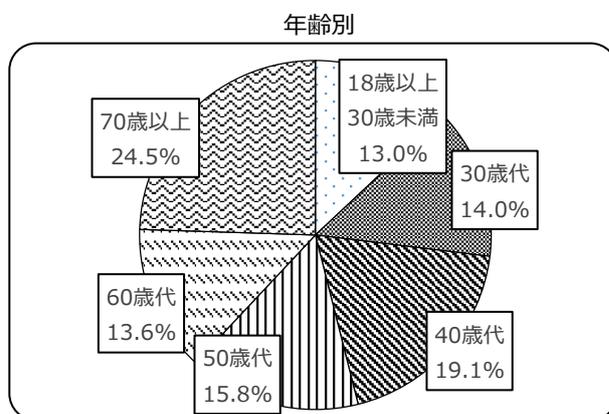
居住区別		回答数	構成比
1	堺区	86	17.7%
2	中区	74	15.2%
3	東区	52	10.7%
4	西区	79	16.3%
5	南区	85	17.5%
6	北区	93	19.1%
7	美原区	17	3.5%
	計	486	100.0%



性別		回答数	構成比
1	男性	229	47.1%
2	女性	257	52.9%
	計	486	100.0%



年齢別		回答数	構成比
1	18歳以上 30歳未満	63	13.0%
2	30歳代	68	14.0%
3	40歳代	93	19.1%
5	50歳代	77	15.8%
6	60歳代	66	13.6%
7	70歳以上	119	24.5%
	計	486	100.0%



## ■調査結果

### 1. 環境に関する意識や行動について

#### (1) 環境に対する意識について

《環境に関する用語の認知度》

問 1. あなたは次の用語をご存知ですか。  
つ】

【各項目：選択は1

#### (ア) SDGs（エス・ディー・ジーズ）

「言葉も意味も知っている」が31.9%、「言葉は知っているが意味は知らない」が22.2%と、言葉を知っている人の合計は54.1%となり、昨年度の33.4%と比べて増加している。

#### (イ) 気候変動への適応策

「言葉も意味も知っている」が41.4%、「言葉は知っているが意味は知らない」が23.3%と、言葉を知っている人の合計は64.7%となり、昨年度の57.3%と比べて増加している。

#### (ウ) ZEH（ゼッチ）

「言葉も意味も知っている」が12.8%、「言葉は知っているが意味は知らない」が10.1%と、言葉を知っている人の合計は22.9%となり、昨年度の14.5%と比べて増加している。

#### (エ) 海洋プラスチック問題

「言葉も意味も知っている」が85.4%、「言葉は知っているが意味は知らない」が10.5%と、言葉を知っている人の合計は95.9%となり、昨年度の87.9%と比べて増加している。

#### (オ) 4R

「言葉も意味も知っている」が53.1%、「言葉は知っているが意味は知らない」が16.0%と、言葉を知っている人の合計は69.1%となり、昨年度の50.7%と比べて増加している。

#### (カ) 食品ロス

「言葉も意味も知っている」が91.6%、「言葉は知っているが意味は知らない」が5.3%と、言葉を知っている人の合計は96.9%となり、昨年度の94.3%と比べて増加している。

#### (キ) 生物多様性

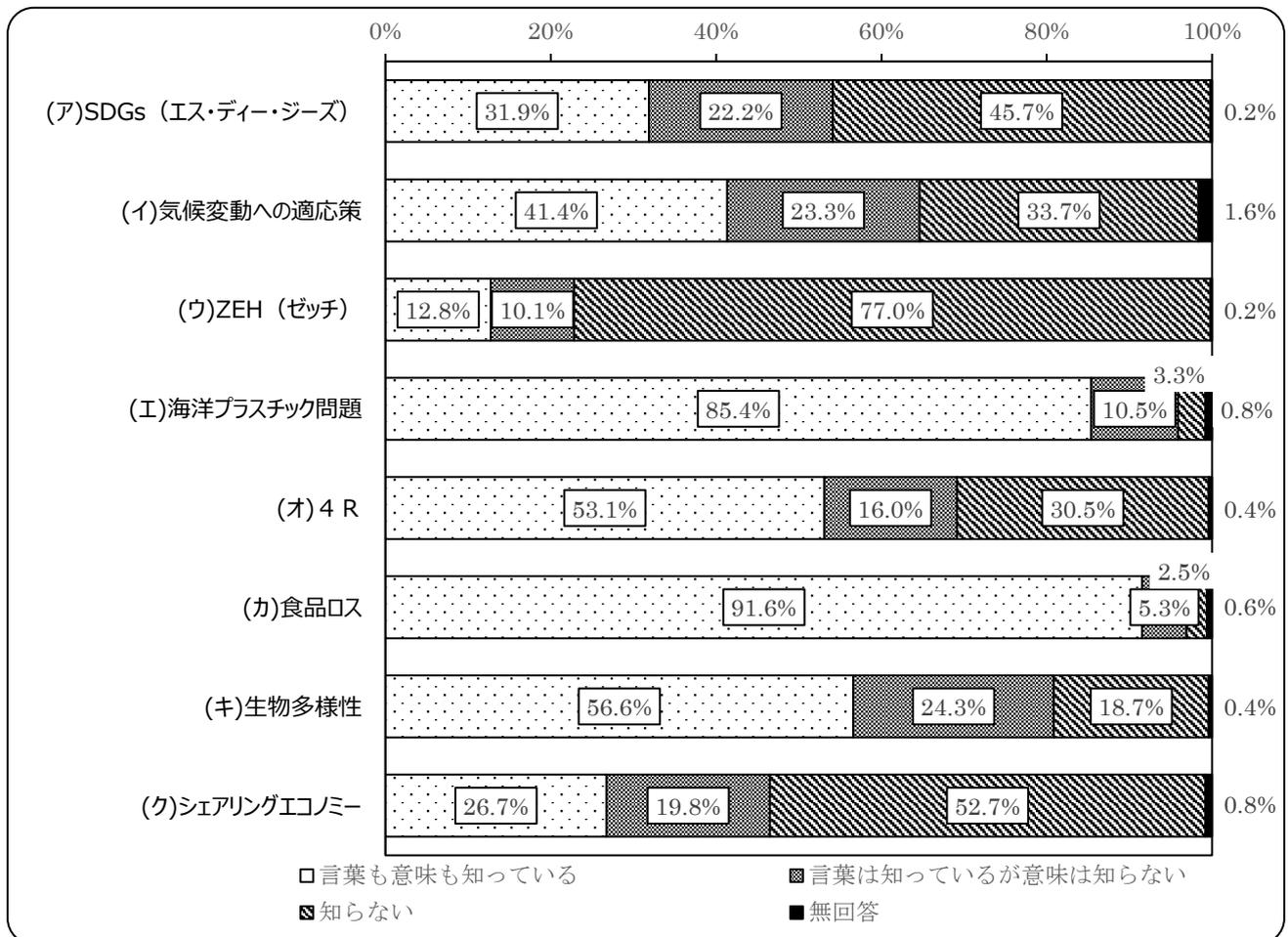
「言葉も意味も知っている」が56.6%、「言葉は知っているが意味は知らない」が24.3%と、言葉を知っている人の合計は80.9%となり、昨年度の72.6%と比べて増加している。

#### (ク) シェアリングエコノミー

「言葉も意味も知っている」が26.7%、「言葉は知っているが意味は知らない」が19.8%と、言葉を知っている人の合計は46.5%となっている。

昨年度の結果と比較して、(ア)～(キ)すべての用語の認知度が向上しており、環境に関する普及啓発・周知活動の効果が表れていると考えられる。

		言葉も意味も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	知らない	無回答	合計
(ア)	SDGs (エス・ディー・ジーズ)	155 31.9%	108 22.2%	222 45.7%	1 0.2%	486 100.0%
(イ)	気候変動への適応策	201 41.4%	113 23.3%	164 33.7%	8 1.6%	486 100.0%
(ウ)	ZEH (ゼッチ)	62 12.8%	49 10.1%	374 77.0%	1 0.2%	486 100.0%
(エ)	海洋プラスチック問題	415 85.4%	51 10.5%	16 3.3%	4 0.8%	486 100.0%
(オ)	4R	258 53.1%	78 16.0%	148 30.5%	2 0.4%	486 100.0%
(カ)	食品ロス	445 91.6%	26 5.3%	12 2.5%	3 0.6%	486 100.0%
(キ)	生物多様性	275 56.6%	118 24.3%	91 18.7%	2 0.4%	486 100.0%
(ク)	シェアリングエコノミー	130 26.7%	96 19.8%	256 52.7%	4 0.8%	486 100.0%



《本市の環境に対する実感》

問 2. 堺市全体の環境についてあてはまるものは次のうちどれですか。【複数選択可：いくつでも】

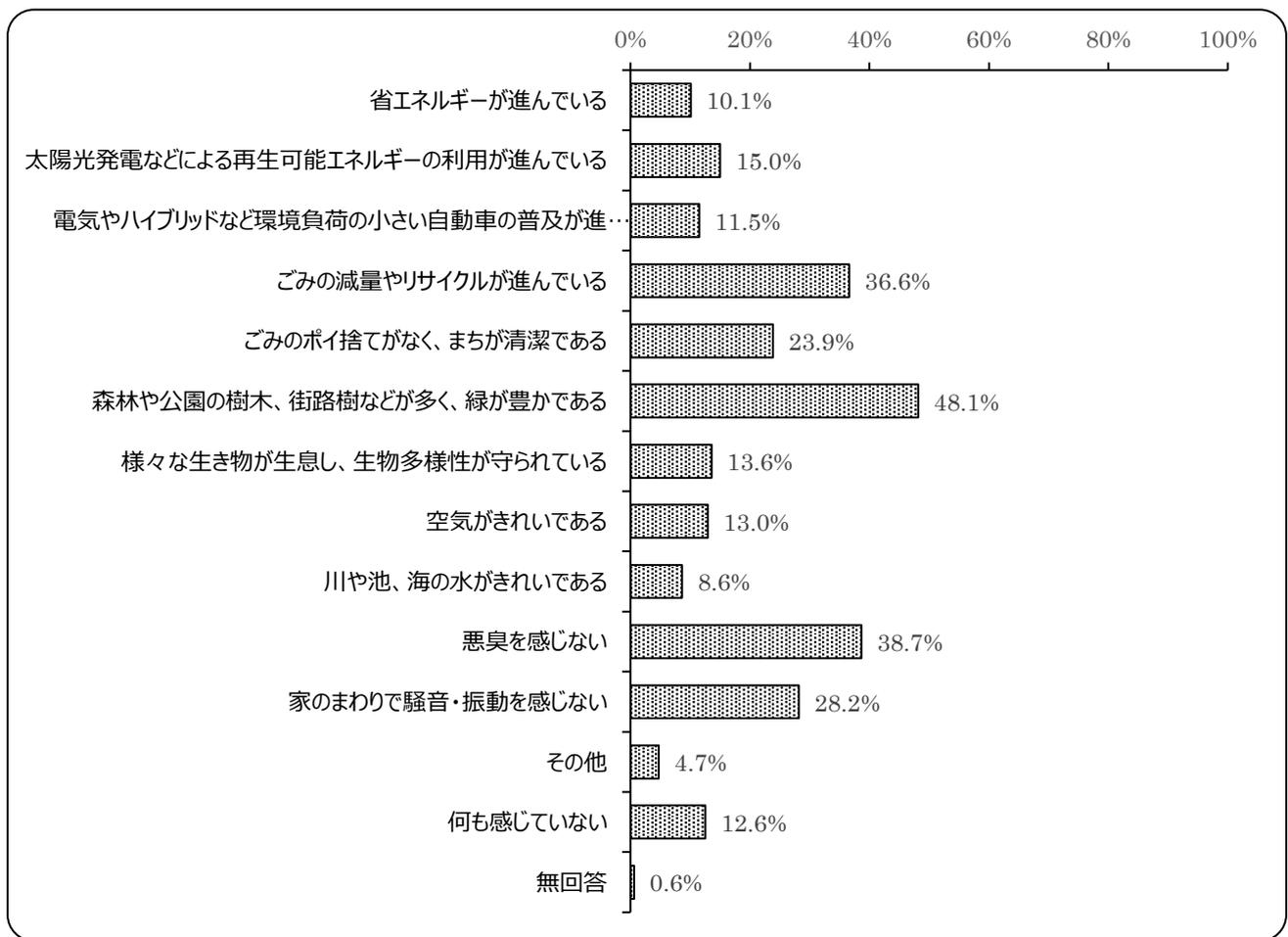
「森林や公園の樹木、街路樹などが多く、緑が豊かである」が48.1%で最も高く、次いで「悪臭を感じない」が38.7%と、他の項目と比較してまちの緑や生活環境が良いと実感している人が多い。一方で、「川や池、海の水がきれいである」が8.6%、「省エネルギーが進んでいる」が10.1%と低く、水質環境の改善や低炭素化について多くの人が実感できていないため、引き続き取組を実施・発信していく必要がある。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	省エネルギーが進んでいる	49	10.1%
2	太陽光発電などによる再生可能エネルギーの利用が進んでいる	73	15.0%
3	電気やハイブリッドなど環境負荷の小さい自動車の普及が進んでいる	56	11.5%
4	ごみの減量やリサイクルが進んでいる	178	36.6%
5	ごみのポイ捨てがなく、まちが清潔である	116	23.9%
6	森林や公園の樹木、街路樹などが多く、緑が豊かである	234	48.1%
7	様々な生き物が生息し、生物多様性が守られている	66	13.6%
8	空気がきれいである	63	13.0%
9	川や池、海の水がきれいである	42	8.6%
10	悪臭を感じない	188	38.7%
11	家のまわりで騒音・振動を感じない	137	28.2%
12	その他	23	4.7%
13	何も感じていない	61	12.6%
	無回答	3	0.6%
	計 (回答総数)	1,289	265.2%

[12 その他]

【主な回答】

- 道路、公園などの雑草が手入れされている。
- 中心部と住宅地の環境の差が大きい。
- 市内の環境は悪化していると感じる。
- 市の取組が実態に反映されていないので、もっと精力的に取り組んでほしい。



《環境問題への関心度》

問3. 関心のある環境問題は、次のうちどれですか。  
【複数選択可：いくつでも】

【複数選択可：いくつでも】

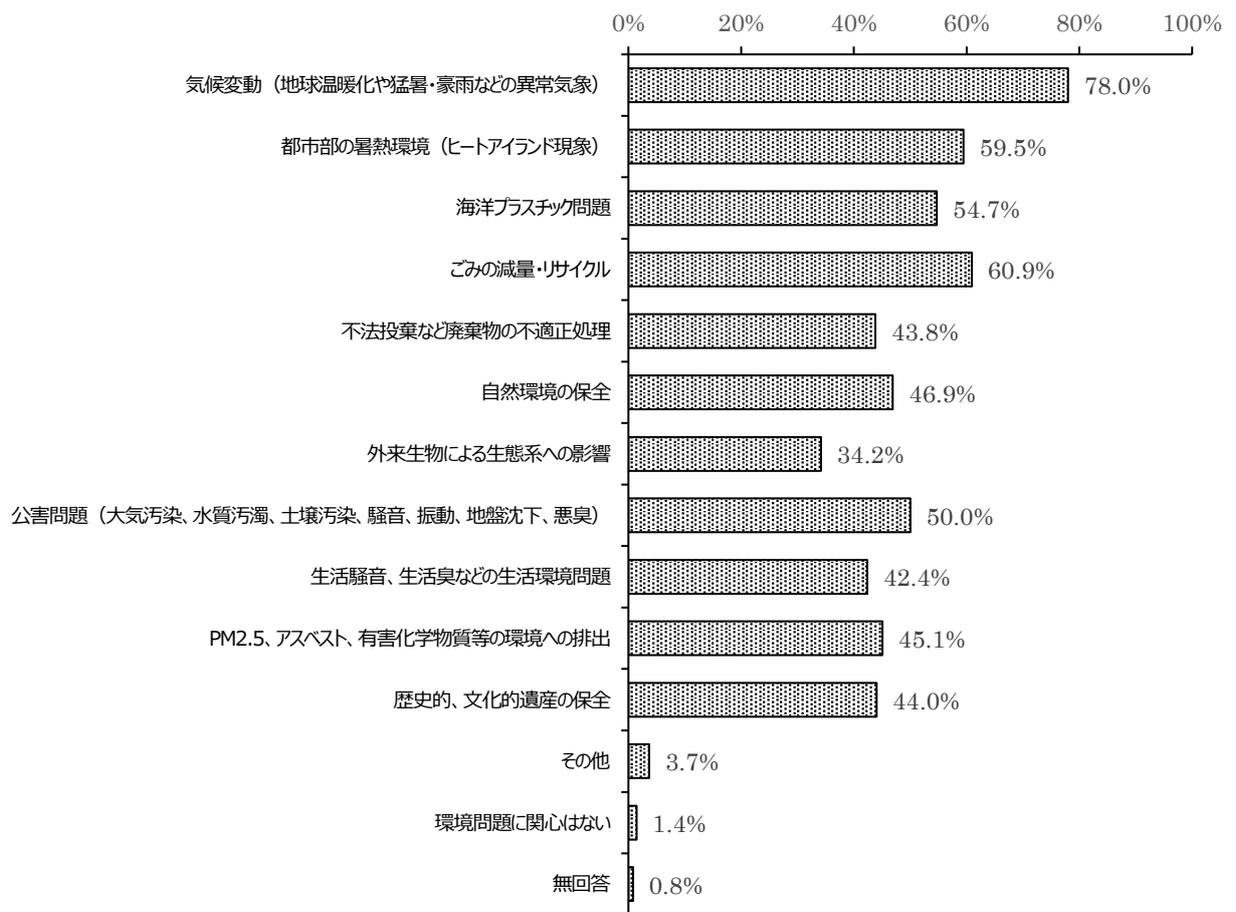
「気候変動（地球温暖化や猛暑・豪雨などの異常気象）」と回答した割合が78.0%と最も高く、次いで「ごみの減量・リサイクル」が60.9%、「都市部の暑熱環境（ヒートアイランド現象）」が59.5%、「海洋プラスチック問題」が54.7%と続いており、特に気候変動や資源循環の分野への関心の高さが伺える。また、「環境問題に関心がない」と回答した割合が1.4%であり、裏を返せば9割以上の人が環境問題に関心を持っていることが伺える。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	気候変動（地球温暖化や猛暑・豪雨などの異常気象）	379	78.0%
2	都市部の暑熱環境（ヒートアイランド現象）	289	59.5%
3	海洋プラスチック問題	266	54.7%
4	ごみの減量・リサイクル	296	60.9%
5	不法投棄など廃棄物の不適正処理	213	43.8%
6	自然環境の保全	228	46.9%
7	外来生物による生態系への影響	166	34.2%
8	公害問題（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）	243	50.0%
9	生活騒音、生活臭などの生活環境問題	206	42.4%
10	PM2.5、アスベスト、有害化学物質等の環境への排出	219	45.1%
11	歴史的、文化的遺産の保全	214	44.0%
12	その他	18	3.7%
13	環境問題に関心はない	7	1.4%
	無回答	4	0.8%
	計（回答総数）	2,748	565.4%

[12 その他]

【主な回答】

- 自然環境の適切な管理
- 仁徳天皇陵古墳の保全
- 空き家問題
- 人間同士が笑顔で生活できる環境づくり



《実現してほしい将来像》

問 4. 堺市で実現してほしい環境の将来像は、次のうちどれですか。 【複数選択可：いくつでも】

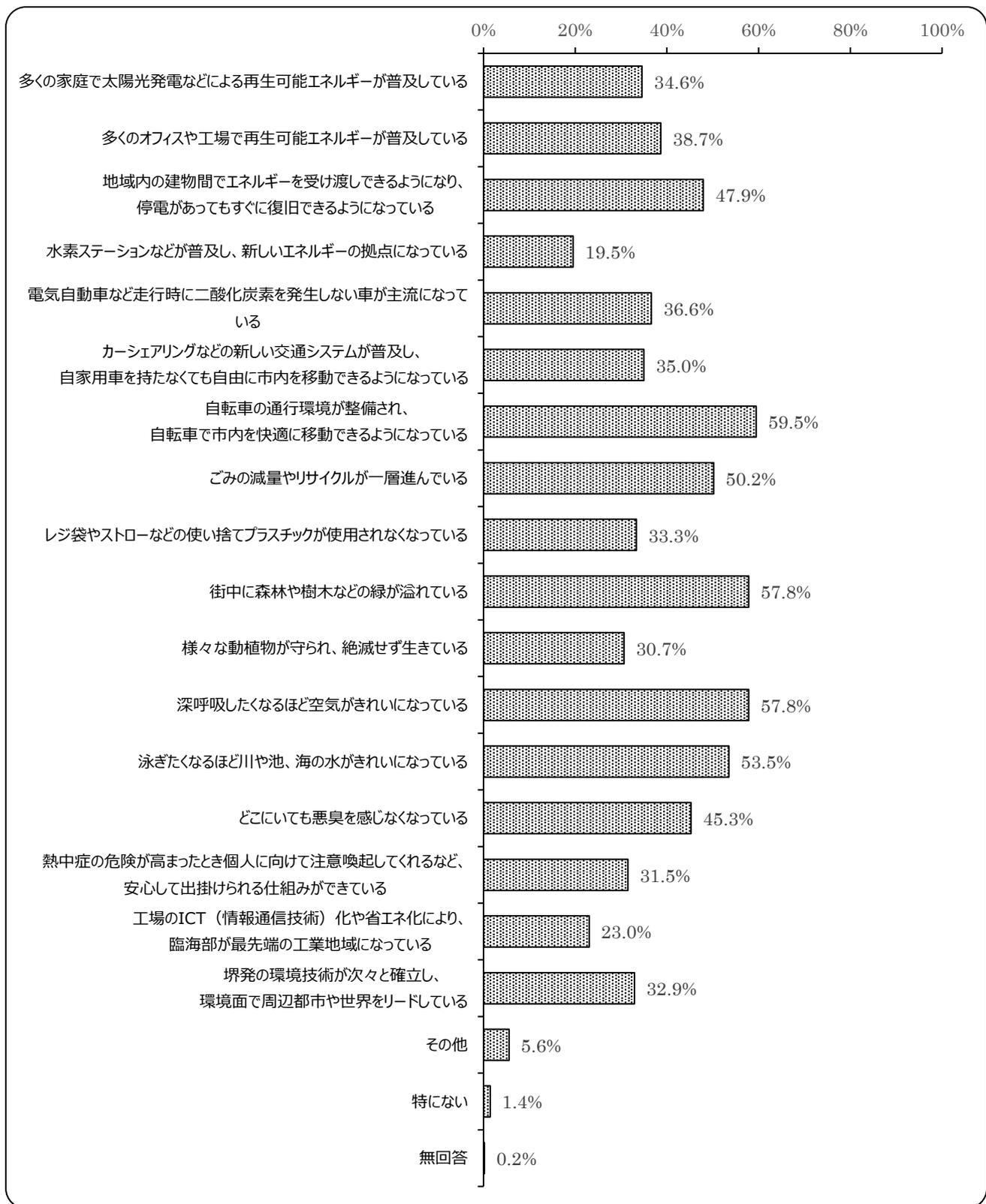
「自転車の通行環境が整備され、自転車で市内を快適に移動できるようになっている」が 59.5%で最も高く、「街中に森林や樹木などの緑が溢れている」と「深呼吸したくなるほど空気がきれいになっている」が 57.8%、「泳ぎたくなるほど川や池、海の水がきれいになっている」が 53.5%と続いており、生活における身近な環境が良くなってほしいと考えている人が多いことが伺える。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	多くの家庭で太陽光発電などによる再生可能エネルギーが普及している	168	34.6%
2	多くのオフィスや工場で再生可能エネルギーが普及している	188	38.7%
3	地域内の建物間でエネルギーを受け渡しできるようになり、停電があってもすぐに復旧できるようになっている	233	47.9%
4	水素ステーションなどが普及し、新しいエネルギーの拠点になっている	95	19.5%
5	電気自動車など走行時に二酸化炭素を発生しない車が主流になっている	178	36.6%
6	カーシェアリングなどの新しい交通システムが普及し、自家用車を持たなくても自由に市内を移動できるようになっている	170	35.0%
7	自転車の通行環境が整備され、自転車で市内を快適に移動できるようになっている	289	59.5%
8	ごみの減量やリサイクルが一層進んでいる	244	50.2%
9	レジ袋やストローなどの使い捨てプラスチックが使用されなくなっている	162	33.3%
10	街中に森林や樹木などの緑が溢れている	281	57.8%
11	様々な動植物が守られ、絶滅せず生きている	149	30.7%
12	深呼吸したくなるほど空気がきれいになっている	281	57.8%
13	泳ぎたくなるほど川や池、海の水がきれいになっている	260	53.5%
14	どこにいても悪臭を感じなくなっている	220	45.3%
15	熱中症の危険が高まったとき個人に向けて注意喚起してくれるなど、安心して出掛けられる仕組みができています	153	31.5%
16	工場の ICT (情報通信技術) 化や省エネ化により、臨海部が最先端の工業地域になっている	112	23.0%
17	堺発の環境技術が次々と確立し、環境面で周辺都市や世界をリードしている	160	32.9%
18	その他	27	5.6%
19	特になし	7	1.4%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	3,378	695.1%

[18 その他]

【主な回答】

- 路上喫煙が全面禁止されている。
- 環境負荷が少なくエネルギーを効率的に利用できる燃料電池が普及している。
- 道路等公共的な場所のバリアフリーが進んで、どんな人にとっても生活しやすい都市になっている。
- 街中や住宅街などいたるところに屋根付きベンチやミスト機能がある休憩場所やバスの停留所を設置し、移動の時に細かい休憩をとれるようになっている。



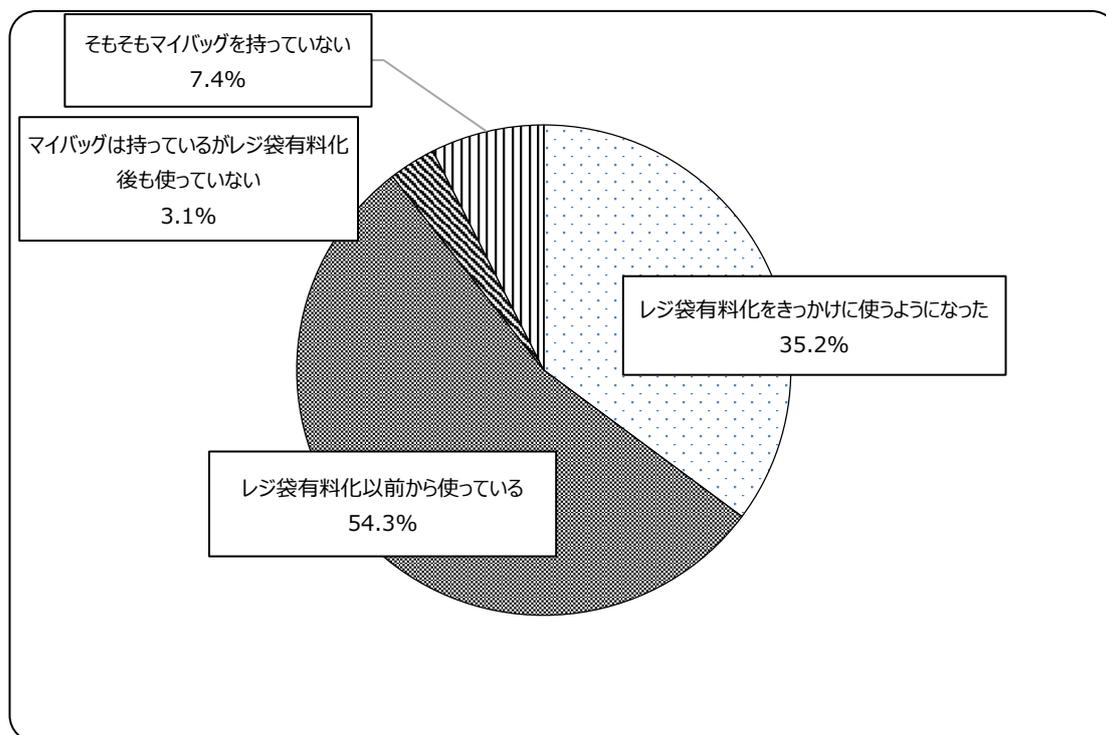
## (2) 環境に対する行動について

### 《マイバッグの使用状況》

問 5. 令和 2 年 7 月 1 日からレジ袋が有料化されましたが、繰り返し使えるマイバッグを普段使っていますか。 【選択は 1 つ】

「レジ袋有料化以前から使っている」(54.3%)、「レジ袋有料化をきっかけに使うようになった」(35.2%)の合計は 89.5%となり、レジ袋の有料化によってマイバッグの使用がさらに促進されたことがわかる。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	レジ袋有料化をきっかけに使うようになった	171	35.2%
2	レジ袋有料化以前から使っている	264	54.3%
3	マイバッグは持っているがレジ袋有料化後も使っていない	15	3.1%
4	そもそもマイバッグを持っていない	36	7.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《マイバッグを選ぶ際に重視した点①》

問6. 問5で「1 レジ袋有料化をきっかけに使うようになった」と回答された方に伺います。

マイバッグを選ぶ際、どのような点を一番重要視しましたか。

【選択は1つ】

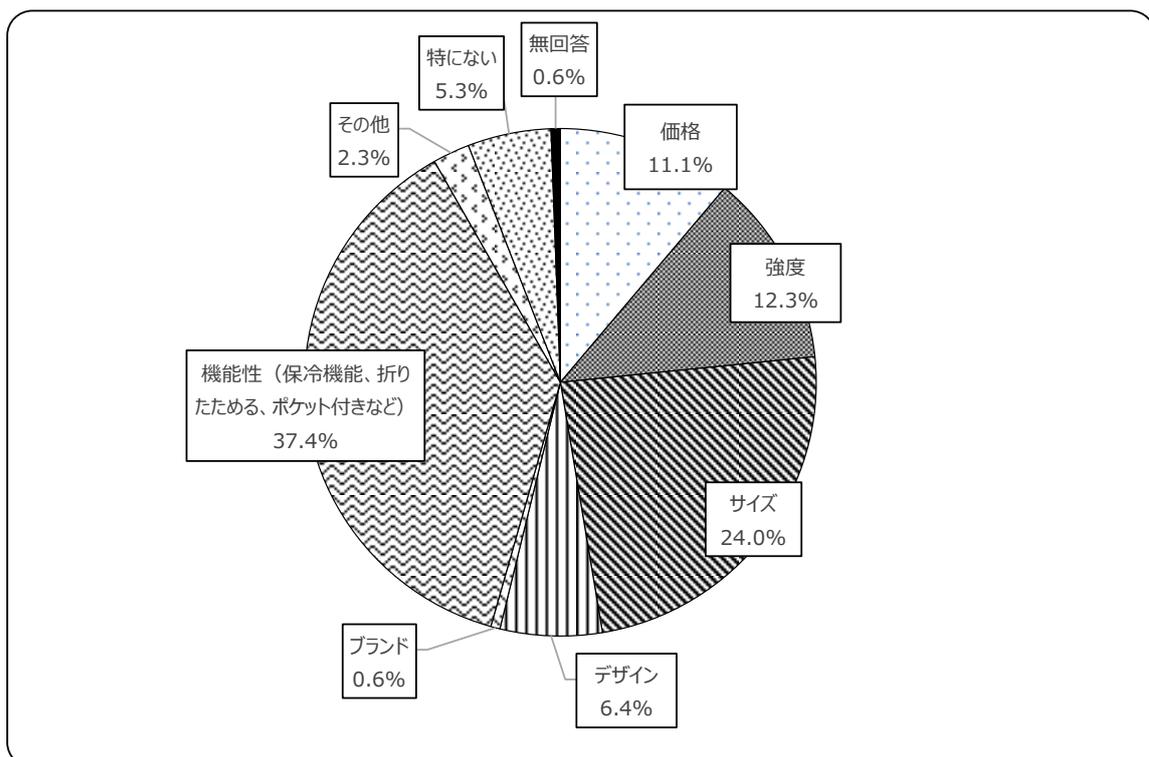
「機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）」が37.4%で最も高く、「サイズ」が24.0%、「強度」が12.3%、「価格」が11.1%と続いており、レジ袋の単なる代用品ではなく、付加価値を求めてマイバッグを選んでいる人が多いことが伺える。

	選択項目 (N=171)	回答数	構成比
1	価格	19	11.1%
2	強度	21	12.3%
3	サイズ	41	24.0%
4	デザイン	11	6.4%
5	ブランド	1	0.6%
6	機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）	64	37.4%
7	その他	4	2.3%
8	特にない	9	5.3%
	無回答	1	0.6%
	計 (回答総数)	171	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- 貰いものなので自分で選んでいない。
- 使いやすさ



《マイバッグを選ぶ際に重視した点②》

問7. 問5で「2 レジ袋有料化以前から使っている」と回答された方に伺います。

マイバッグを選ぶ際、どのような点を一番重要視しましたか。  
つ】

【選択は1

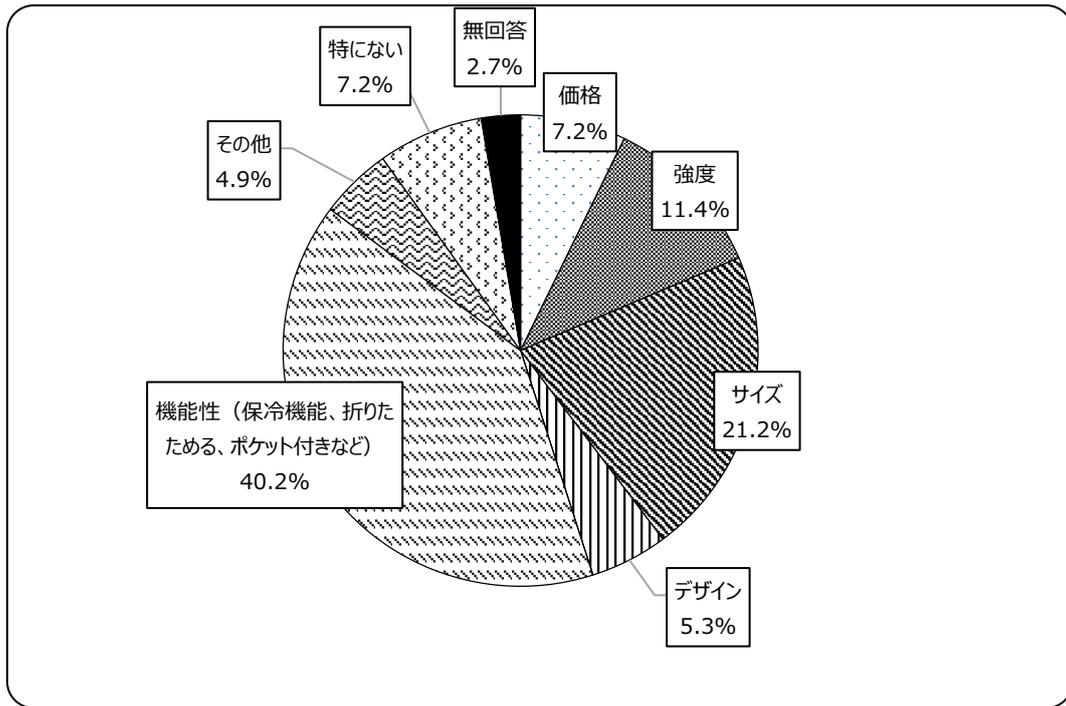
「機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）」が40.2%で最も高く、「サイズ」が21.2%、「強度」が11.4%、「価格」が7.2%と続いており、レジ袋有料化をきっかけにマイバッグを使うようになった人と同様の傾向を示した。マイバッグを使い始めたきっかけにかかわらず、マイバッグは付加価値を求めて選んでいる人が多いことが伺える。

	選択項目（N=264）	回答数	構成比
1	価格	19	7.2%
2	強度	30	11.4%
3	サイズ	56	21.2%
4	デザイン	14	5.3%
5	ブランド	0	0.0%
6	機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）	106	40.2%
7	その他	13	4.9%
8	特にない	19	7.2%
	無回答	7	2.7%
	計（回答総数）	264	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- 衛生的かどうか
- 洗濯可能かどうか
- 将来的にごみにならない素材で作られている
- 自分の家に前々からあったものを使っている



《持っているマイバッグを使わない理由》

問 8. 問 5 で「3 マイバッグは持っているがレジ袋有料化後も使っていない」と回答された方に伺います。

使っていない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

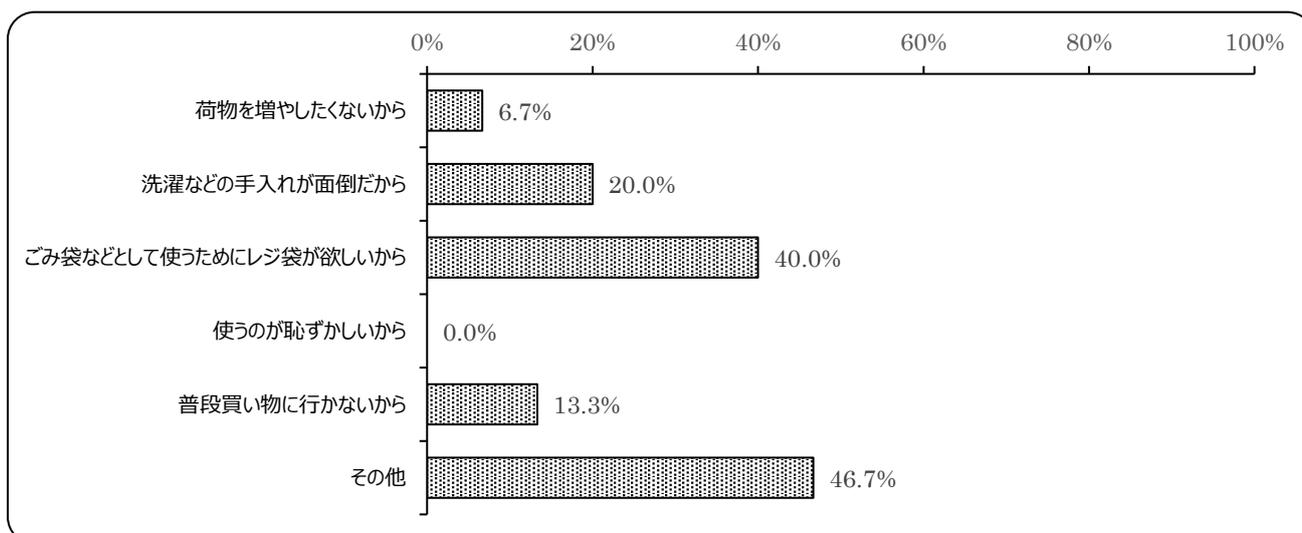
「ごみ袋などとして使うためにレジ袋が欲しいから」が 40.0%、「洗濯などの手入れが面倒だから」が 20.0%、「普段買い物に行かないから」が 13.3%と続いている。

	選択項目 (N=15)	回答数	構成比
1	荷物を増やしたくないから	1	6.7%
2	洗濯などの手入れが面倒だから	3	20.0%
3	ごみ袋などとして使うためにレジ袋が欲しいから	6	40.0%
4	使うのが恥ずかしいから	0	0.0%
5	普段買い物に行かないから	2	13.3%
6	その他	7	46.7%
	計 (回答総数)	19	126.7%

〔6 その他〕

【主な回答】

- 家で保存していたレジ袋を使い切ってからマイバッグに切り替える
- 買い物の目的によって必要なマイバッグの大きさが変わり、複数持ち歩くのが面倒だから
- レジ袋有料化が環境問題を免罪符とした経費削減という印象を受け、取組に反発するため
- つい持ち歩きを忘れてしまうため



#### 《レジ袋に支払える金額》

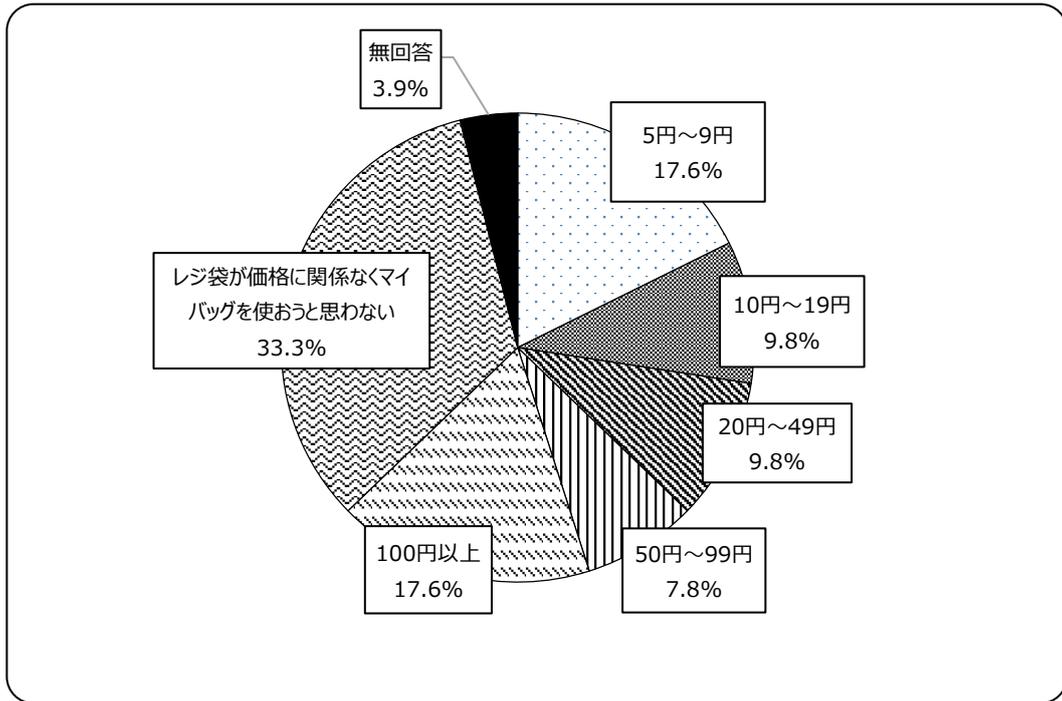
問9. 問5で「3 マイバッグは持っているがレジ袋有料化後も使っていない」「4 そもそもマイバッグを持っていない」と回答された方に伺います。

レジ袋が何円になればマイバッグを使おうと思いますか。

【選択は1つ】

レジ袋に支払える金額は人によって差はあるものの、レジ袋の価格が上がれば、項目1から5を選択した62.6%の人はマイバッグを使うと考えていることがわかる。しかし、レジ袋の価格に関係なくマイバッグを使わない人が33.3%いるため、マイバッグをさらに普及させるには、レジ袋有料化以外の取組も必要である。

	選択項目 (N=51)	回答数	構成比
1	5円～9円	9	17.6%
2	10円～19円	5	9.8%
3	20円～49円	5	9.8%
4	50円～99円	4	7.8%
5	100円以上	9	17.6%
6	レジ袋の価格に関係なくマイバッグを使おうと思わない	17	33.3%
	無回答	2	3.9%
	計 (回答総数)	51	100.0%

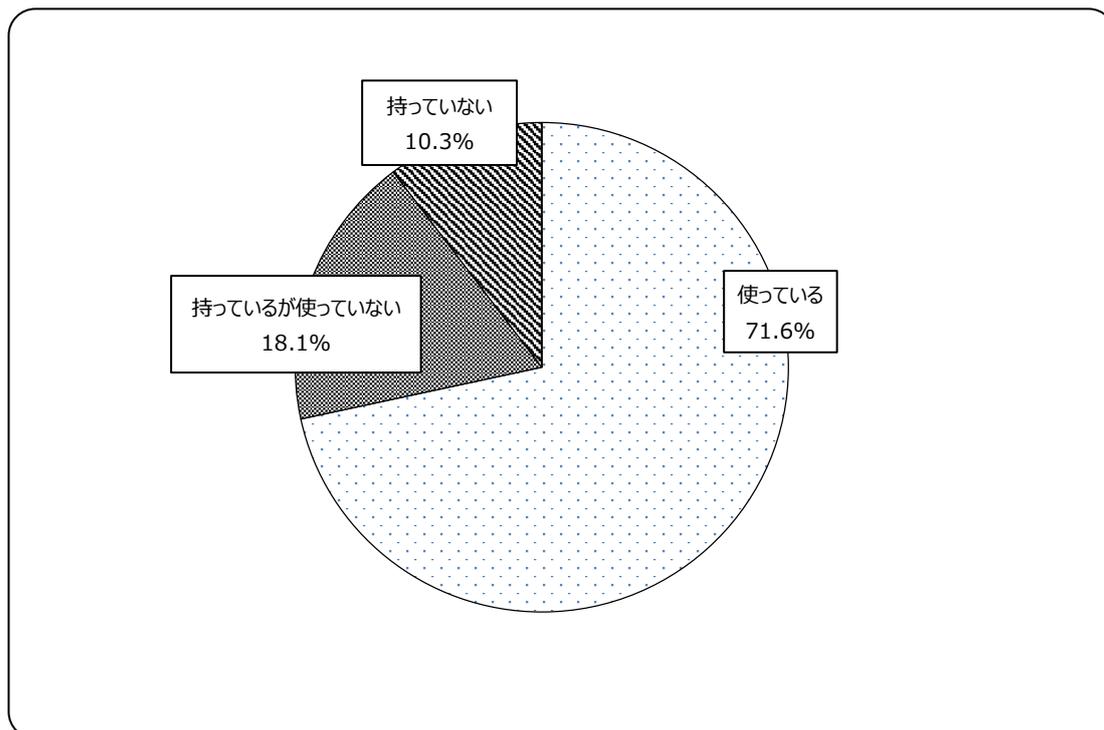


《マイボトルの使用状況》

問 10. 水筒やタンブラーなどの繰り返し使えるマイボトルを普段使っていますか。【選択は 1 つ】

「使っている」が71.6%、「持っているが使っていない」が18.1%と、すでに多くの方がマイボトルを所有しているが、一部の方は普段使いしていない状況が伺える。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	使っている	348	71.6%
2	持っているが使っていない	88	18.1%
3	持っていない	50	10.3%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《マイボトルに求めるもの》

問 11. 問 10 で「1 使っている」と回答された方に伺います。

マイボトルを選ぶ際、どのような点を重要視しましたか。

【選択は 1

つ】

「機能性（保温機能など）」が 40.2% で最も高く、「サイズ」が 30.2%、「価格」が 8.6%、「デザイン」が 6.9% と続いており、飲み物を自分の好きな状態で飲めて、飲みたい量を入れられるという点が重視されていることがわかる。

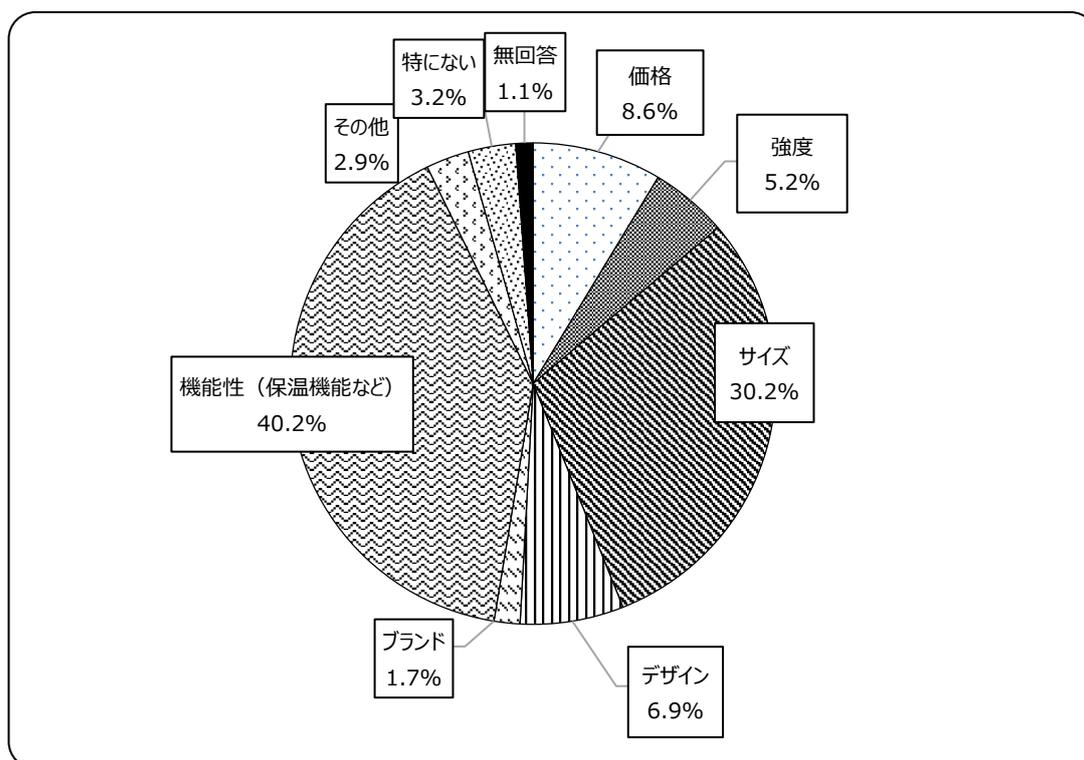
	選択項目 (N=348)	回答数	構成比
1	価格	30	8.6%
2	強度	18	5.2%
3	サイズ	105	30.2%
4	デザイン	24	6.9%
5	ブランド	6	1.7%

6	機能性（保温機能など）	140	40.2%
7	その他	10	2.9%
8	特にない	11	3.2%
	無回答	4	1.1%
		計（回答総数）	348
			100.0%

〔7 その他〕

【主な回答】

- サイズと機能性
- 氷が直接口に入らないよう差し口に仕切りがあること
- 洗いやすさなどメンテナンスの容易さ
- 抗菌仕様



《持っているマイボトルを使わない理由》

問 12. 問 10 で「2 持っているが使っていない」と回答された方に伺います。

使っていない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「荷物を増やしたくないから」が 63.6%、「洗浄などの手入れが面倒だから」が 39.8%、「買うときの気分で飲み物を選びたいから」が 29.5%と続いており、日常生活における手間の増加が普段使いへの障壁となっている状況が伺える。

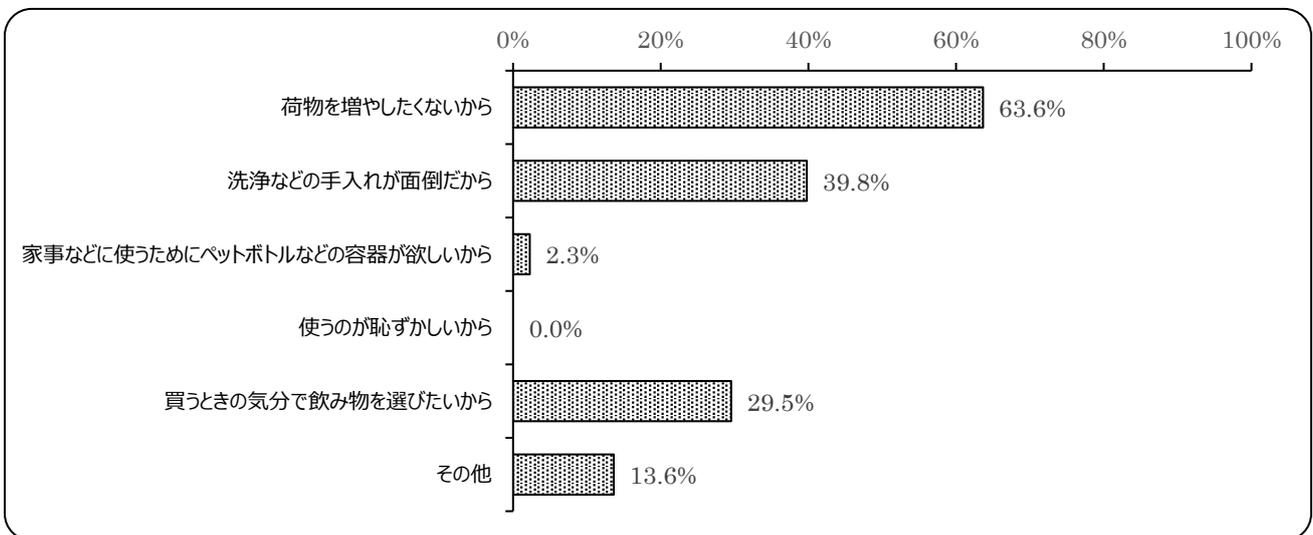
	選択項目（N=88）	回答数	構成比
1	荷物を増やしたくないから	56	63.6%
2	洗浄などの手入れが面倒だから	35	39.8%
3	家事などに使うためにペットボトルなどの容器が欲しいから	2	2.3%
4	使うのが恥ずかしいから	0	0.0%

5	買うときの気分で飲み物を選びたいから	26	29.5%
6	その他	12	13.6%
		計（回答総数）	131
			148.9%

〔6 その他〕

【主な回答】

- 短時間の外出しかしないから
- 夏場に1~2リットル水分補給する中で、通常の水筒では量が足りないから
- 外出時の水分補給は不要と思っているから
- 在宅勤務になり外出する頻度が減ったから



《マイボトル給水機の需要》

問 13. 問 10 で「2 持っているが使っていない」「3 そもそも持っていない」と回答した方に伺います。

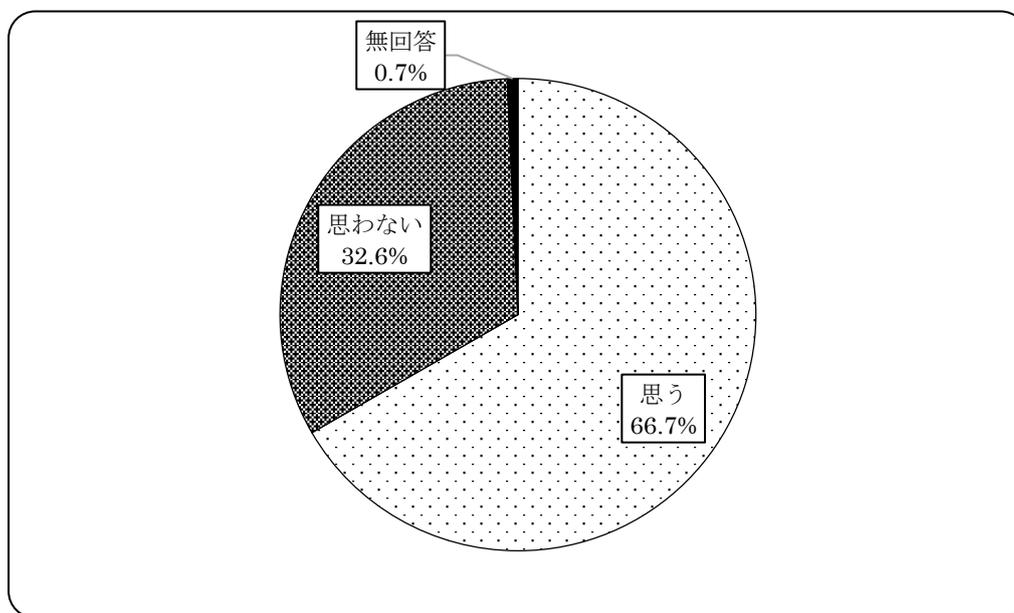
市内の様々な施設に写真のようなマイボトル用の給水機が置かれ、いつでも無料で利用できるなら、マイボトルを持ち歩こうと思いますか。

【選択は1つ】

「思う」が 66.7%、「思わない」が 32.6%と、給水機があればマイボトルを持ち歩きたいと多くの方が考えている様子が伺える。マイボトルを使う人を増やすために、給水機の設置は効果的な取組であることが伺える。

選択項目（N=138）	回答数	構成比
-------------	-----	-----

1	思う	92	66.7%
2	思わない	45	32.6%
	無回答	1	0.7%
		計（回答総数）	138
			100.0%



「2 思わない」と回答された方は、その理由を教えてください。

【自由記述】

述】

【給水機の設置場所について】

- いつも行く場所に設置されるなら使おうと思うが、給水機を使うためだけにそこへ行こうとは思わない。
- 普段市の公共施設に行かないから
- 駅の構内や通勤経路にあれば使うかもしれない。

【衛生面への不安について】

- 不特定多数の人が利用するので衛生的に不安はあるが、熱中症予防にも役立つと思うので清潔であれば利用したい。

- 給水機内部の衛生面が不安だから
- 全ての給水口を衛生的に保つことは困難だと思うから
- 給水機の水質が気になるから
- 給水機の衛生・メンテナンス等の管理状況が分からないから
- 新型コロナウイルスや他の感染症の影響が危惧されるから

【利用マナーへの不安について】

- ペット用のボトルをそのまま使って給水する人がいる可能性があるから
- 大量に空容器を持ってきて給水を占領し、順番待ちしないといけない可能性があるから
- 悪意のある人が給水機に薬物や汚染物を混入させる可能性があるから

【水の飲用について】

- お茶かコーヒーが出れば使いたいが、水なら使いたくない。
- 水を飲むことがほとんどないから
- 水を飲むのが苦手だから
- 蛇口から出る水道水をそのまま飲めば十分だから

【マイボトルの利便性について】

- マイボトルを持ち歩くのがめんどうだから
- マイボトルが荷物になるから
- マイボトルを毎日洗って清潔にするのがめんどうだから
- 飲みたい時に近くでペットボトル飲料を買う方が早いから
- マイボトルがなくてもあまり不自由を感じないから

【その他】

- 市民全員へのサービスでなく特定の市民だけが利用できる状態になるので好ましくない。
- 設置するなら若干の金額であっても有料にして、より手厚いサービスを提供すべき
- 直接水が飲める冷水器を設置するほうが便利

## 2. 広報活動について

### (1) 市政情報の入手について

《市政情報の入手方法》

問 14. 堺市政に関する情報（市役所の情報）を何で入手していますか。

【複数選択可：いくつでも】

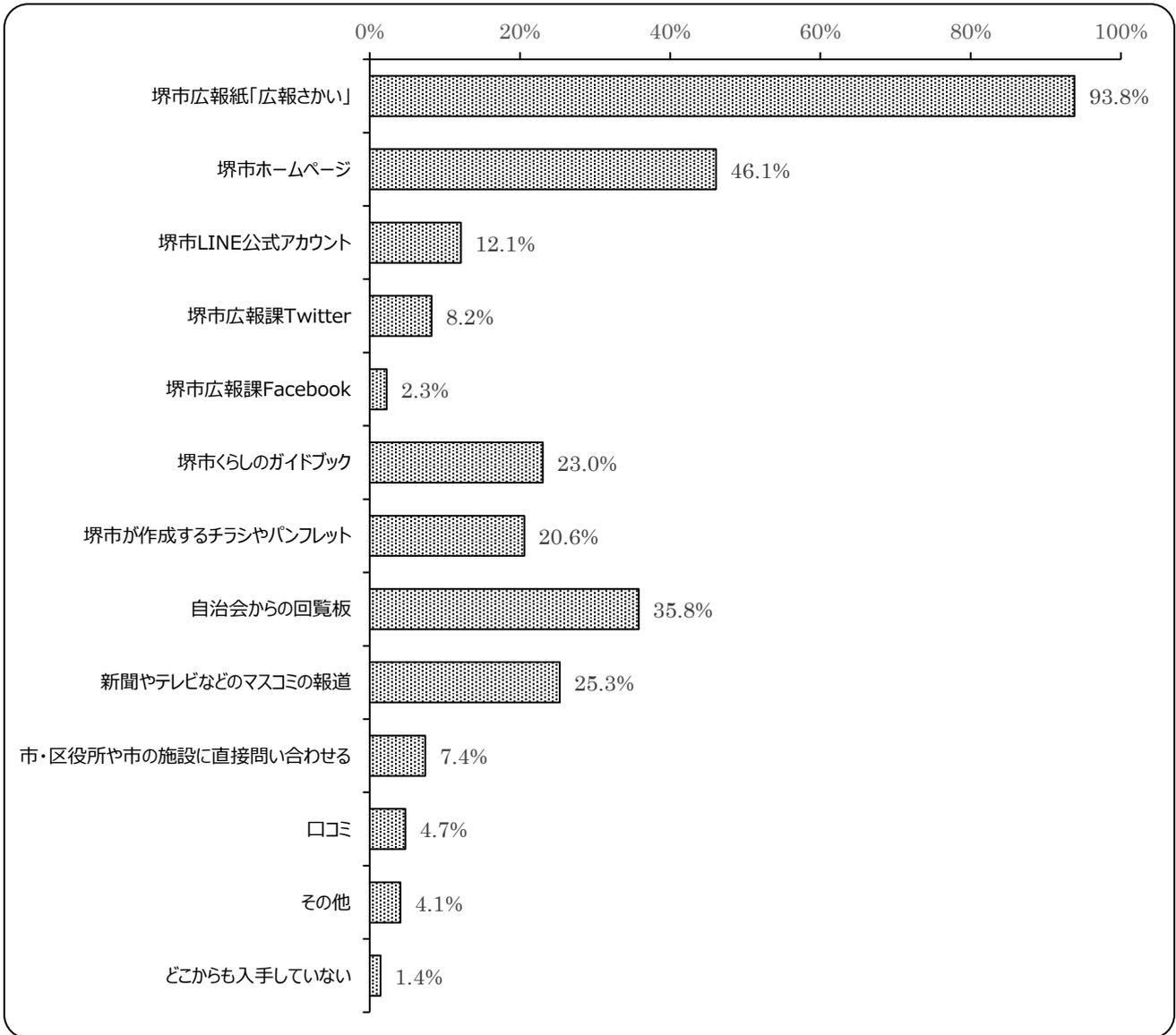
「広報さかい」が 93.8%と最も多く、昨年度の 91.6%を上回った。次いで「堺市ホームページ」が 46.1%と、昨年度の 37.6%から上昇している。SNS は、「堺市 LINE 公式アカウント」が 12.1%、「堺市広報課 Twitter」が 8.2%、「堺市広報課 Facebook」が 2.3%となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	堺市広報紙「広報さかい」	456	93.8%
2	堺市ホームページ	224	46.1%
3	堺市 LINE 公式アカウント	59	12.1%
4	堺市広報課 Twitter	40	8.2%
5	堺市広報課 Facebook	11	2.3%
6	堺市くらしのガイドブック	112	23.0%
7	堺市が作成するチラシやパンフレット	100	20.6%
8	自治会からの回覧板	174	35.8%
9	新聞やテレビなどのマスコミの報道	123	25.3%
10	市・区役所や市の施設に直接問い合わせる	36	7.4%
11	口コミ	23	4.7%
12	その他	20	4.1%
13	どこからも入手していない	7	1.4%
	計 (回答総数)	1,385	285.0%

〔12 その他〕

【主な回答】

- 町内の掲示板
- 市長の Twitter



## (2) 広報紙について

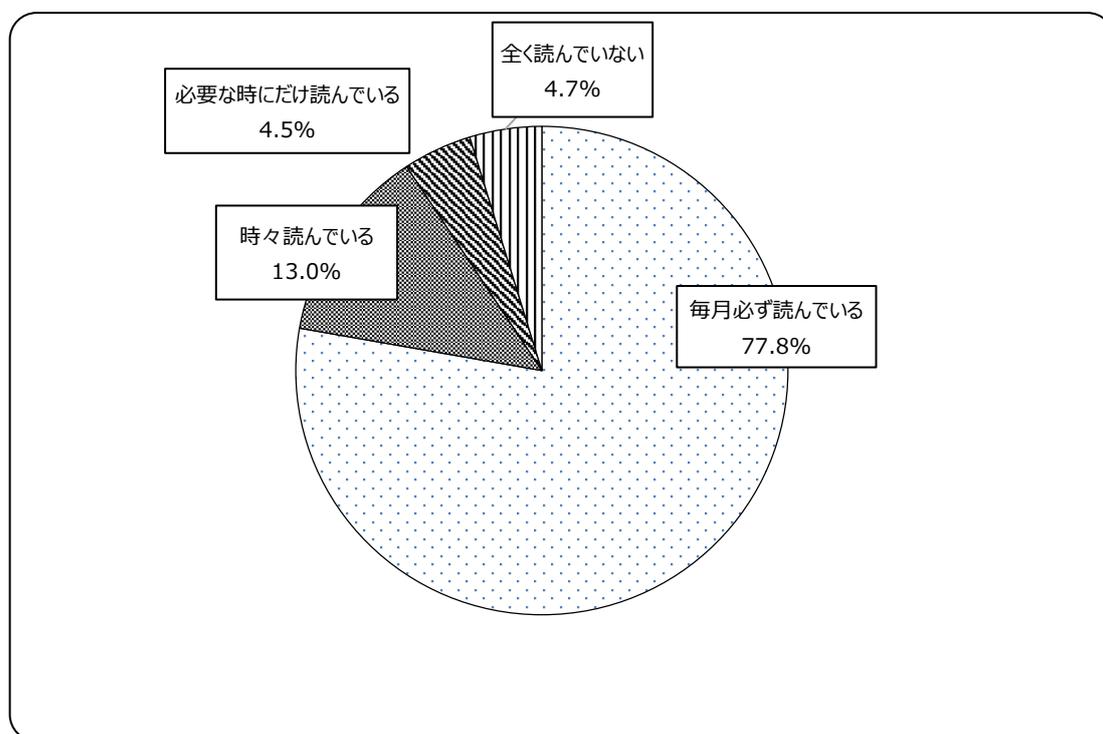
《広報さかいを読む頻度》

問 15. 「広報さかい」を読んだことがありますか。  
つ】

【選択は 1

「毎月必ず読んでいる」77.8%、「時々読んでいる」13.0%、「必要な時にだけ読んでいる」4.5%の合計が95.3%となっており、昨年度の 93.7%を上回った。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	毎月必ず読んでいる	378	77.8%
2	時々読んでいる	63	13.0%
3	必要な時にだけ読んでいる	22	4.5%
4	全く読んでいない	23	4.7%
	計 (回答総数)	486	100.0%



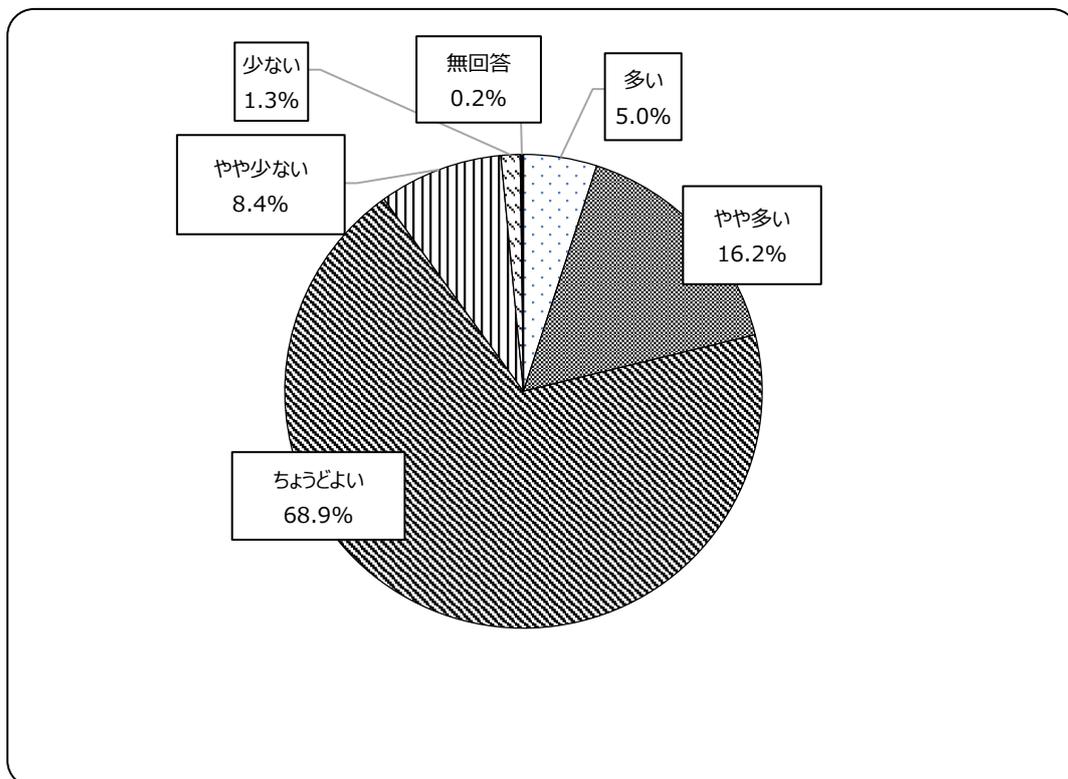
《広報さかいの情報量》

問 16. 問 15 で「1 毎月必ず読んでいる」「2 時々読んでいる」「3 必要な時にだけ読んでいる」と回答された方に伺います。

あなたは、「広報さかい」の紙面全体の情報量について、次の中からあてはまるものを選択してください。 【選択は1つ】

「ちょうどよい」が 68.9%を占めた。「多い」5.0%、「やや多い」16.2%の合計は 21.2%となっており、「やや少ない」8.4%、「少ない」1.3%の合計 9.7%を上回った。

	選択項目 (N=463)	回答数	構成比
1	多い	23	5.0%
2	やや多い	75	16.2%
3	ちょうどよい	319	68.9%
4	やや少ない	39	8.4%
5	少ない	6	1.3%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	463	100.0%



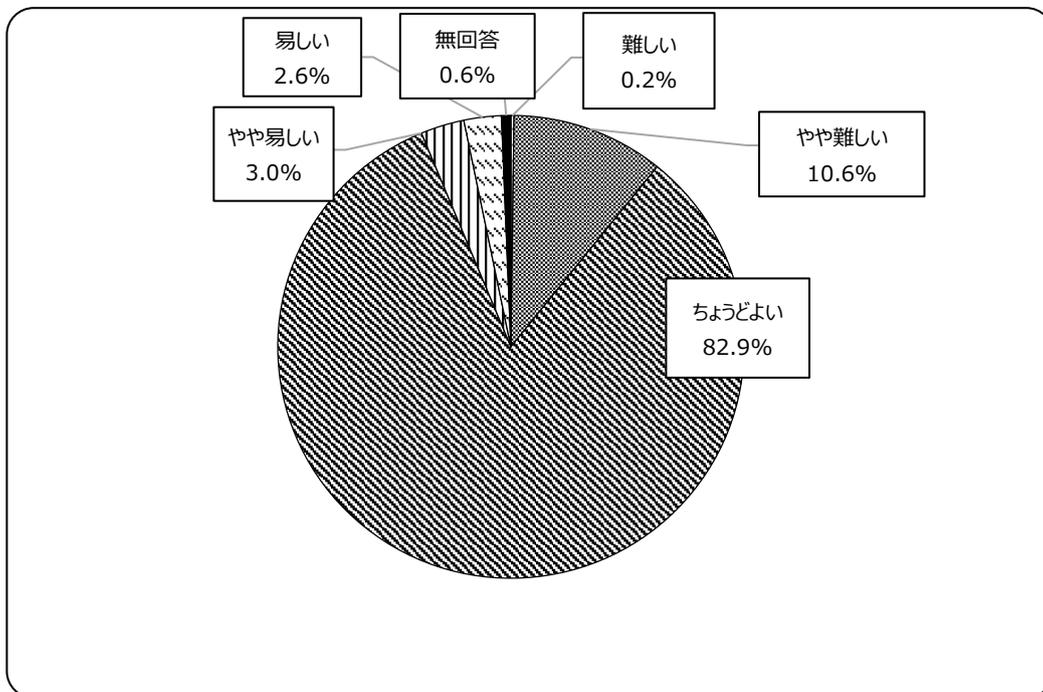
《広報さかいの読みやすさ》

問 17. 問 15 で「1 毎月必ず読んでいる」「2 時々読んでいる」「3 必要な時にだけ読んでいる」と回答された方に伺います。

あなたは、「広報さかい」の内容や文章表現について、次の中からあてはまるものを選択してください。 【選択は 1 つ】

「ちょうどよい」が 82.9%を占めた。「難しい」0.2%、「やや難しい」10.6%の合計は 10.8%となっており、「やや易しい」3.0%、「易しい」2.6%の合計 5.6%を上回った。

	選択項目 (N=463)	回答数	構成比
1	難しい	1	0.2%
2	やや難しい	49	10.6%
3	ちょうどよい	384	82.9%
4	やや易しい	14	3.0%
5	易しい	12	2.6%
	無回答	3	0.6%
	計 (回答総数)	463	100.0%

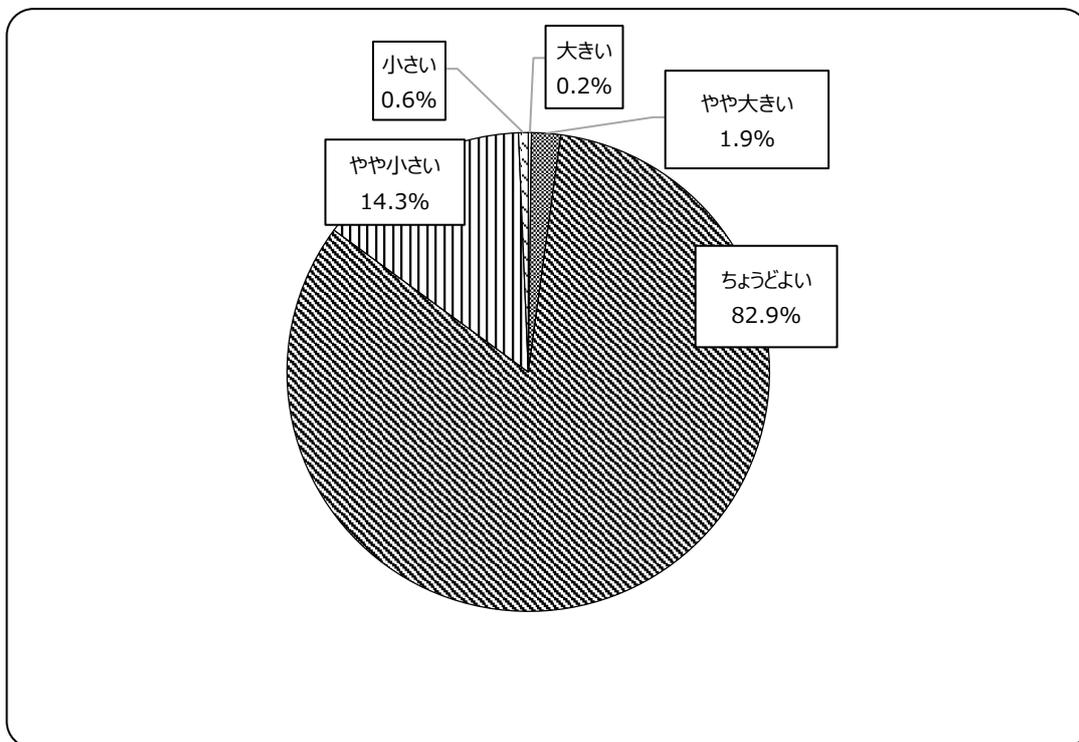


《広報さかいの文字の大きさ》

問 18. 問 15 で「1 毎月必ず読んでいる」「2 時々読んでいる」「3 必要な時にだけ読んでいる」と回答された方に伺います。  
 あなたは、「広報さかい」の文字の大きさについて、次の中からあてはまるものを選択してください。 【選択は1つ】

「ちょうどよい」が 82.9% を占めた。「やや小さい」14.3%、「小さい」0.6% の合計は 14.9% となっており、「大きい」0.2%、「やや大きい」1.9% の合計 2.1% を上回った。

	選択項目 (N=463)	回答数	構成比
1	大きい	1	0.2%
2	やや大きい	9	1.9%
3	ちょうどよい	384	82.9%
4	やや小さい	66	14.3%
5	小さい	3	0.6%
	計 (回答総数)	463	100.0%



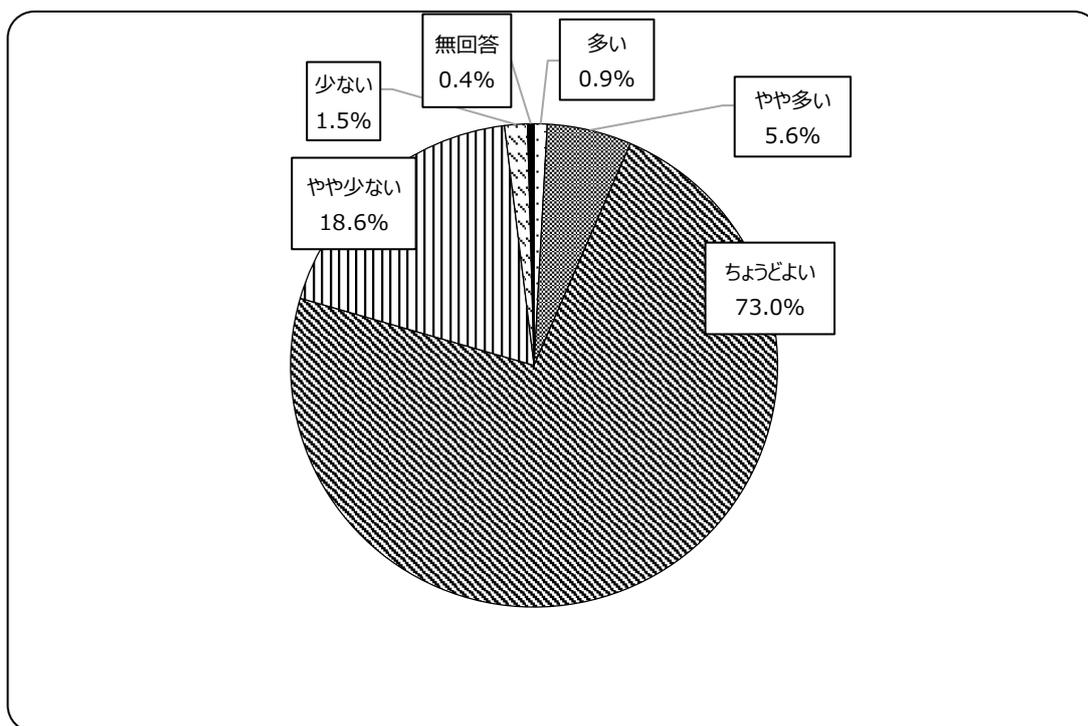
《広報さかいの写真やイラスト》

問 19. 問 15 で「1 毎月必ず読んでいる」「2 時々読んでいる」「3 必要な時にだけ読んでいる」と回答された方に伺います。

あなたは、「広報さかい」の写真やイラストの量について、次の中からあてはまるものを選択してください。 【選択は1つ】

「ちょうどよい」が 73.0%を占めた。「やや少ない」18.6%、「少ない」1.5%の合計は 20.1%となっており、「多い」0.9%、「やや多い」5.6%の合計 6.5%を上回った。

	選択項目 (N=463)	回答数	構成比
1	多い	4	0.9%
2	やや多い	26	5.6%
3	ちょうどよい	338	73.0%
4	やや少ない	86	18.6%
5	少ない	7	1.5%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	463	100.0%

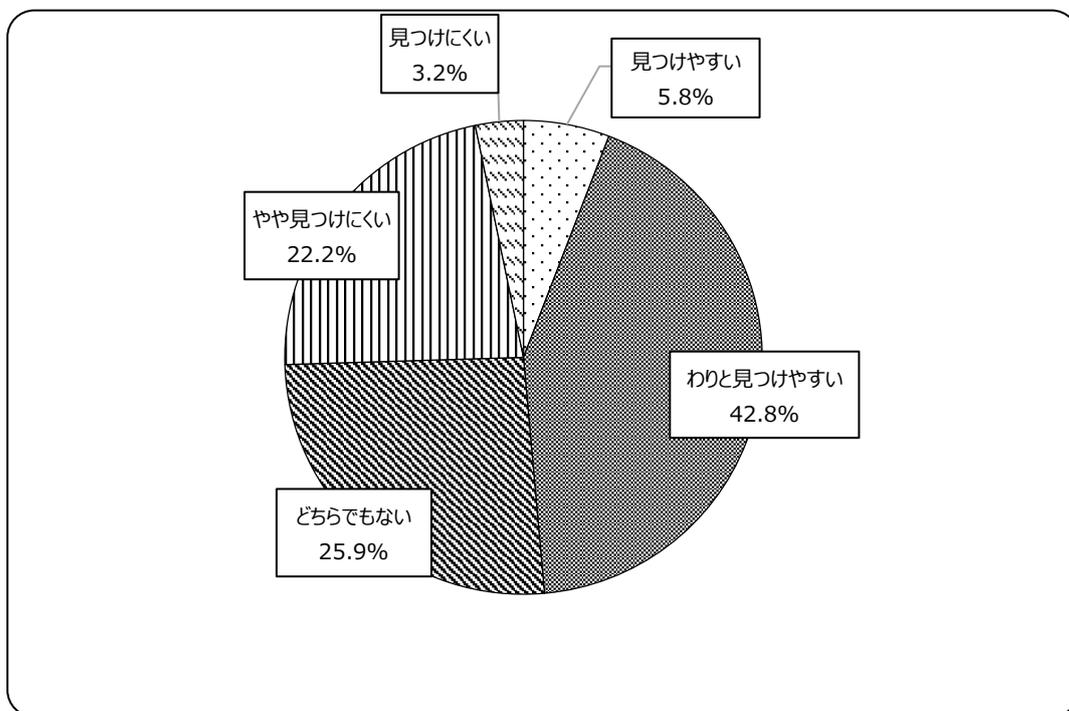


《広報さかいの読みたい情報の見つけやすさ》

問 20. 問 15 で「1 毎月必ず読んでいる」「2 時々読んでいる」「3 必要な時にだけ読んでいる」と回答された方に伺います。あなたは、「広報さかい」の読みたい情報の見つけやすさについて、次の中からあてはまるものを選択してください。【選択は1つ】

「見つけやすい」5.8%、「わりと見つけやすい」42.8%の合計は 48.6%となっている。一方「やや見つけにくい」22.2%、「見つけにくい」3.2%の合計は 25.4%となっている。

	選択項目 (N=463)	回答数	構成比
1	見つけやすい	27	5.8%
2	わりと見つけやすい	198	42.8%
3	どちらでもない	120	25.9%
4	やや見つけにくい	103	22.2%
5	見つけにくい	15	3.2%
	計 (回答総数)	463	100.0%



《広報さかいで利用する情報》

問 21. 問 15 で「1 毎月必ず読んでいる」「2 時々読んでいる」「3 必要な時にだけ読んでいる」と回答された方に伺います。

あなたは「広報さかい」でどのような記事をよくご覧になりますか。

【複数選択可：いくつでも】

「保険・年金・税金」が 49.2%と最も多く、次いで「観光や食などのお出かけスポット」(48.8%)、「コンサート・スポーツなどのイベント」(48.6%)、「市が開催する教室・講座」(47.7%)、「市の重要施策や制度」(47.1%)、「防災など命にかかわる情報」(47.1%)、「健康」(45.8%)の記事がよく読まれている。

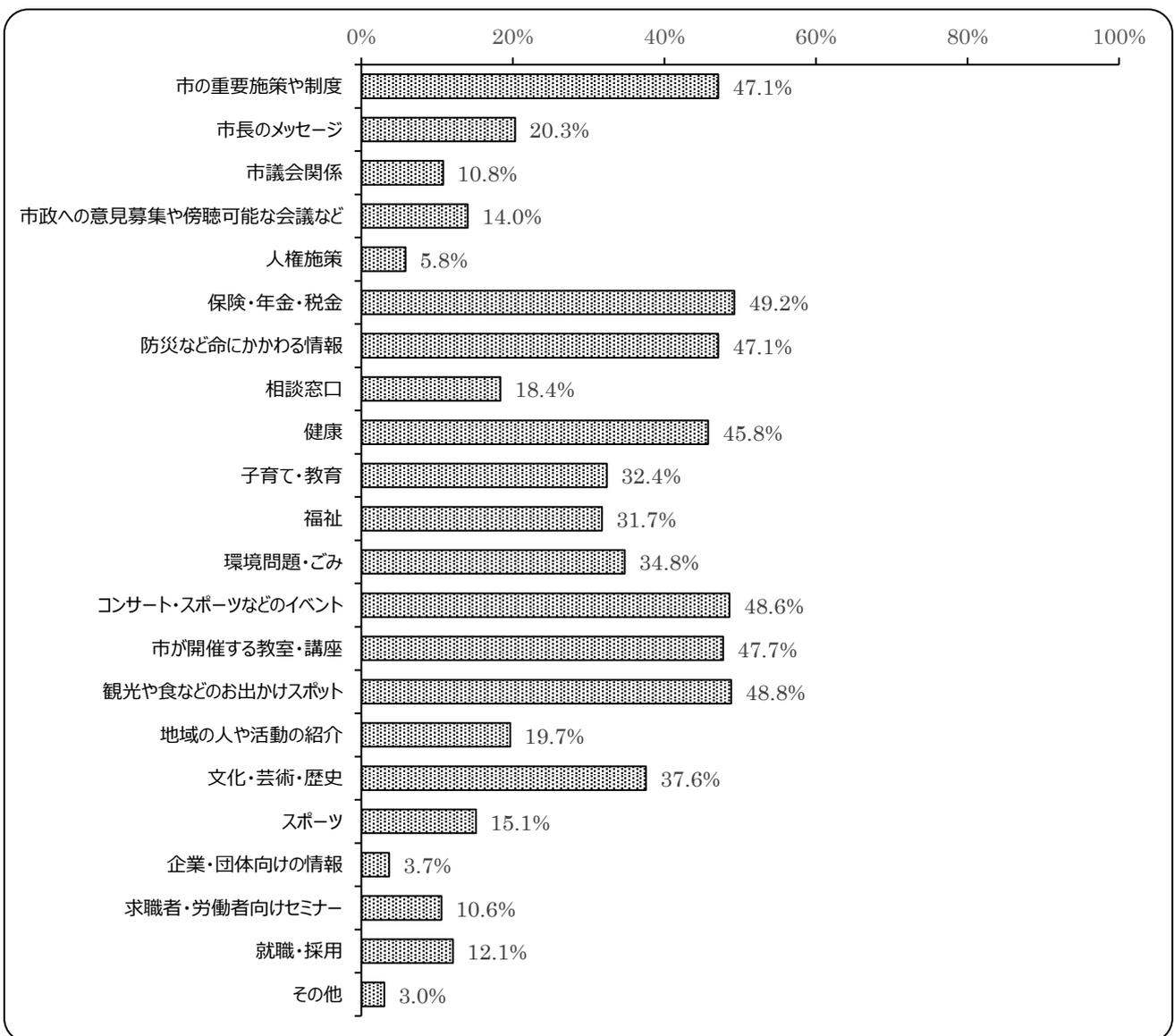
	選択項目 (N=463)	回答数	構成比
1	市の重要施策や制度	218	47.1%
2	市長のメッセージ	94	20.3%
3	市議会関係	50	10.8%
4	市政への意見募集や傍聴可能な会議など	65	14.0%
5	人権施策	27	5.8%
6	保険・年金・税金	228	49.2%
7	防災など命にかかわる情報	218	47.1%
8	相談窓口	85	18.4%
9	健康	212	45.8%
10	子育て・教育	150	32.4%
11	福祉	147	31.7%
12	環境問題・ごみ	161	34.8%
13	コンサート・スポーツなどのイベント	225	48.6%
14	市が開催する教室・講座	221	47.7%
15	観光や食などのお出かけスポット	226	48.8%
16	地域の人や活動の紹介	91	19.7%
17	文化・芸術・歴史	174	37.6%
18	スポーツ	70	15.1%
19	企業・団体向けの情報	17	3.7%
20	求職者・労働者向けセミナー	49	10.6%
21	就職・採用	56	12.1%
22	その他	14	3.0%
	計 (回答総数)	2,798	604.3%

〔22 その他〕

【主な回答】

- 区版ページ
- 高齢のため窓口に行くことが難しいが、電話・FAX 番号が載っていてありがたい。
- 永藤市長のメッセージ

- 広告
- 全て読む
- 全体的に流して読んでからその月によって興味がある記事をしっかりを見ていく。
- コロナウイルス情報
- 休日診療案内
- 行事等の案内
- 生活と密接した役に立つ情報
- 交通安全講習会の日程



《広報さかいを読まない理由》

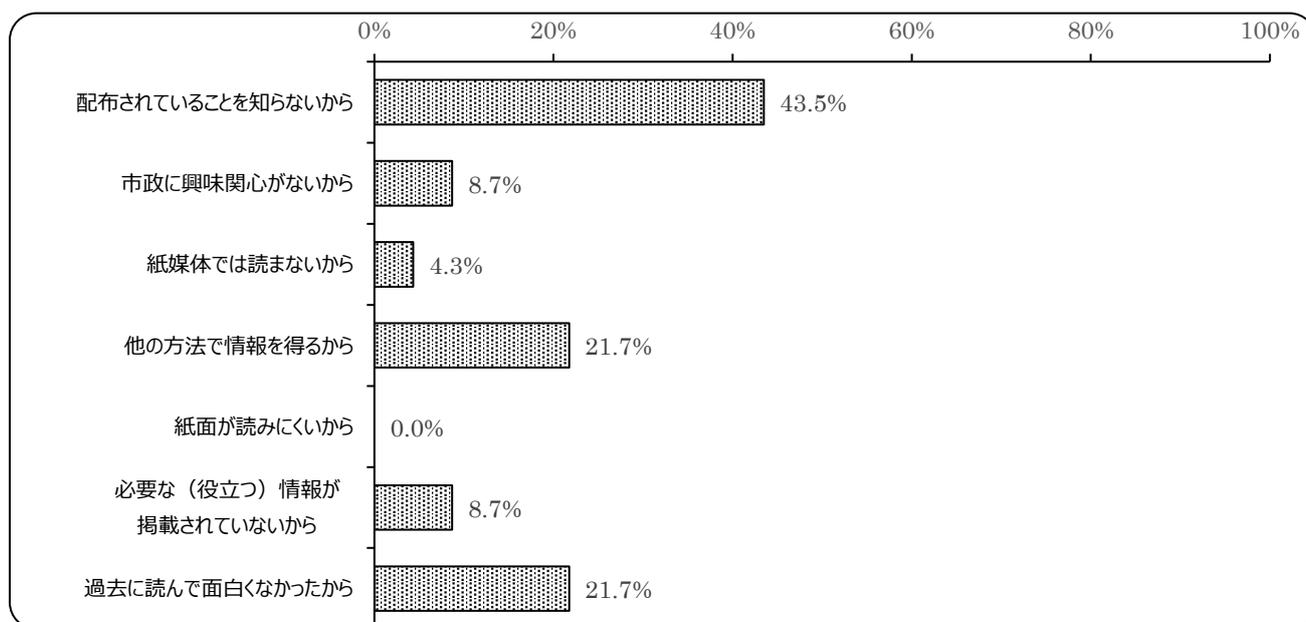
問 22. 問 15 で「4 全く読んでいない」と回答された方に伺います。

あなたが「広報さかい」を読まない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「配布されていることを知らないから」が 43.5%と最も多く次いで「他の方法で情報を得るから」と「過去に読んで面白くなかったから」がいずれも 21.7%となっている。

	選択項目 (N=23)	回答数	構成比
1	配布されていることを知らないから	10	43.5%
2	市政に興味関心がないから	2	8.7%
3	紙媒体では読まないから	1	4.3%
4	他の方法で情報を得るから	5	21.7%
5	紙面が読みにくいから	0	0.0%
6	必要な(役立つ)情報が掲載されていないから	2	8.7%
7	過去に読んで面白くなかったから	5	21.7%
	計 (回答総数)	25	108.7%



〈広報さかいで利用する情報〉

問 23. 今後、「広報さかい」に掲載してほしいと思うテーマ・情報は何か。

【複数選択可：いくつでも】

「防災など命にかかわる情報」が 47.9%と最も多く、次いで「観光や食などのお出かけスポット」(45.9%)、「コンサート・スポーツなどのイベント」(41.8%)、「保険・税金・年金」(39.5%)、「市が開催する教室・講座」(38.1%)、「市の重要施策や制度」(37.2%)、「健康」(36.6%)の希望が多い。

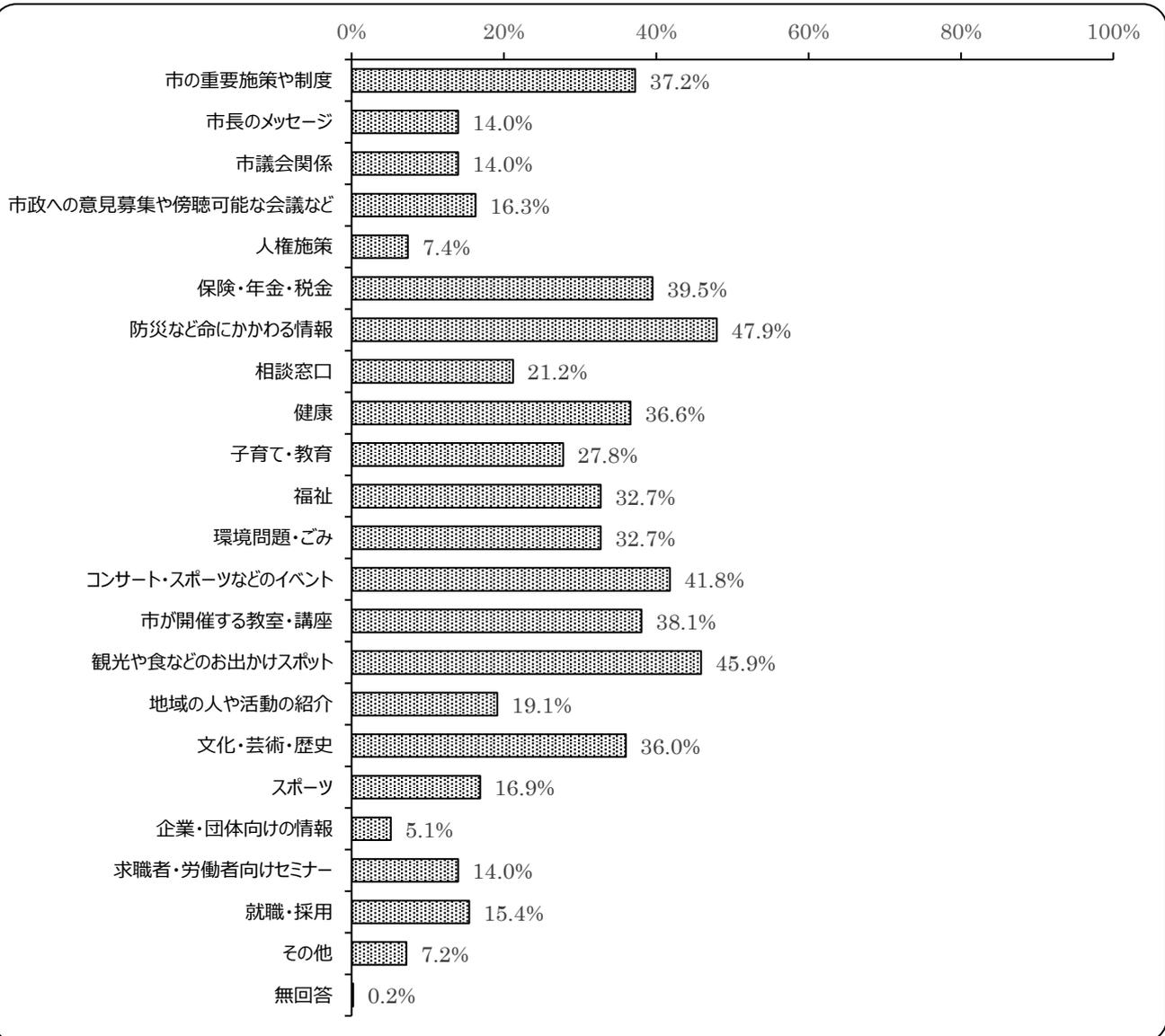
	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	市の重要施策や制度	181	37.2%
2	市長のメッセージ	68	14.0%
3	市議会関係	68	14.0%
4	市政への意見募集や傍聴可能な会議など	79	16.3%
5	人権施策	36	7.4%
6	保険・年金・税金	192	39.5%
7	防災など命にかかわる情報	233	47.9%
8	相談窓口	103	21.2%
9	健康	178	36.6%
10	子育て・教育	135	27.8%
11	福祉	159	32.7%
12	環境問題・ごみ	159	32.7%
13	コンサート・スポーツなどのイベント	203	41.8%
14	市が開催する教室・講座	185	38.1%
15	観光や食などのお出かけスポット	223	45.9%
16	地域の人や活動の紹介	93	19.1%
17	文化・芸術・歴史	175	36.0%
18	スポーツ	82	16.9%
19	企業・団体向けの情報	25	5.1%
20	求職者・労働者向けセミナー	68	14.0%
21	就職・採用	75	15.4%
22	その他	35	7.2%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	2,756	567.1%

〔22 その他〕

【主な回答】

- 新型コロナウイルスに関する記事
- コロナの影響によりイベントが減る中で堺市と連携する市外の観光情報など
- 若者向けイベント情報
- 堺市の歴史スポットや、モノの紹介

- 一般参加できる小中学校のイベント
- 教育
- 子どもにとってもためになる情報
- 堺市内で大きな建築予定の情報(分譲マンションや大型ショッピングモールなど)
- 地域のスーパー等の動向(泉北地域では小規模商業施設の撤退、大規模商業施設への集約現象が起きている。近い将来高齢者が全く生活できなくなる)
- 堺市が描いている将来のビジョンなど
- 色々なお楽しみクーポン、堺市ジャンボ宝くじ、寄付の募集、堺市なんでもランキング。
- 警察からのお知らせ
- 防犯のキャンペーンやセミナーなどの情報
- 市議会メンバーの各議案への立場、実績など投票の判断になる情報
- 改善したこと、施策の成果
- 市の経年変化を数値化・グラフ化して分かりやすく掲載してほしい。
- 堺市在住外国人向けの情報
- 高齢者問題
- インターンの募集情報など
- 市税を使った内訳
- ハザードマップなど必要な情報が入手できるようにしてほしい。
- 助成金制度などの政策内容
- 空家問題も載せてほしい。
- 現状のままでよい。
- 「必ず読んで頂きたい」というお願いを表紙に載せてほしい。
- 広報紙を廃止してほしい。

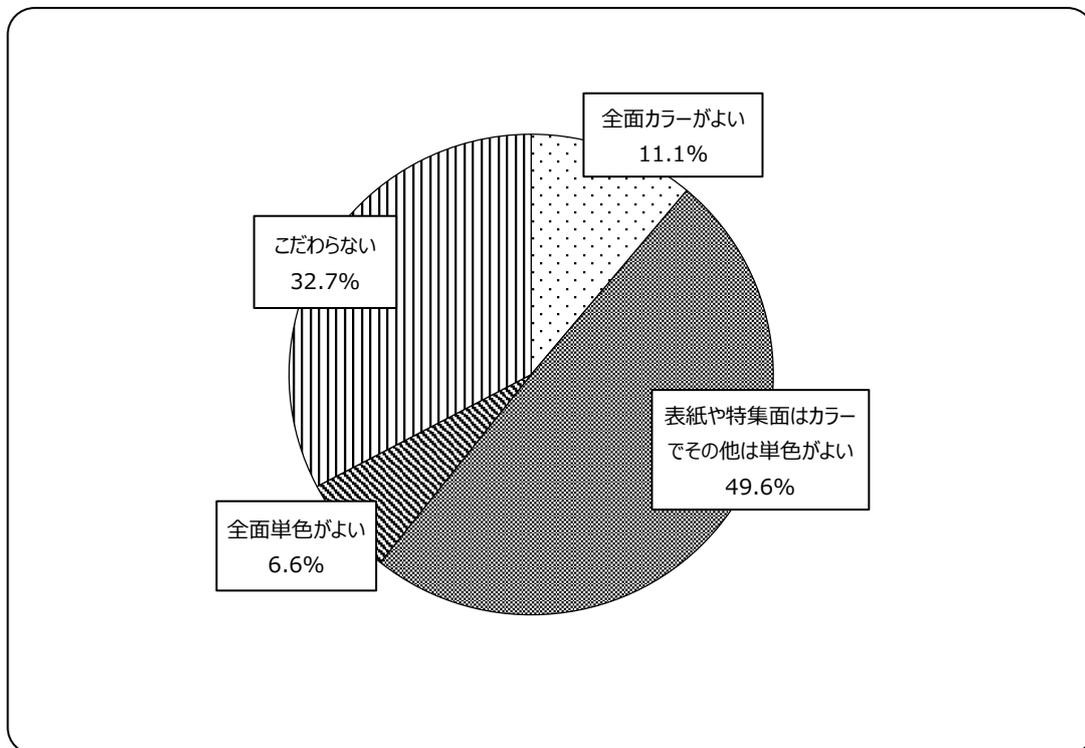


《広報さかいのカラーページについて》

問 24. 「広報さかい」のカラーページについて、希望するのはどれですか。 【選択は1つ】

「表紙や特集面はカラーでその他は単色がよい」が49.6%と最も多く、次いで「こだわらない」が32.7%、「全面カラーがよい」が11.1%となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	全面カラーがよい	54	11.1%
2	表紙や特集面はカラーでその他は単色がよい	241	49.6%
3	全面単色がよい	32	6.6%
4	こだわらない	159	32.7%
	計 (回答総数)	486	100.0%



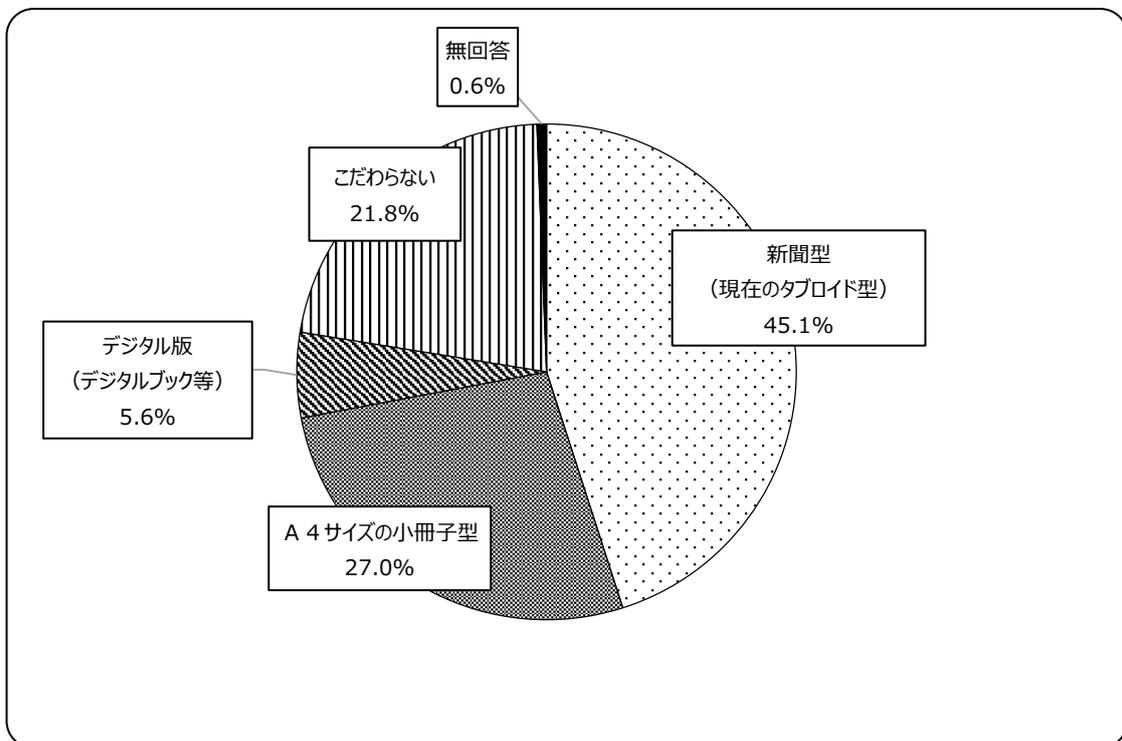
《広報さかいの規格・形態（サイズ）について》

問 25. 「広報さかい」の規格・形態（サイズ）について、希望するのはどれですか。

【選択は1つ】

「新聞型（現在のタブロイド型）」が 45.1%と最も多く、次いで「A4 サイズの小冊子型」が 27.0%、「こだわらない」が 21.8%となっている。

	選択項目（N=486）	回答数	構成比
1	新聞型（現在のタブロイド型）	219	45.1%
2	A4 サイズの小冊子型	131	27.0%
3	デジタル版（デジタルブック等）	27	5.6%
4	こだわらない	106	21.8%
	無回答	3	0.6%
	計（回答総数）	486	100.0%

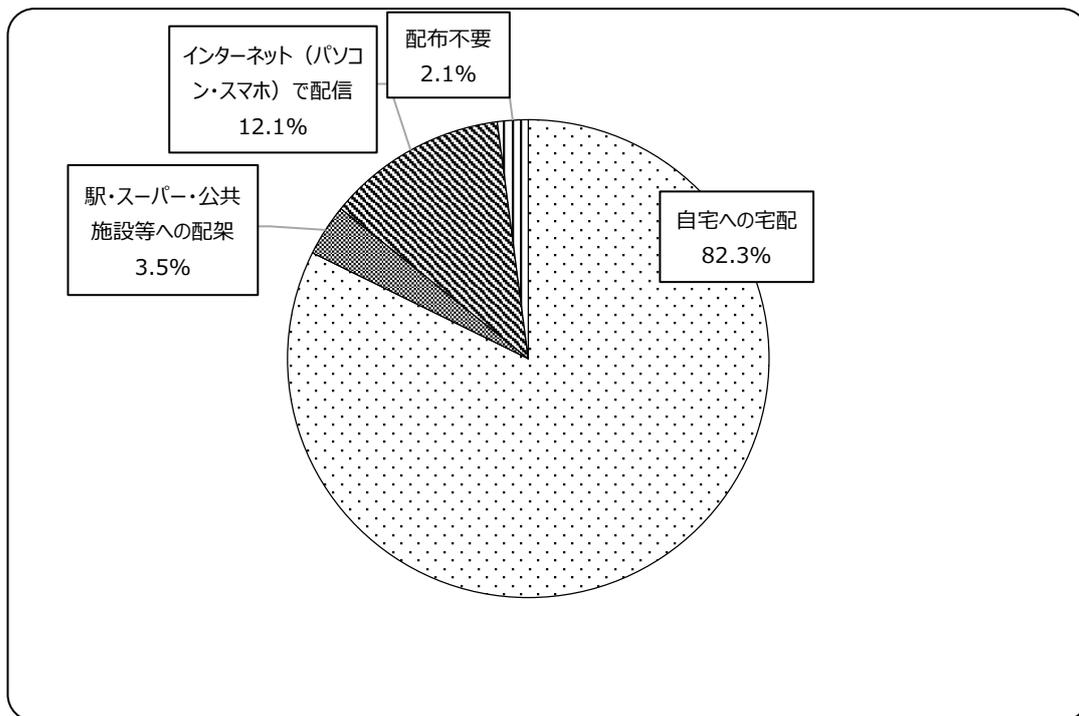


《広報さかいの配布方法》

問 26. 「広報さかい」は、全世帯・全事業所に配布しています。あなたは、「広報さかい」の配布についてどのような方法を希望しますか。 【選択は1つ】

「自宅への宅配」が 82.3%を占めた。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	自宅への宅配	400	82.3%
2	駅・スーパー・公共施設等への配架	17	3.5%
3	インターネット (パソコン・スマホ) で配信	59	12.1%
4	配布不要	10	2.1%
	計 (回答総数)	400	82.3%



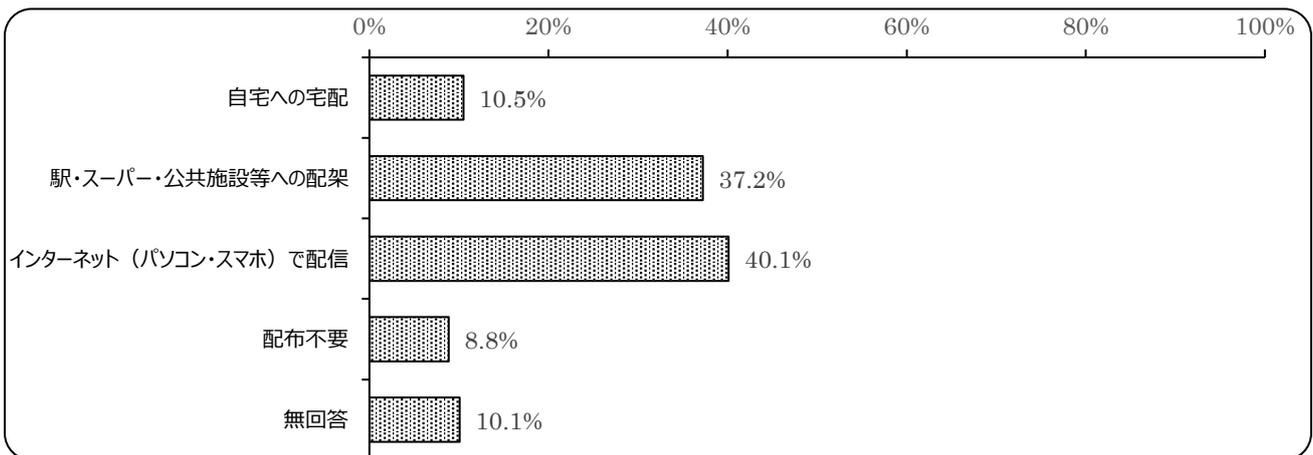
《広報さかいの配布方法》

問 27. 問 26 で選択したもの以外に、希望する配布方法があれば教えてください。

【複数選択可：いくつでも】

「インターネット(パソコン・スマホ)で配信」が 40.1%と最も多く、次いで「駅・スーパー・公共施設等への配架」が 37.2%となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	自宅への宅配	51	10.5%
2	駅・スーパー・公共施設等への配架	181	37.2%
3	インターネット(パソコン・スマホ)で配信	195	40.1%
4	配布不要	43	8.8%
	無回答	49	10.1%
	計(回答総数)	519	106.8%



〈広報さかいへの希望〉

問 28. 「広報さかい」に掲載してほしい企画やデザインなど、ご意見をお書きください。

【自由記述】

【企画に関すること】

- 子どものお出かけスポットなど、子連れにとって有益な情報を増やしてほしい。
- レジャー情報を多くのせてほしい。
- 堺市の施設の職員の方からのオススメイメントや利用方法など
- おみやげに持っていくモノ、他府県の人を案内できるところに掲載してほしい。
- 市の職員の仕事を紹介してほしい。
- 市が力を入れていること
- 市民がどのような要望をしているかを知りたい。
- 地域に関する情報(サークル活動やボランティア、人、グルメなど)
- 新型コロナウイルス感染症に関する市内の状況(感染者数や予防策など)
- 堺市がほかの市と比べて優れている点と劣っている点を列記し、劣っている点の改善策

【規格に関すること】

- 全紙面横書きにしてほしい。
- 小サイズにして職場などに持って行き読みやすくしてほしい。

【デザインに関すること】

- 季節感のある企画、デザインをもっと強く出してほしい。
- パッと見た感じが、いつも同じように見えるので、最初のページを広告のようなデザインにしてはどうか。

【そのほかの意見】

- 情報の羅列になっており、必要な情報にアクセスしづらい。
- 文章が長すぎるので、説明は要点で示してほしい。

### (3) 堺市くらしのガイドブックについて

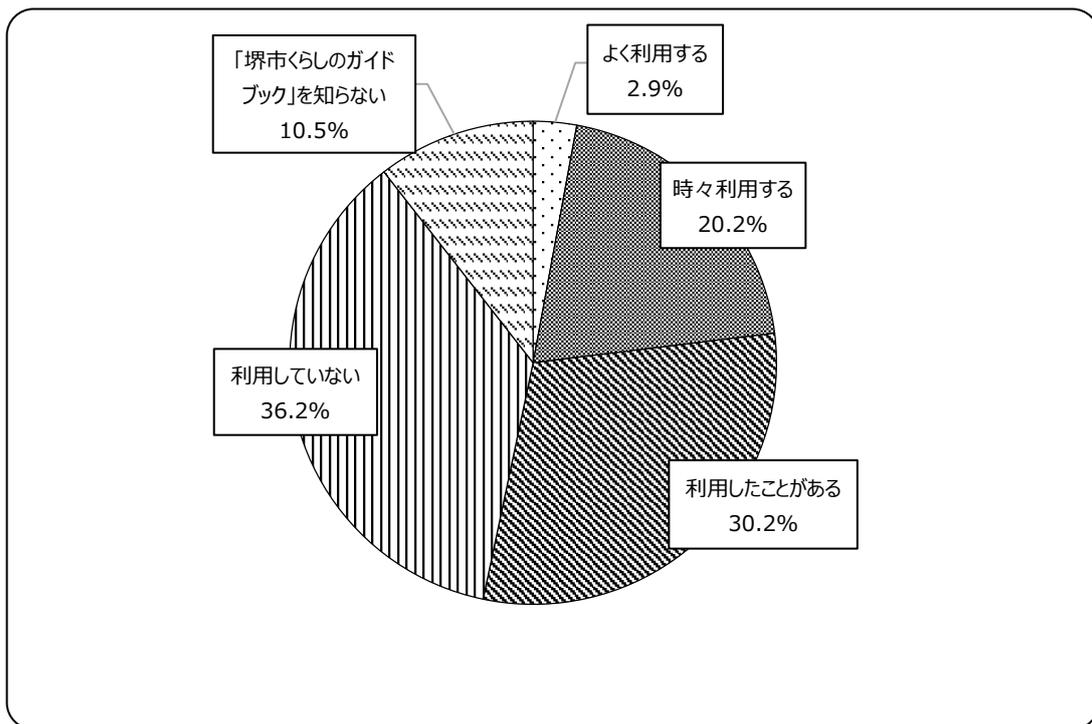
《堺市くらしのガイドブックの利用頻度》

問 29. あなたは「堺市くらしのガイドブック」を利用していますか。  
つ】

【選択は 1

「よく利用する」が 2.9%、「時々利用する」が 20.2%、「利用したことがある」30.2%の合計 53.3%となっており、「利用していない」の 36.2%を上回っている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	よく利用する	14	2.9%
2	時々利用する	98	20.2%
3	利用したことがある	147	30.2%
4	利用していない	176	36.2%
5	「堺市くらしのガイドブック」を知らない	51	10.5%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《堺市くらしのガイドブックで利用する情報》

問 30. 問 29 で「1 よく利用する」、「2 時々利用する」、「3 利用したことがある」と回答された方に伺います。

「堺市くらしのガイドブック」でどのページを利用しますか。【複数選択可：いくつでも】

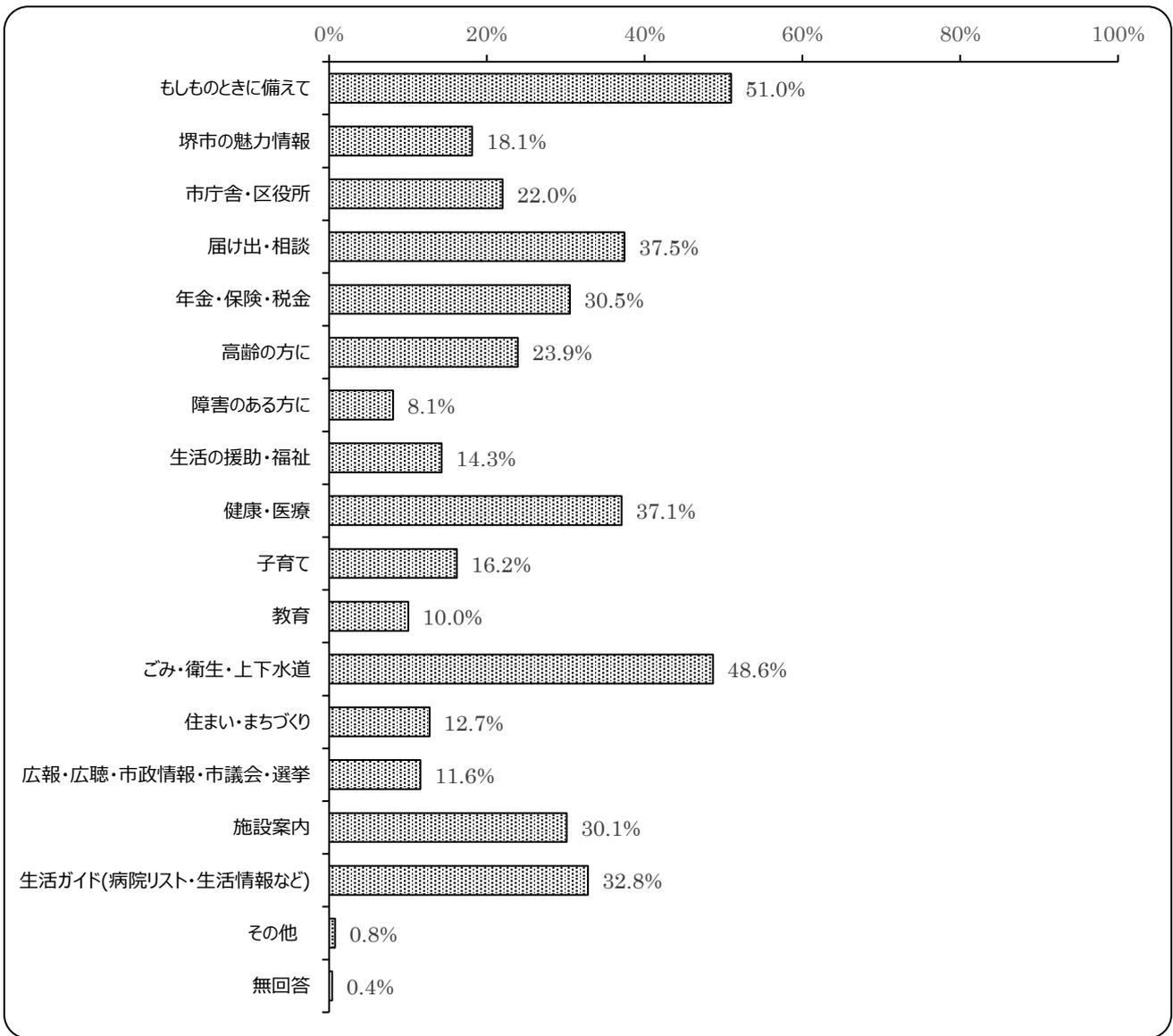
「もしものときに備えて」が 51.0%と最も多いが、昨年度の 53.6%を下回っている。また、「ごみ・衛生・上下水道」も 48.6%と、昨年度の 50.7%を下回っている。一方、「届け出・相談」は 31.1%から 37.5%に、「健康・医療」は 31.1%から 37.1%に、「生活ガイド(病院リスト・生活情報など)」は 28.2%から 32.8%へとそれぞれ昨年度を上回っている。

	選択項目 (N=259)	回答数	構成比
1	もしものときに備えて	132	51.0%
2	堺市の魅力情報	47	18.1%
3	市庁舎・区役所	57	22.0%
4	届け出・相談	97	37.5%
5	年金・保険・税金	79	30.5%
6	高齢の方に	62	23.9%
7	障害のある方に	21	8.1%
8	生活の援助・福祉	37	14.3%
9	健康・医療	96	37.1%
10	子育て	42	16.2%
11	教育	26	10.0%
12	ごみ・衛生・上下水道	126	48.6%
13	住まい・まちづくり	33	12.7%
14	広報・広聴・市政情報・市議会・選挙	30	11.6%
15	施設案内	78	30.1%
16	生活ガイド(病院リスト・生活情報など)	85	32.8%
17	その他	2	0.8%
	無回答	1	0.4%
	計 (回答総数)	1,051	405.8%

〔17 その他〕

【主な回答】

●地図



《堺市くらしのガイドブックを利用していない理由》

問 31. 問 29 で「4 利用していない」と回答された方に伺います。

その理由をお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

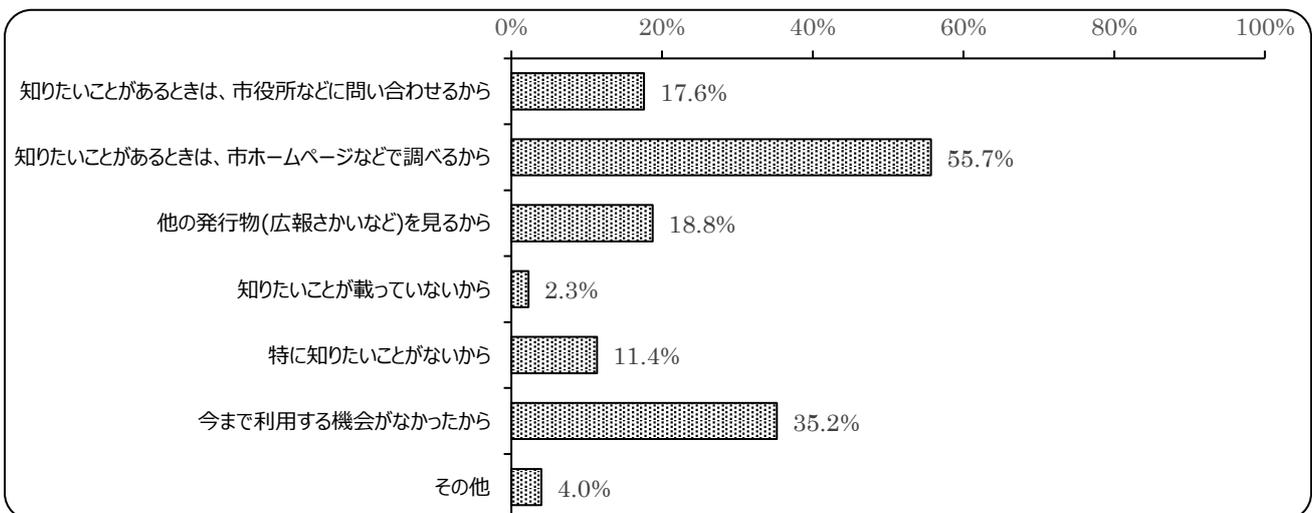
「知りたいことがあるときは、市ホームページなどで調べるから」が 55.7%と最も多く、昨年度の 44.6%から上昇している。次いで「今まで利用する機会がなかったから」が 35.2%、「他の発行物(広報さかいなど)を見るから」が 18.8%、「知りたいことがあるときは、市役所などに問い合わせるから」が 17.6%となっている。

	選択項目 (N=176)	回答数	構成比
1	知りたいことがあるときは、市役所などに問い合わせるから	31	17.6%
2	知りたいことがあるときは、市ホームページなどで調べるから	98	55.7%
3	他の発行物(広報さかいなど)を見るから	33	18.8%
4	知りたいことが載っていないから	4	2.3%
5	特に知りたいことがないから	20	11.4%
6	今まで利用する機会がなかったから	62	35.2%
7	その他	7	4.0%
	計 (回答総数)	255	144.9%

[7 その他]

【主な回答】

- 知りたいことがある時に、参考にならない。インターネットで口コミや営業時間等調べた方が早い。
- インターネット情報で十分対応できているから
- 必要な情報を探すのが難しいから

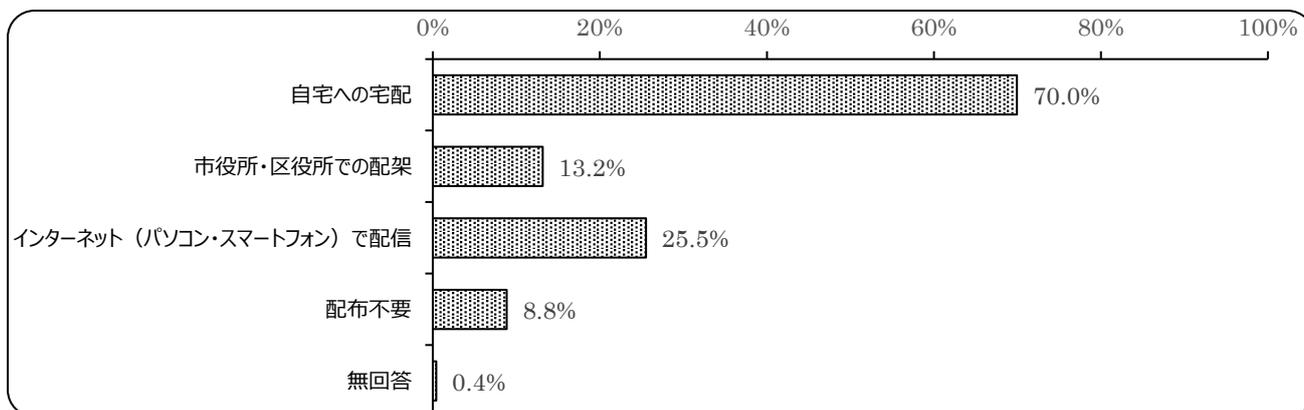


《堺市くらしのガイドブックの配布方法》

問 32. 「堺市くらしのガイドブック」について、どのような配布方法が良いですか。  
 【複数選択可：いくつでも】

「自宅への宅配」が 70.0%を占めた。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	自宅への宅配	340	70.0%
2	市役所・区役所での配架	64	13.2%
3	インターネット（パソコン・スマートフォン）で配信	124	25.5%
4	配布不要	43	8.8%
5	無回答	2	0.4%
	計（回答総数）	573	117.9%



#### (4) 堺市ホームページについて

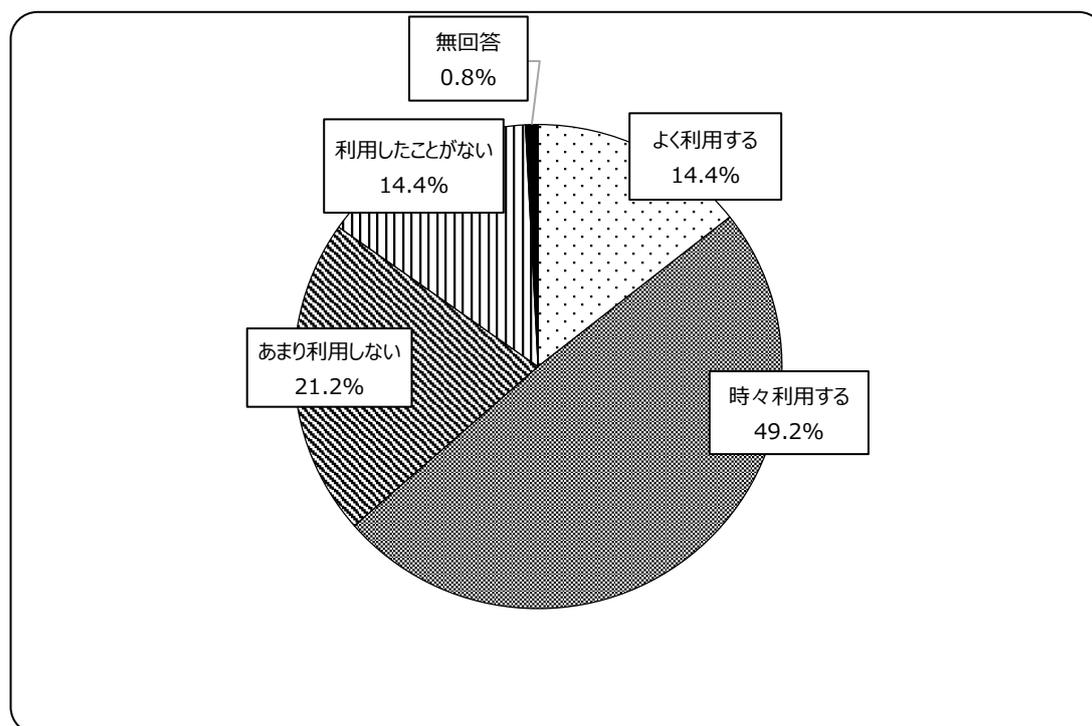
《堺市ホームページの利用頻度》

問 33. あなたは、堺市ホームページを利用したことがありますか。  
つ】

【選択は 1

「よく利用する」14.4%、「時々利用する」49.2%、「あまり利用しない」21.2%の合計は 84.8%となっており、昨年度「利用したことがある」と回答した 70.3%を上回った。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	よく利用する	70	14.4%
2	時々利用する	239	49.2%
3	あまり利用しない	103	21.2%
4	利用したことがない	70	14.4%
	無回答	4	0.8%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《堺市ホームページから入手する情報》

問 34. 問 33 で「1 よく利用する」「2 時々利用する」「3 あまり利用しない」と回答された方に伺います。

あなたは、堺市ホームページでどのような情報を入手していますか。

【複数選択可：いくつでも】

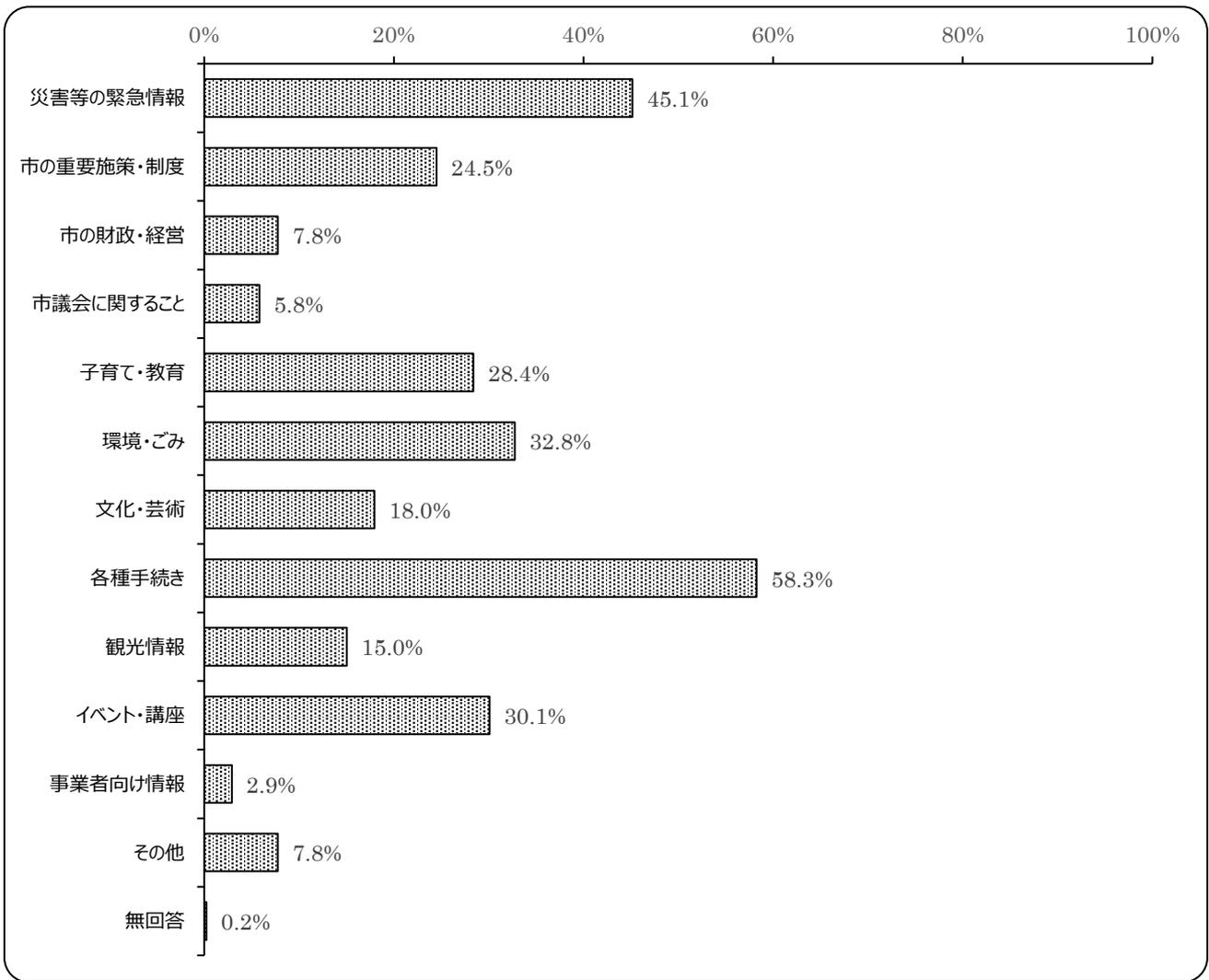
「各種手続き」が 58.3%と最も多く、次いで「災害時の緊急情報」(45.1%)「環境・ごみ」(32.8%)「イベント・講座」(30.1%)「子育て・教育」(28.4%)「市の重要施策・制度」(24.5%)のページがよく利用されている。

	選択項目 (N=412)	回答数	構成比
1	災害等の緊急情報	186	45.1%
2	市の重要施策・制度	101	24.5%
3	市の財政・経営	32	7.8%
4	市議会に関すること	24	5.8%
5	子育て・教育	117	28.4%
6	環境・ごみ	135	32.8%
7	文化・芸術	74	18.0%
8	各種手続き	240	58.3%
9	観光情報	62	15.0%
10	イベント・講座	124	30.1%
11	事業者向け情報	12	2.9%
12	その他	32	7.8%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	1,140	276.7%

[12 その他]

【主な回答】

- 新型コロナウイルス関連
- 図書館での書籍予約等



《堺市ホームページの利用方法》

問 35. 問 33 で「1 よく利用する」「2 時々利用する」「3 あまり利用しない」と回答された方に伺います。

あなたは、堺市ホームページを利用するために主に使用しているものは何ですか。

【選択は1つ】

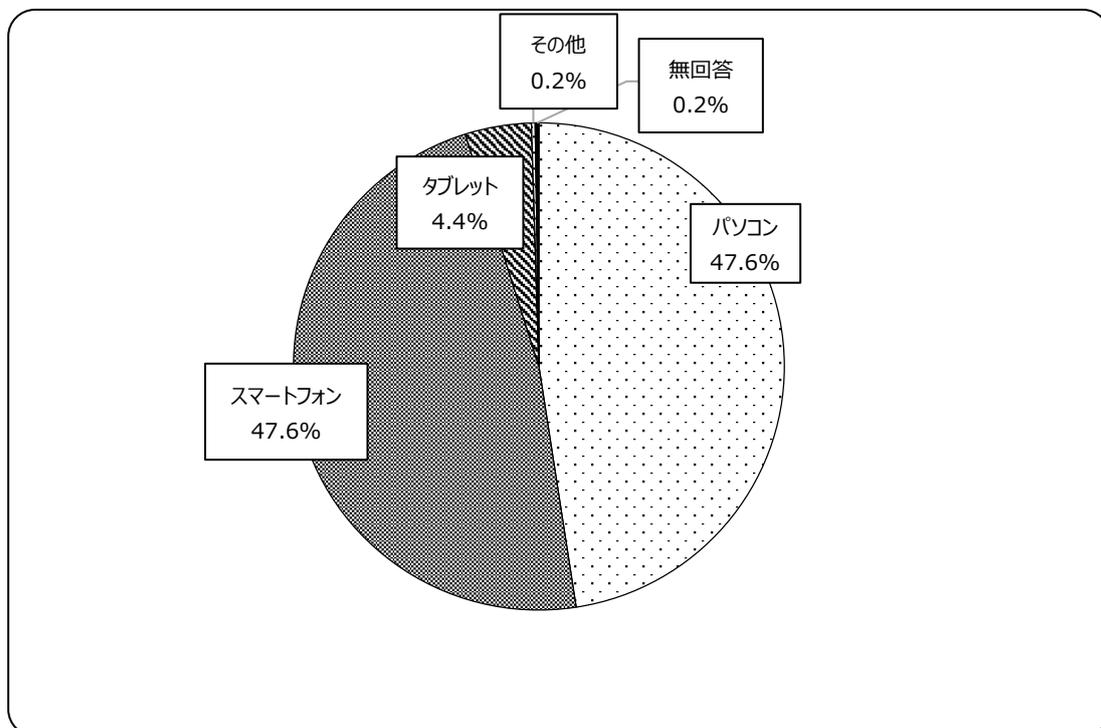
「パソコン」「スマートフォン」がいずれも 47.6%となっている。

	選択項目 (N=412)	回答数	構成比
1	パソコン	196	47.6%
2	スマートフォン	196	47.6%
3	タブレット	18	4.4%
4	フィーチャーフォン (ガラケー)	0	0.0%
5	その他	1	0.2%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	412	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 利用する方法がわからない。



《堺市政に関する情報の検索方法》

問 36. 問 33 で「1 よく利用する」「2 時々利用する」「3 あまり利用しない」と回答された方に伺います。  
 あなたは、インターネットで堺市政に関する情報を調べるときに、主にどのような方法で検索しますか。 【選択は1つ】

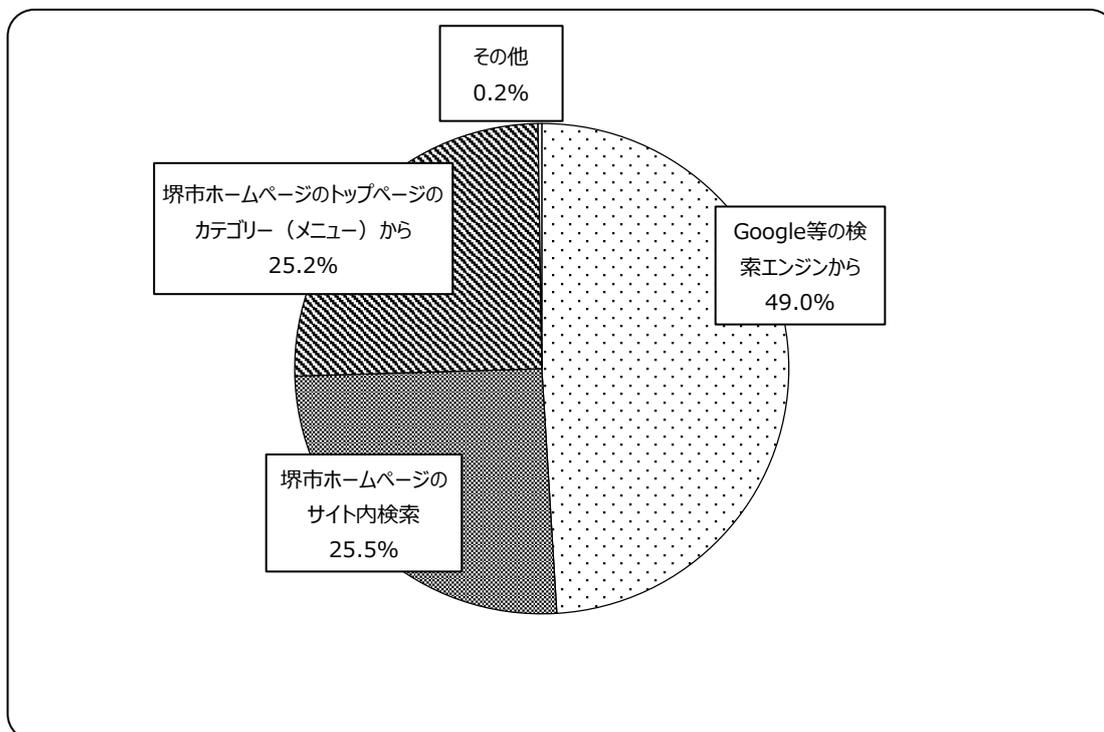
「Google 等の検索エンジンから」が 49.0%と最も多く、次いで「堺市ホームページのサイト内検索」が 25.5%、「堺市ホームページのトップページの 카테고리（メニュー）から」が 25.2%となっている。

	選択項目 (N=412)	回答数	構成比
1	Google 等の検索エンジンから	202	49.0%
2	堺市ホームページのサイト内検索	105	25.5%
3	堺市ホームページのトップページの 카테고리（メニュー）から	104	25.2%
4	その他	1	0.2%
	計 (回答総数)	412	100.0%

〔4 その他〕

【主な回答】

- インターネットを使わない。



《堺市ホームページの利用しやすさ》

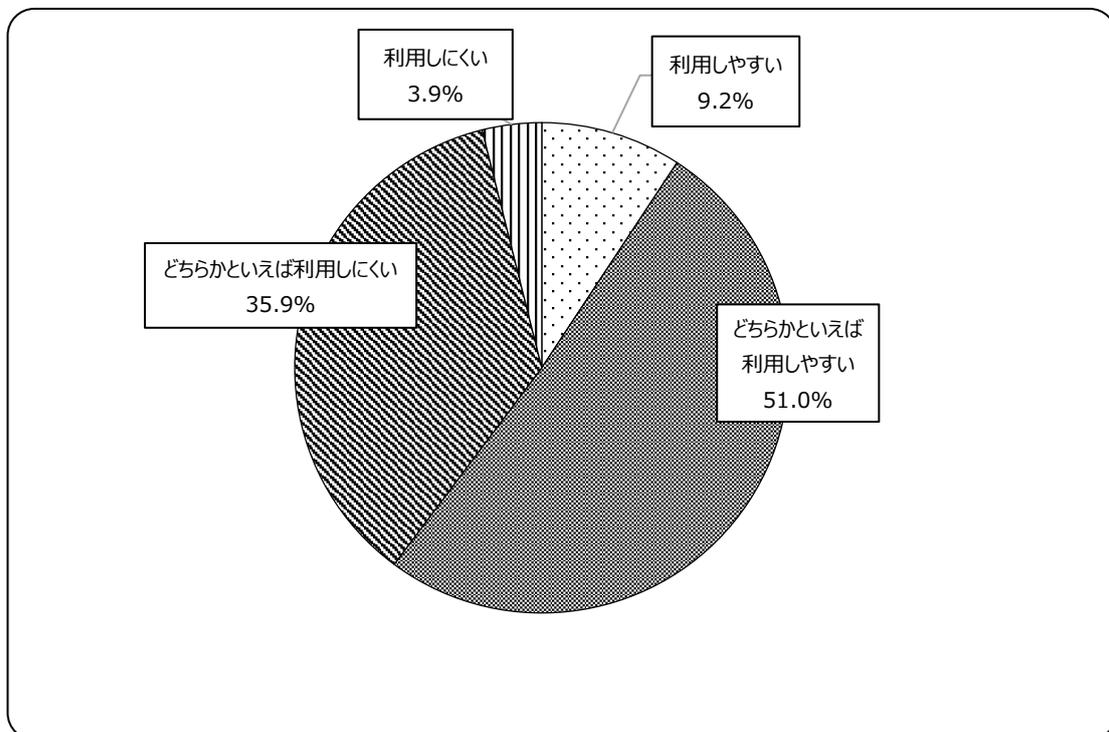
問 37. 問 33 で「1 よく利用する」「2 時々利用する」「3 あまり利用しない」と回答された方に伺います。

あなたは、堺市ホームページを利用しやすいと思いますか。

【選択は 1 つ】

「利用しやすい」9.2%、「どちらかといえば利用しやすい」51.0%の合計は 60.2%となっており、昨年度の 71.5%を下回っている。「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」の合計 60.2%が、「どちらかといえば利用しにくい」35.9%、「利用しにくい」3.9%の合計 39.8%を上回った。

	選択項目 (N=412)	回答数	構成比
1	利用しやすい	38	9.2%
2	どちらかといえば利用しやすい	210	51.0%
3	どちらかといえば利用しにくい	148	35.9%
4	利用しにくい	16	3.9%
	計 (回答総数)	412	100.0%



《堺市ホームページが利用しにくい理由》

問 38. 問 37 で「3 どちらかといえば利用しにくい」「4 利用しにくい」と回答された方に伺います。

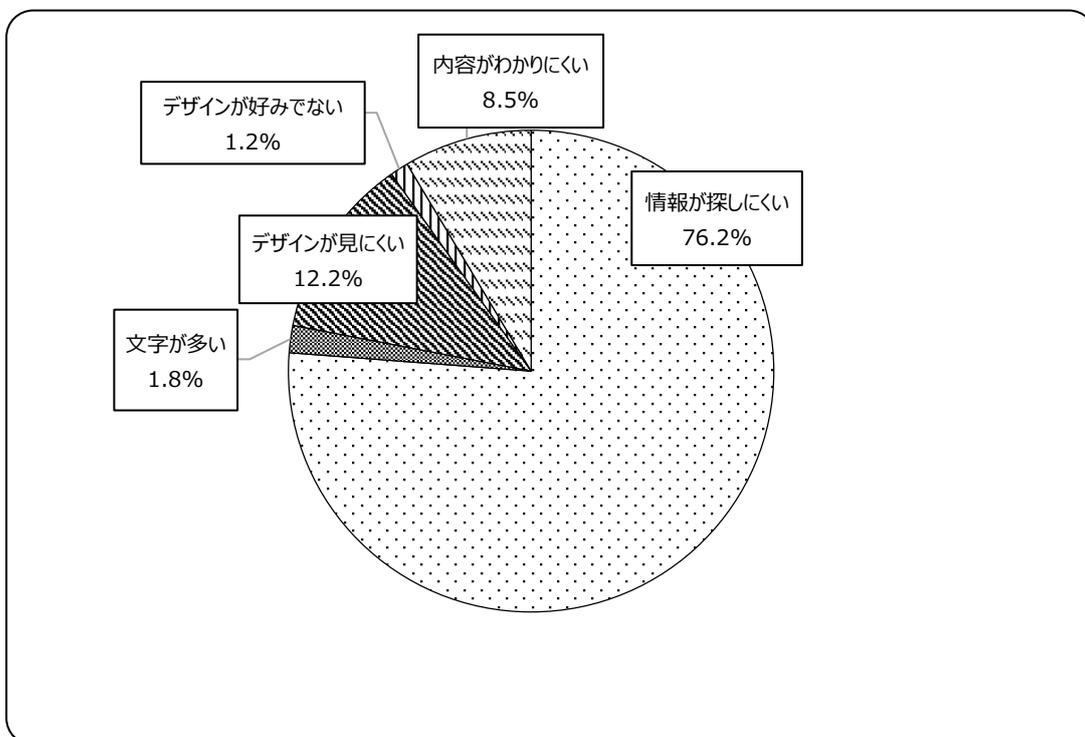
堺市ホームページが利用しにくい理由を教えてください。

【選択は 1

つ】

「情報が探しにくい」が 76.2%と最も多く、次いで「デザインが見にくい」が 12.2%となっている。

	選択項目 (N=164)	回答数	構成比
1	情報が探しにくい	125	76.2%
2	文字が多い	3	1.8%
3	デザインが見にくい	20	12.2%
4	デザインが好みでない	2	1.2%
5	内容がわかりにくい	14	8.5%
	計 (回答総数)	164	100.0%



《堺市ホームページを利用しない理由》

問 39. 問 33 で「4 利用したことがない」と回答された方に伺います。

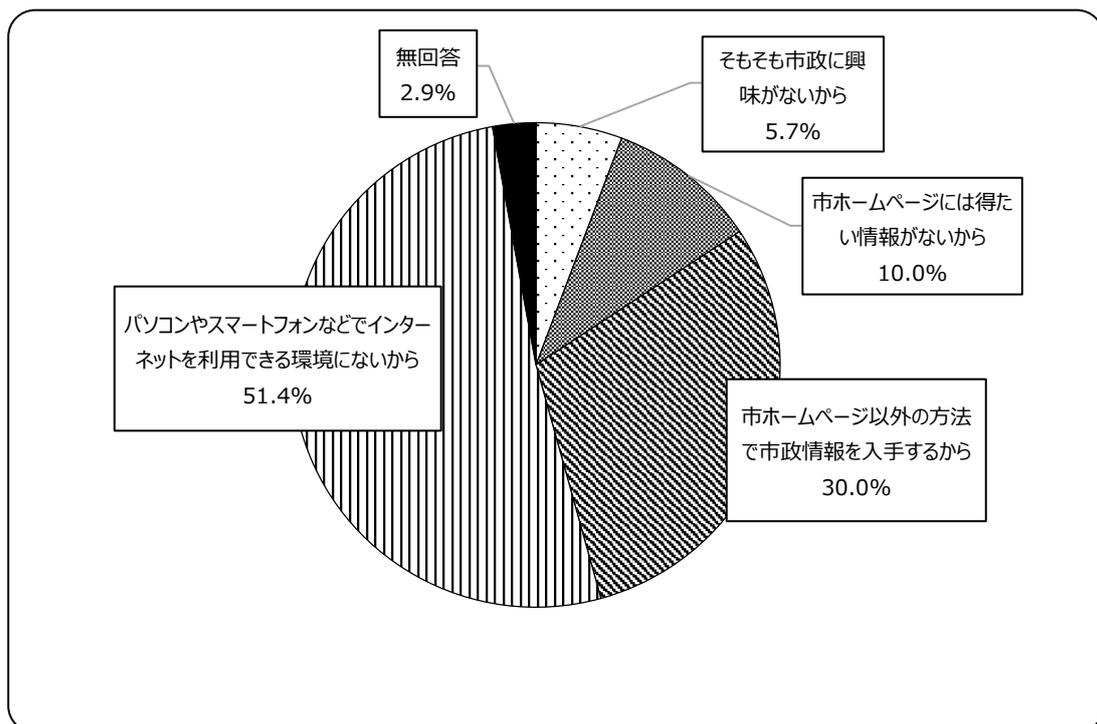
あなたが堺市ホームページを利用したことがない理由を教えてください。

【選択は 1

つ】

「パソコンやスマートフォンなどでインターネットを利用できる環境にないから」が 51.4%と最も多く、次いで「市ホームページ以外の方法で市政情報を入手するから」が 30.0%となっている。

	選択項目 (N=70)	回答数	構成比
1	そもそも市政に興味がないから	4	5.7%
2	市ホームページには得たい情報がないから	7	10.0%
3	市ホームページ以外の方法で市政情報を入手するから	21	30.0%
4	パソコンやスマートフォンなどでインターネットを利用できる環境にないから	36	51.4%
	無回答	2	2.9%
	計 (回答総数)	70	100.0%



## (5) SNS について

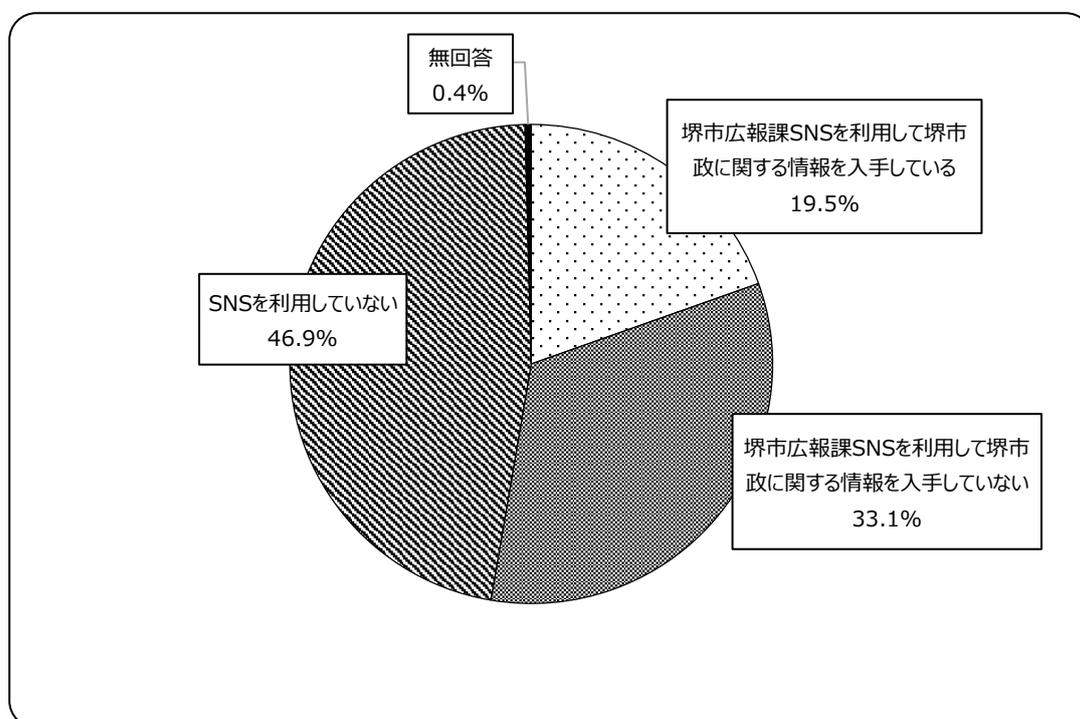
### 《堺市広報課 SNS の利用》

問 40. あなたは堺市広報課が発信する SNS を利用して堺市政に関する情報を入手していますか。

【選択は1つ】

「SNS を利用していない」が 46.9%と最も多く、「堺市広報課 SNS を利用して堺市政に関する情報を入手している」は 19.5%となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	堺市広報課 SNS を利用して堺市政に関する情報を入手している	95	19.5%
2	堺市広報課 SNS を利用して堺市政に関する情報を入手していない	161	33.1%
3	SNS を利用していない	228	46.9%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《SNS から入手する情報》

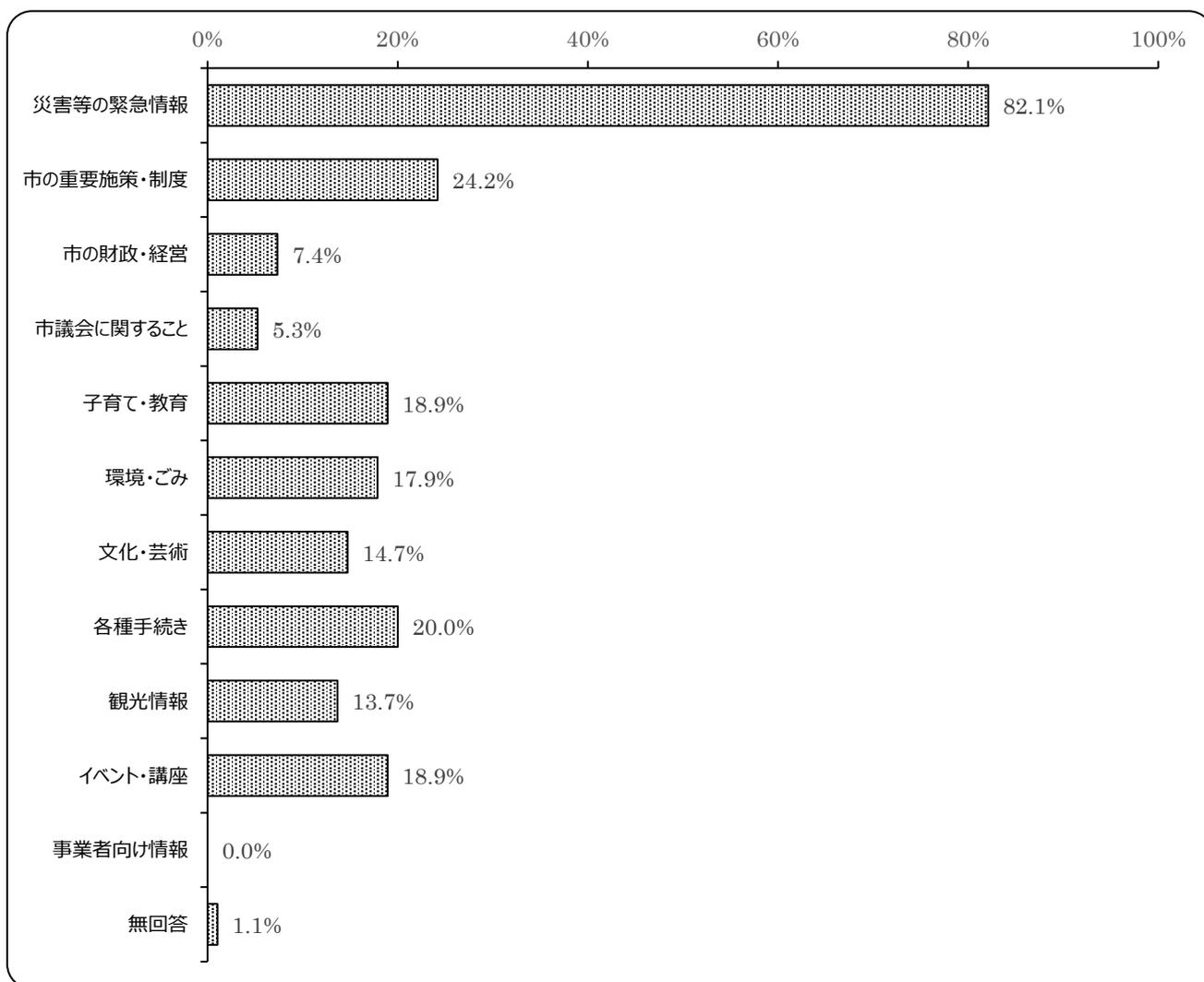
問 41. 問 40 で「1 堺市広報課 SNS を利用して堺市政に関する情報を入手している」と回答された方に伺います。

あなたは、SNS で堺市政に関するどのような情報を入手していますか。

【複数選択可：いくつでも】

「災害等の緊急情報」が 82.1%と最も多く、次いで「市の重要施策・制度」(24.2%)「各種手続き」(20.0%)「子育て・教育」(18.9%)「イベント・講座」(18.9%)「環境・ごみ」(17.9%)となっている。

	選択項目 (N=95)	回答数	構成比
1	災害等の緊急情報	78	82.1%
2	市の重要施策・制度	23	24.2%
3	市の財政・経営	7	7.4%
4	市議会に関すること	5	5.3%
5	子育て・教育	18	18.9%
6	環境・ごみ	17	17.9%
7	文化・芸術	14	14.7%
8	各種手続き	19	20.0%
9	観光情報	13	13.7%
10	イベント・講座	18	18.9%
11	事業者向け情報	0	0.0%
	無回答	1	1.1%
	計 (回答総数)	213	224.2%



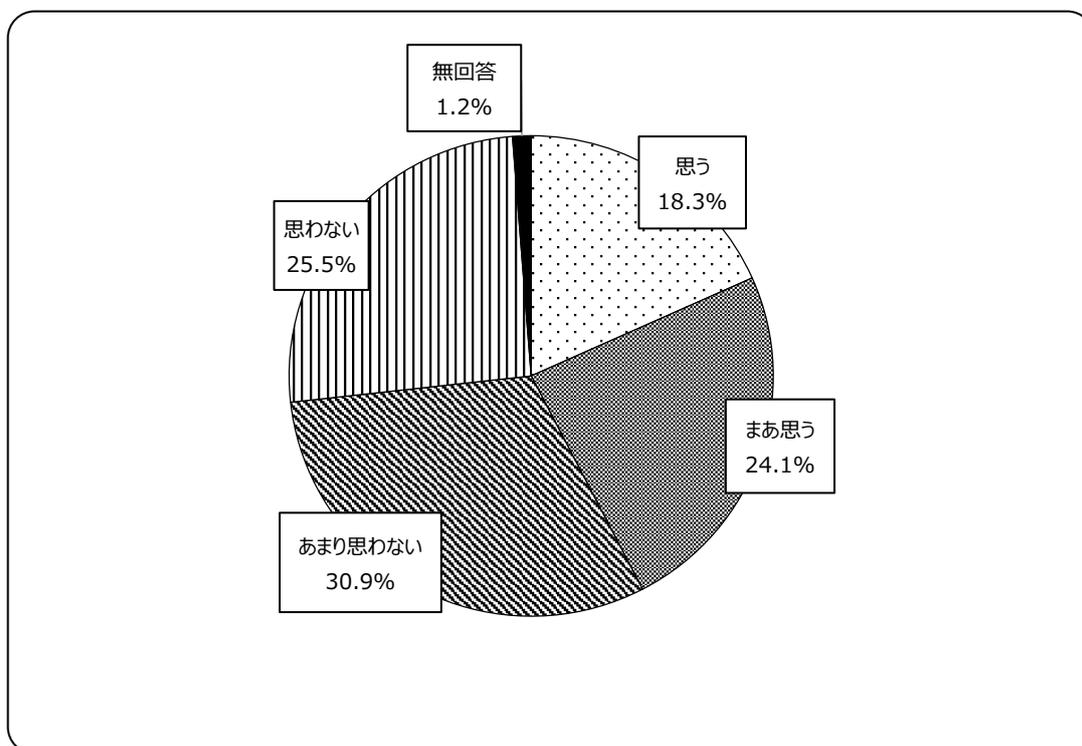
《SNS による堺市政に関する情報の入手希望》

問 42. 全ての方にお伺いします。

あなたは、今後 SNS を利用して堺市政に関する情報を得たいと思いますか。 【選択は 1 つ】

「あまり思わない」30.9%、「思わない」25.5%の合計は 56.4%となっており、「思う」(18.3%)「まあ思う」(24.1%)の合計 42.4%を上回っている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	思う	89	18.3%
2	まあ思う	117	24.1%
3	あまり思わない	150	30.9%
4	思わない	124	25.5%
	無回答	6	1.2%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《SNS から入手したい堺市政に関する情報》

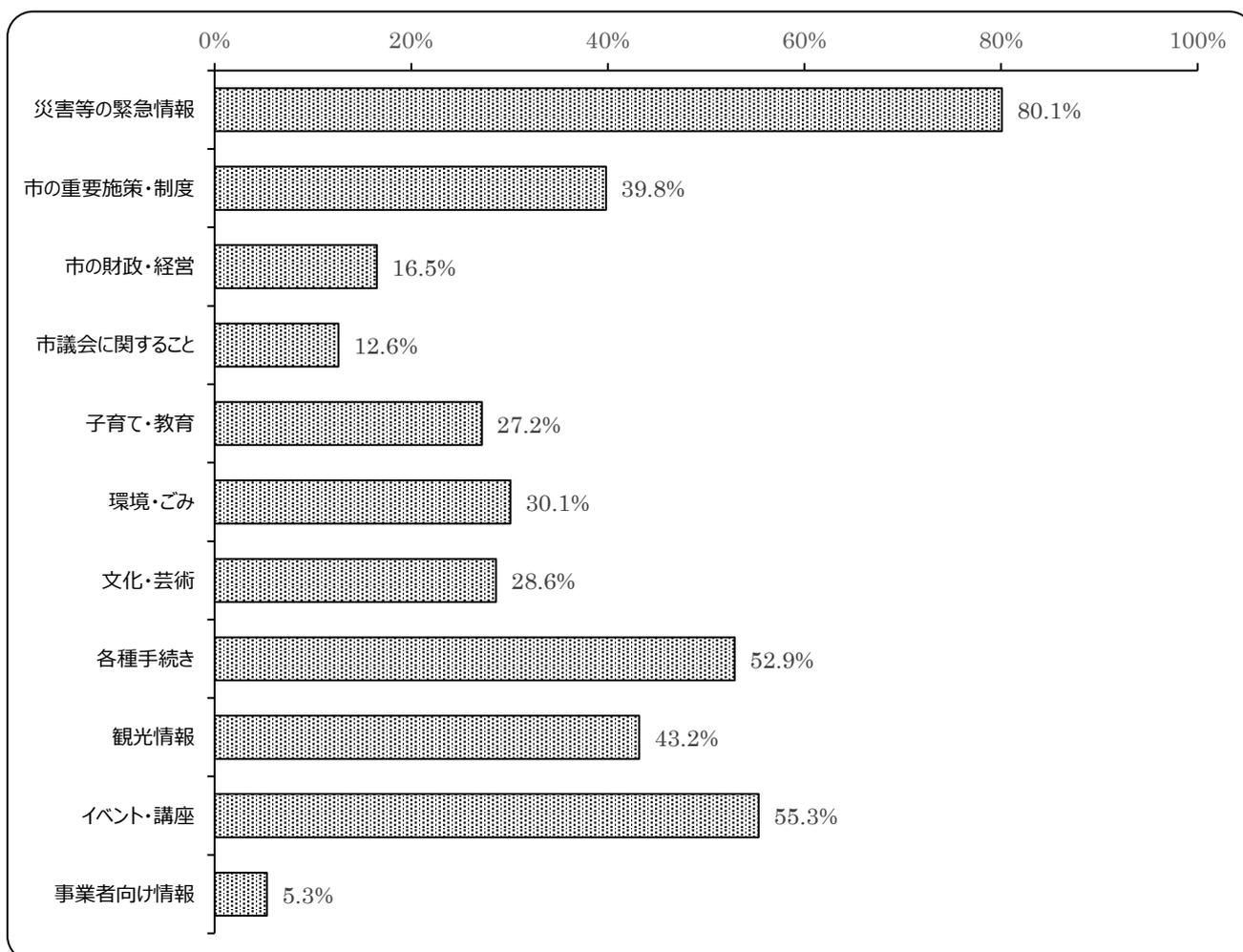
問 43. 問 42 で「1 思う」「2 まあ思う」と回答された方に伺います。

あなたは、SNS でどのような堺市政に関する情報を入手したいですか。

【複数選択可：いくつでも】

「災害等の緊急情報」が 80.1%と最も多く、次いで「イベント・講座」(55.3%)「各種手続き」(52.9%)「観光情報」(43.2%)「市の重要施策・制度」(39.8%)となっている。

	選択項目 (N=206)	回答数	構成比
1	災害等の緊急情報	165	80.1%
2	市の重要施策・制度	82	39.8%
3	市の財政・経営	34	16.5%
4	市議会に関すること	26	12.6%
5	子育て・教育	56	27.2%
6	環境・ごみ	62	30.1%
7	文化・芸術	59	28.6%
8	各種手続き	109	52.9%
9	観光情報	89	43.2%
10	イベント・講座	114	55.3%
11	事業者向け情報	11	5.3%
	計 (回答総数)	807	391.7%



《SNS から堺市政に関する情報の入手を希望しない理由》

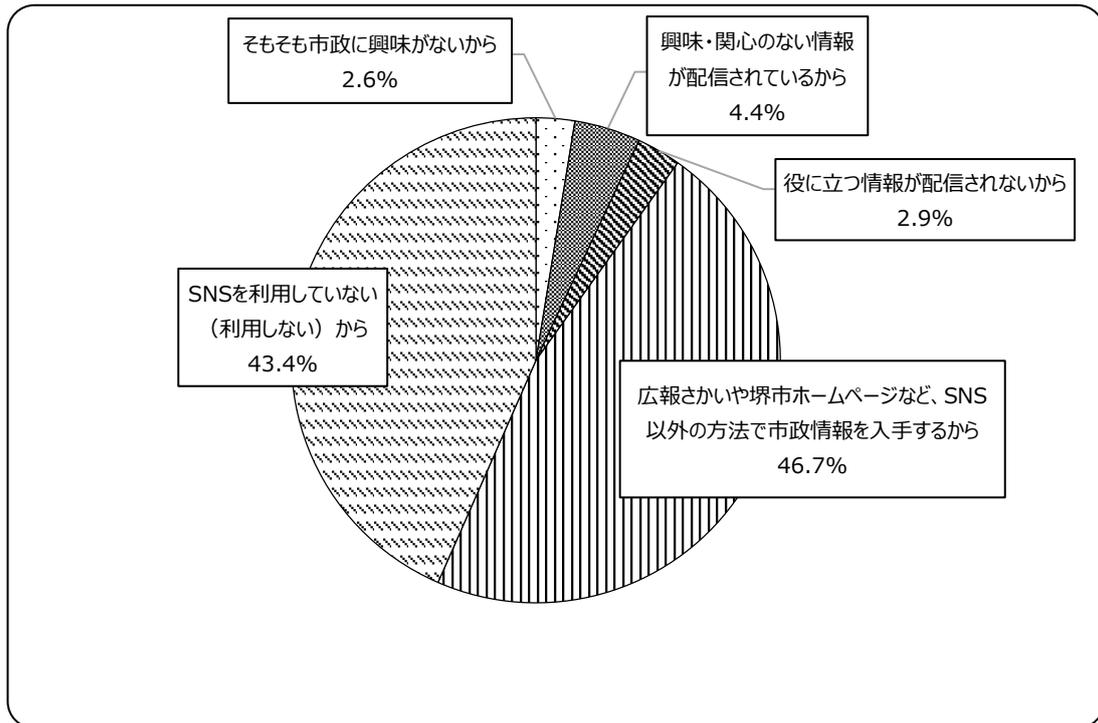
問 44. 問 42 で「3 あまり思わない」「4 思わない」と回答された方に伺います。

あなたが堺市 SNS を利用したいと思わない理由を教えてください。

【選択は 1 つ】

「広報さかいや堺市ホームページなど、SNS 以外の方法で市政情報を入手するから」が 46.7%と最も多く、次いで「SNS を利用していない（利用しない）から」が 43.4%となっている。

	選択項目 (N=274)	回答数	構成比
1	そもそも市政に興味がないから	7	2.6%
2	興味・関心のない情報が配信されているから	12	4.4%
3	役に立つ情報が配信されないから	8	2.9%
4	広報さかいや堺市ホームページなど、SNS 以外の方法で市政情報を入手するから	128	46.7%
5	SNS を利用していない（利用しない）から	119	43.4%
	計（回答総数）	274	100.0%



## (6) インターネット動画について

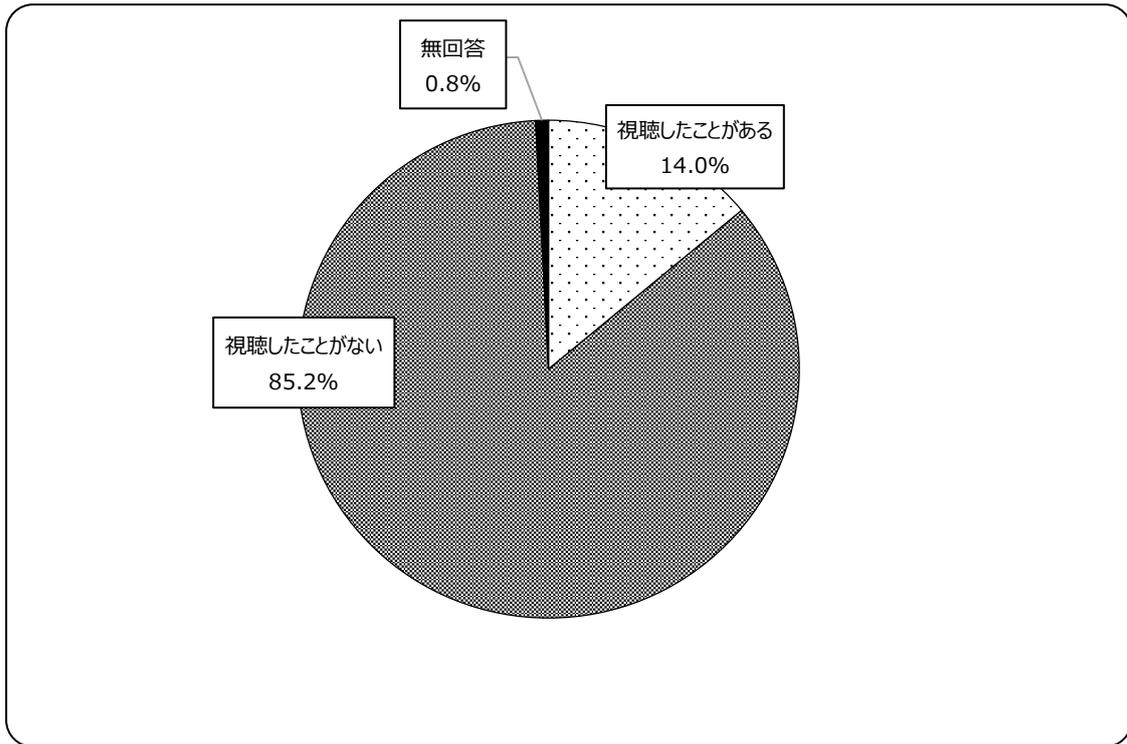
### 《堺動画チャンネルの視聴》

問 45. あなたは、「堺動画チャンネル」に掲載している動画を視聴したことがありますか。

【選択は1つ】

「視聴したことがある」が14.0%で昨年度の5.3%を上回ったが、「視聴したことがない」が85.2%となっており、8割以上の方が堺動画チャンネルを視聴したことがない。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	視聴したことがある	68	14.0%
2	視聴したことがない	414	85.2%
	無回答	4	0.8%
	計 (回答総数)	486	100.0%



### 3. 消費者問題について

#### (1) 堺市立消費生活センターについて

##### 《消費生活センターの認知度》

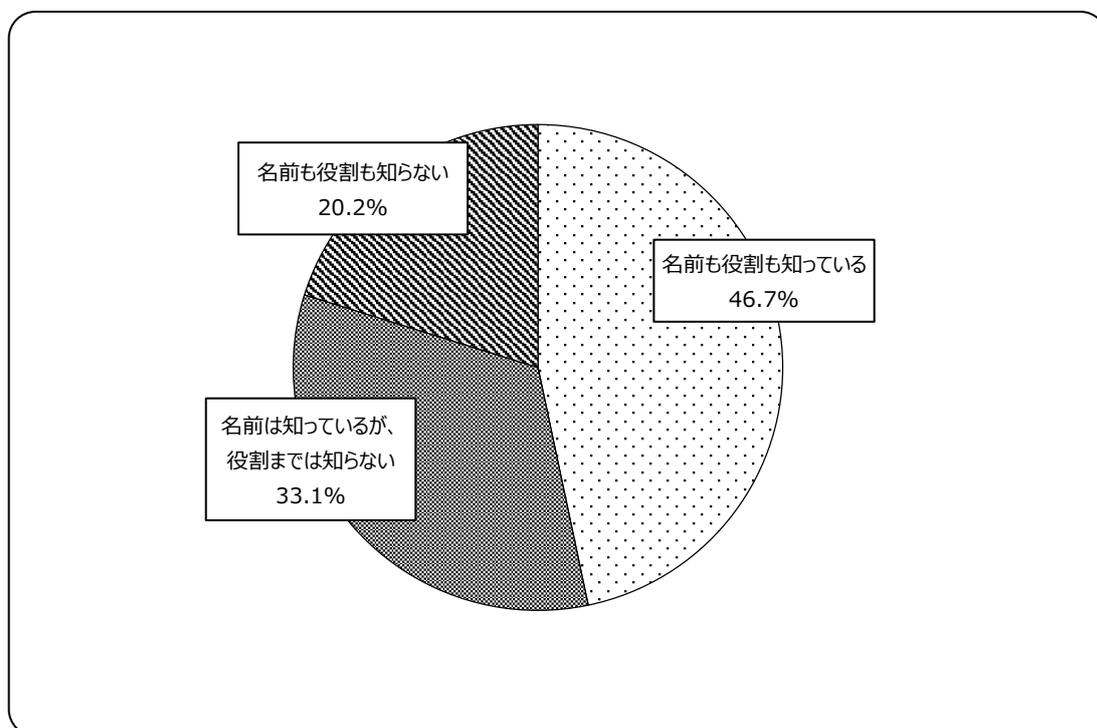
問 46. 堺市立消費生活センター（以下「消費生活センター」という。）を知っていますか。

【選択は1つ】

「名前も役割も知っている」と答えた方の割合は46.7%と最も高く、次いで「名前は知っているが、役割までは知らない」が33.1%、「名前も役割も知らない」が20.2%となっており、合計すると消費生活センターの名前を知っている（1,2の合計）方の割合は、79.8%となっている。

一方、消費生活センターの役割を知らない（2,3の合計）方は53.3%であり、前回調査（平成30年度）において消費生活センターの役割を知らないと回答された方（50.4%）より2.9%増えており、消費者被害にあっても速やかに解決できるよう、最も身近な消費生活相談窓口である消費生活センターの存在を含め、より一層周知が必要である。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	名前も役割も知っている	227	46.7%
2	名前は知っているが、役割までは知らない	161	33.1%
3	名前も役割も知らない	98	20.2%
	計 (回答総数)	486	100.0%



## (2) 商品やサービスの不満や被害等について

《商品購入やサービス利用上の経験》

問 47. この1年間に、商品購入やサービス利用の際、次に当てはまる経験をしたことはありますか。

【複数選択可：いくつでも】

トラブルにあった方の中では、「商品の機能・品質やサービスの質が自分の期待よりかなり劣っていた」の割合が17.3%と最も高く、次いで「表示や広告の内容と実際の商品・サービスの内容がかなり違っていた」が10.3%となっている。また、69.3%の方が「トラブルにあったことはない」と回答している。

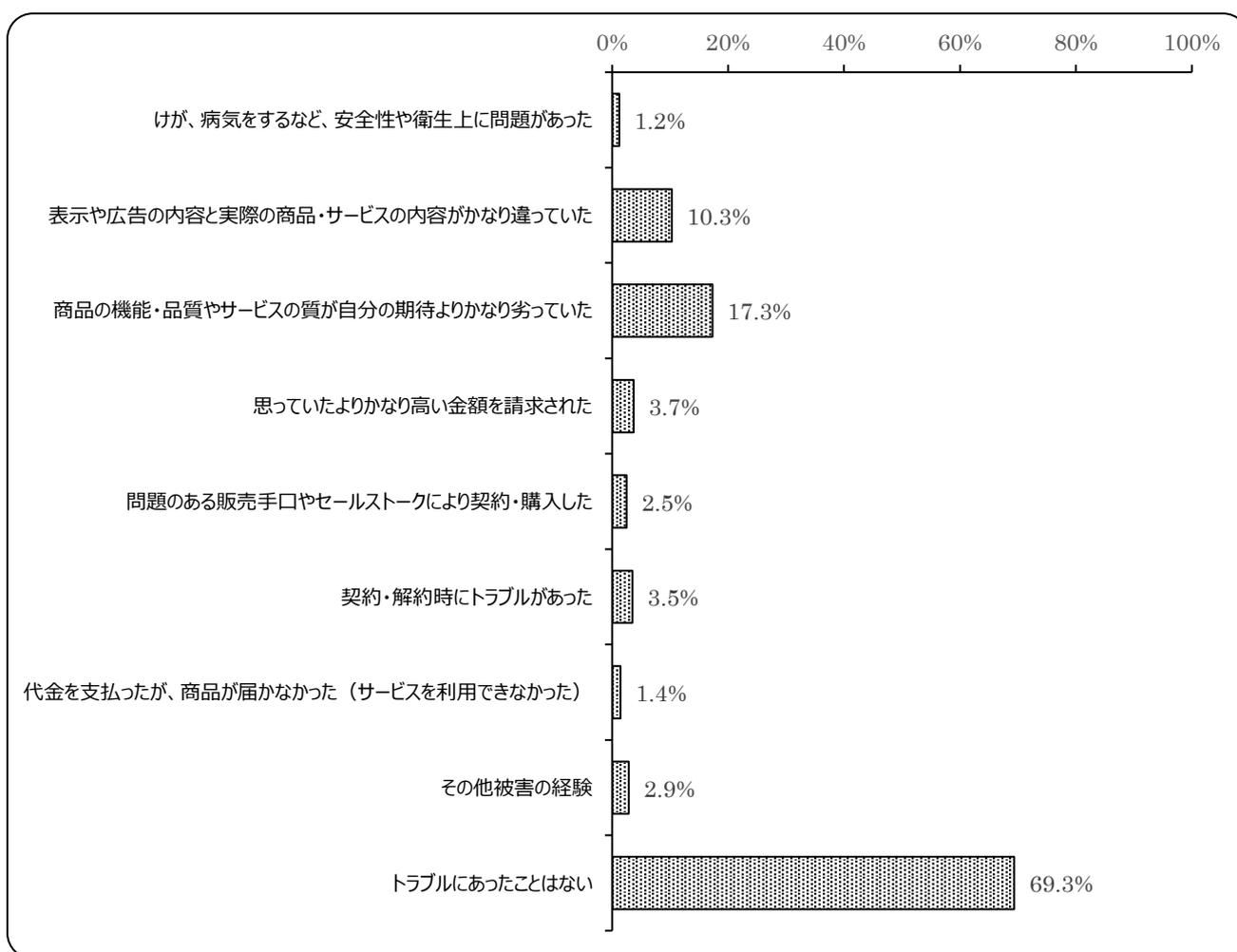
	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	けが、病気をするなど、安全性や衛生上に問題があった	6	1.2%
2	表示や広告の内容と実際の商品・サービスの内容がかなり違っていた	50	10.3%
3	商品の機能・品質やサービスの質が自分の期待よりかなり劣っていた	84	17.3%

4	思っていたよりかなり高い金額を請求された	18	3.7%
5	問題のある販売手口やセールストークにより契約・購入した	12	2.5%
6	契約・解約時にトラブルがあった	17	3.5%
7	代金を支払ったが、商品が届かなかった（サービスを利用できなかった）	7	1.4%
8	その他被害の経験	14	2.9%
9	トラブルにあったことはない	337	69.3%
		計（回答総数）	545
			112.1%

[8 その他]

【主な回答】

- 高価なものを売りつけられた。
- アフターサービスが期待より劣っていた。
- 旅行がコロナで渡航禁止となったのにキャンセル料を請求された。



《苦情の相談先》

問 48. 問 47 で 1～8 のいずれかを回答された方にお伺いします。

その苦情はどこかに相談したり、伝えたりしましたか。

【複数選択可：いくつでも】

も】

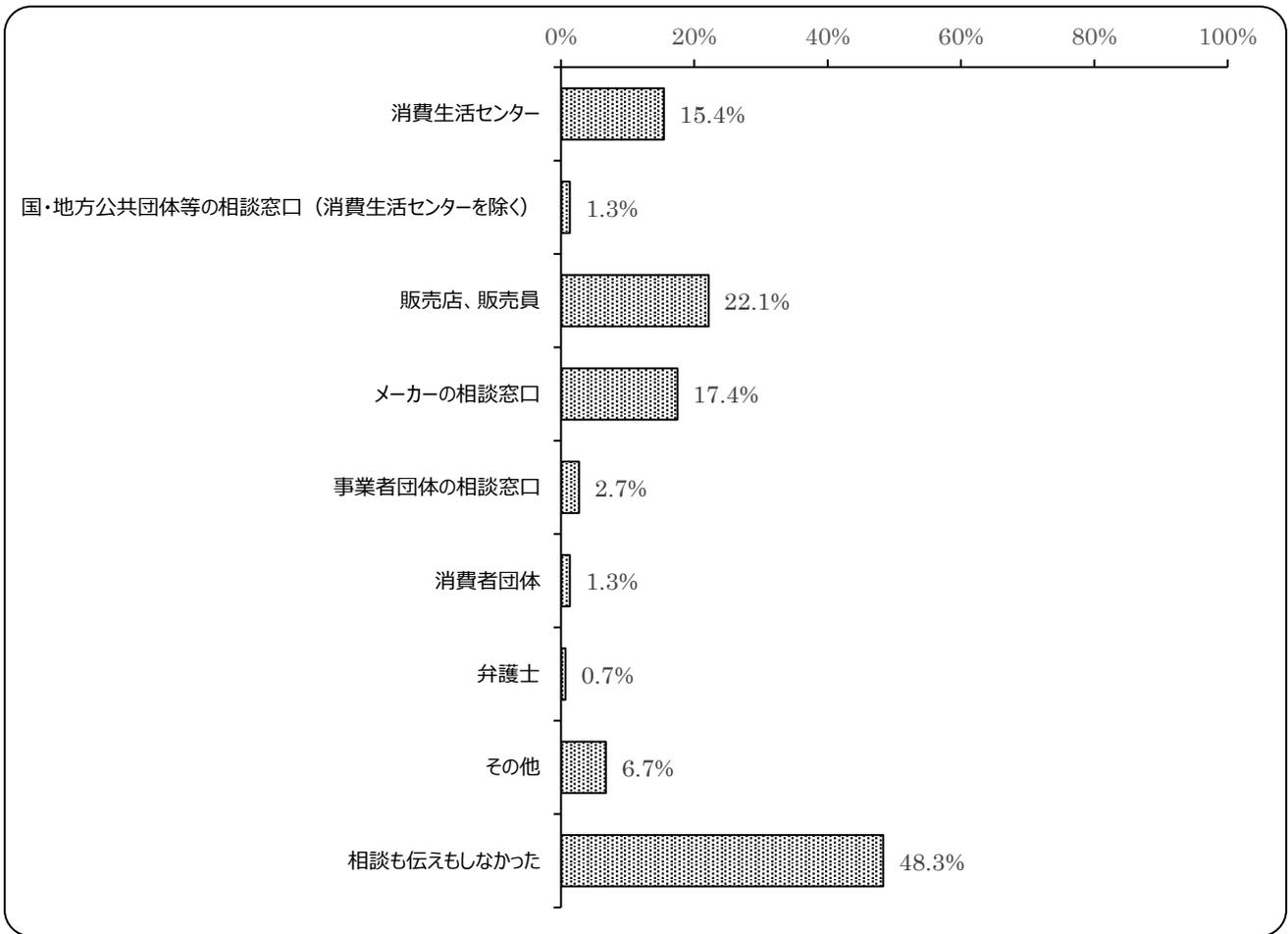
「販売店、販売員」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「メーカーの相談窓口」が 17.4%、「消費生活センター」が 15.4%となっている。

	選択項目 (N=149)	回答数	構成比
1	消費生活センター	23	15.4%
2	国・地方公共団体等の相談窓口 (消費生活センターを除く)	2	1.3%
3	販売店、販売員	33	22.1%
4	メーカーの相談窓口	26	17.4%
5	事業者団体の相談窓口	4	2.7%
6	消費者団体	2	1.3%
7	弁護士	1	0.7%
8	その他	10	6.7%
9	相談も伝えもしなかった	72	48.3%
	計 (回答総数)	173	116.1%

[8 その他]

【主な回答】

- 警察署
- 同業他社
- 生産メーカーや販売店の本社



《苦情を相談も伝えもしなかった理由》

問 49. 問 48 で「9 相談も伝えもしなかった」と回答された方にお伺いします。

苦情をどこにも相談も伝えもしなかったのはなぜですか。 【複数選択可：いくつでも】

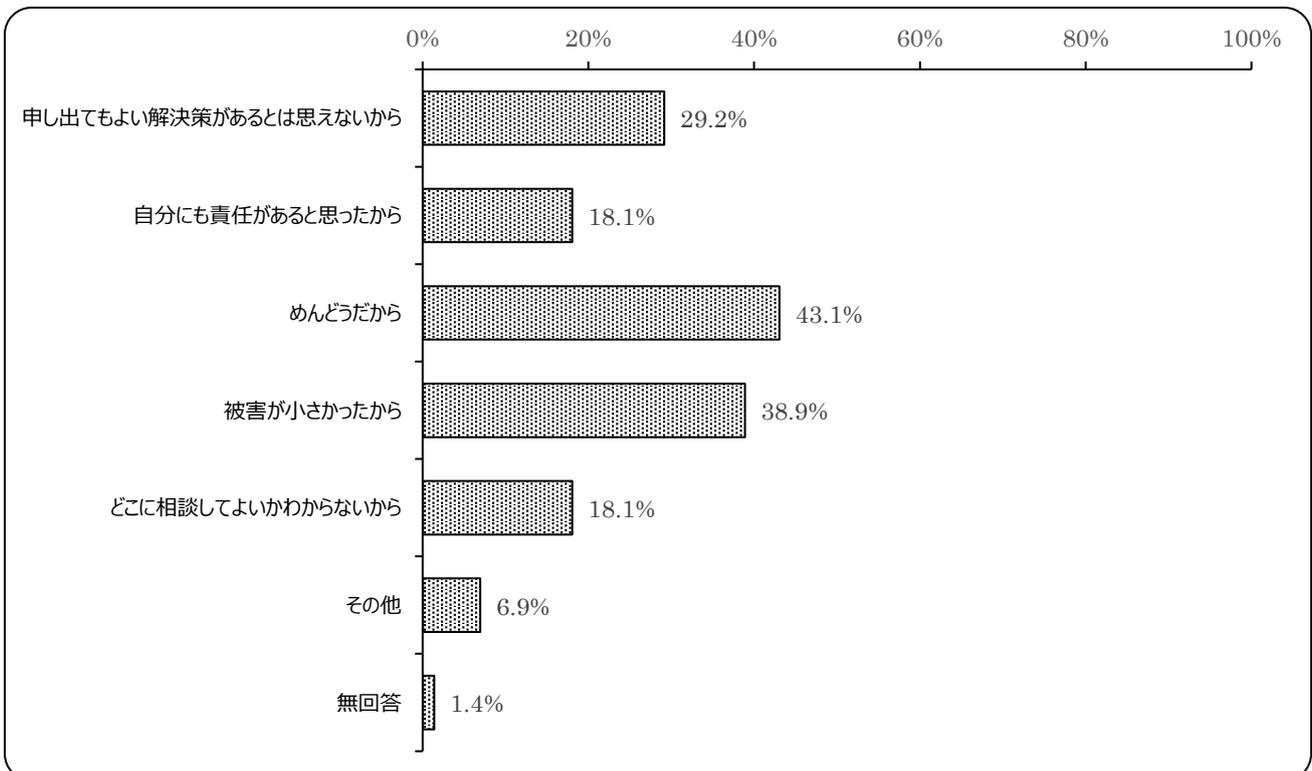
「めんどうだから」の割合が 43.1%、「被害が小さかったから」が 38.9%、「申し出てもよい解決策があるとは思えないから」が 29.2%となっている。前回調査（平成 30 年度）では、「めんどうだから」「被害が小さかったから」が 27.3%と同率であったが、今回調査では「めんどうだから」の割合が最も高かったものの、順位は変わらなかった。

	選択項目 (N=72)	回答数	構成比
1	申し出てもよい解決策があるとは思えないから	21	29.2%
2	自分にも責任があったから	13	18.1%
3	めんどうだから	31	43.1%
4	被害が小さかったから	28	38.9%
5	どこに相談してよいかわからないから	13	18.1%
6	その他	5	6.9%
	無回答	1	1.4%
	計 (回答総数)	112	155.6%

[6 その他]

【主な回答】

- 自分で解決できたため
- 購入した商品を知られるのが嫌だったから



### (3) 悪質商法等について

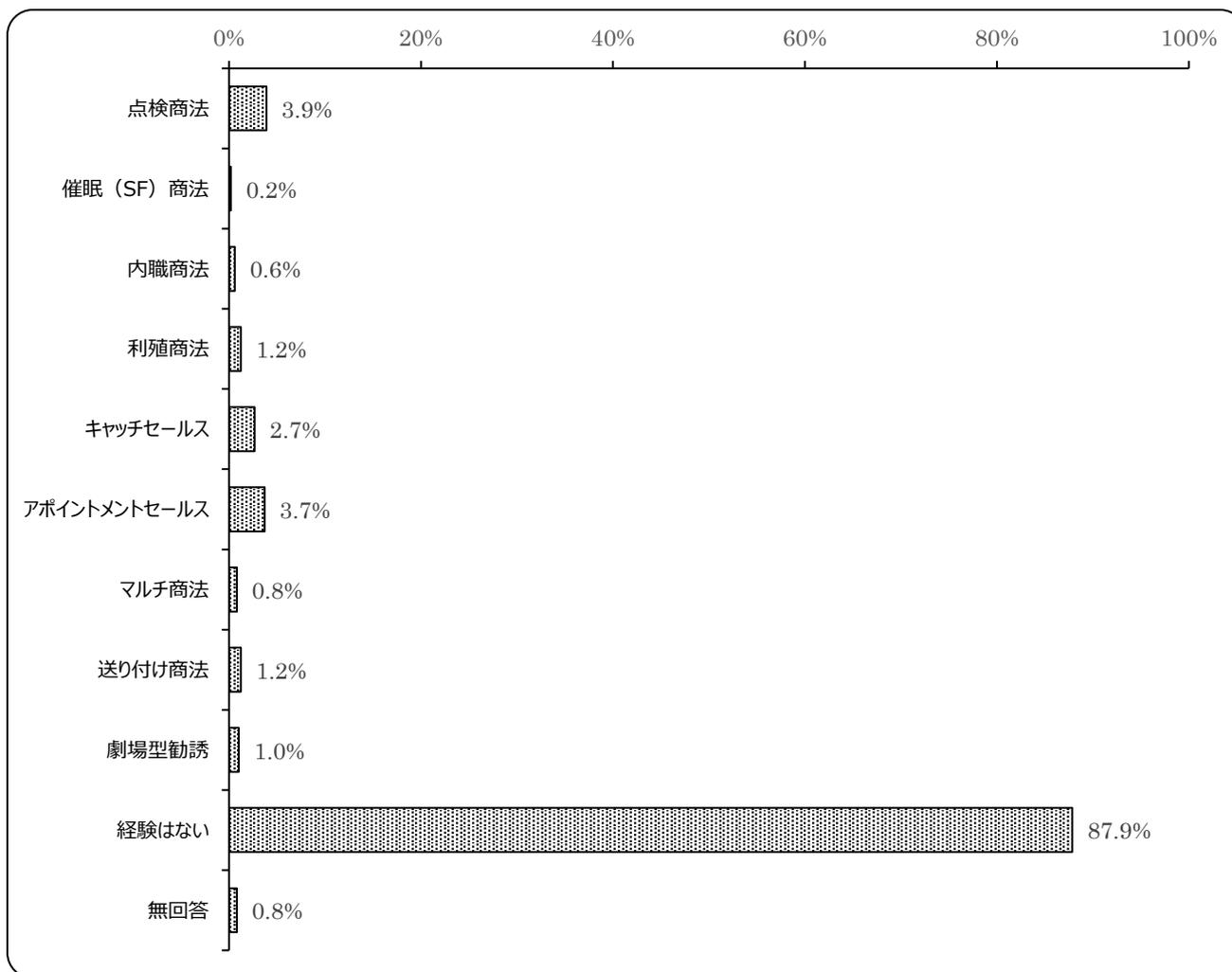
〈悪質商法にあった経験〉

問 50. あなたは、この1年間に次の悪質商法にあった経験はありますか。

【複数選択可：いくつでも】

経験がある方の中では「点検商法」の割合が3.9%と最も高く、次いで「アポイントメントセールス」が3.7%、「キャッチセールス」が2.7%となっている。また、87.9%が「経験はない」と回答している。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	点検商法	19	3.9%
2	催眠 (SF) 商法	1	0.2%
3	内職商法	3	0.6%
4	利殖商法	6	1.2%
5	キャッチセールス	13	2.7%
6	アポイントメントセールス	18	3.7%
7	マルチ商法	4	0.8%
8	送り付け商法	6	1.2%
9	劇場型勧誘	5	1.0%
10	経験はない	427	87.9%
	無回答	4	0.8%
	計 (回答総数)	506	104.1%



#### (4) インターネットのトラブルについて

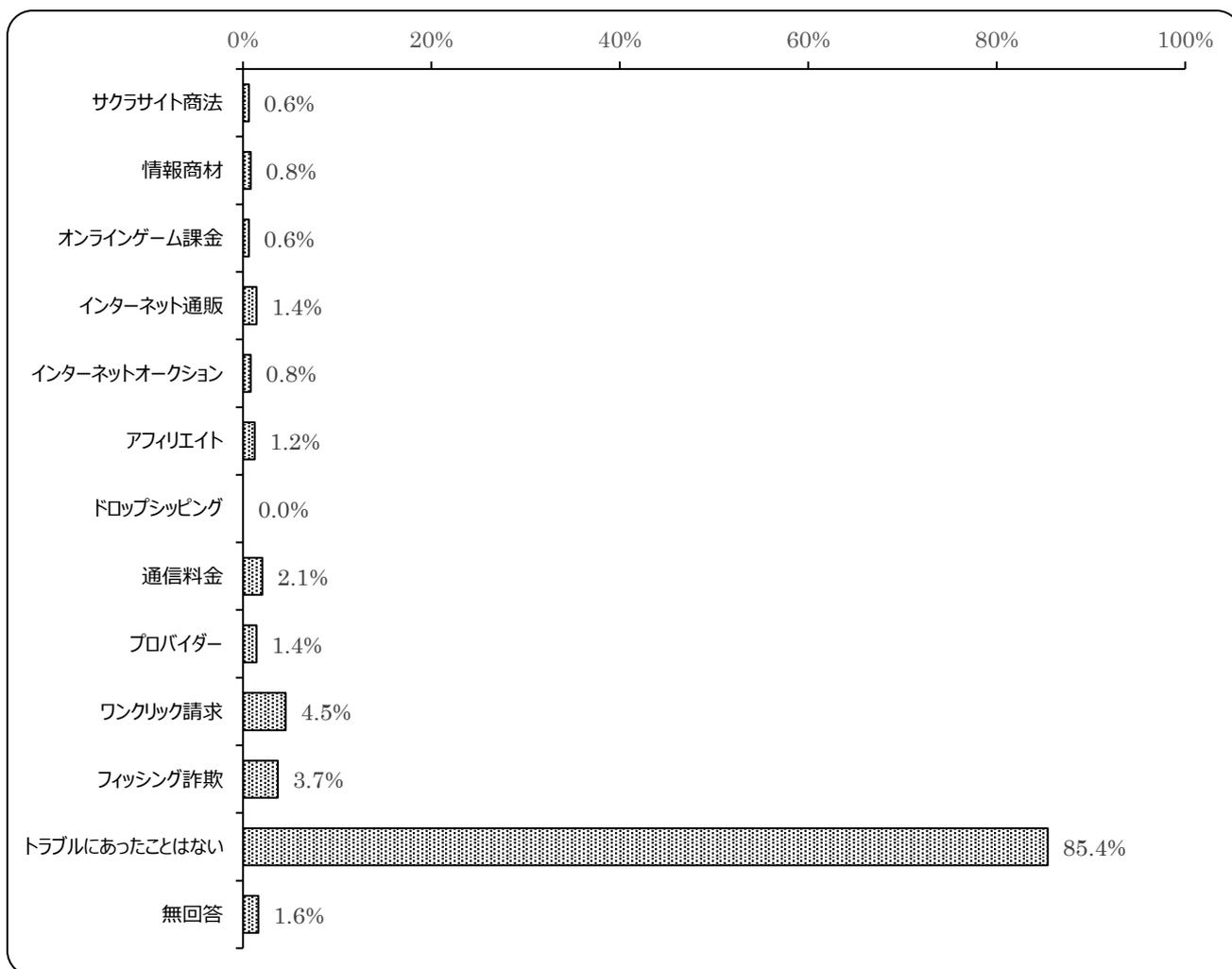
《インターネットトラブルにあった経験》

問 51. あなたは、この1年間に次のインターネットトラブルにあったことがありますか。

【複数選択可：いくつでも】

「ワンクリック請求」の割合が4.5%と最も高く、次いで「フィッシング詐欺」が3.7%、「通信料金」が2.1%となっている。また、85.4%が「トラブルにあったことはない」と回答している。前回調査（平成30年度）では「トラブルにあったことはない（被害にあったものはない）」が79.2%であり、今回調査が6.2%の増となっている部分を見ると、インターネットトラブルに対する危機意識が向上してきている。

	選択項目（N=486）	回答数	構成比
1	サクラサイト商法	3	0.6%
2	情報商材	4	0.8%
3	オンラインゲーム課金	3	0.6%
4	インターネット通販	7	1.4%
5	インターネットオークション	4	0.8%
6	アフィリエイト	6	1.2%
7	ドロップ SHIPPING	0	0.0%
8	通信料金	10	2.1%
9	プロバイダー	7	1.4%
10	ワンクリック請求	22	4.5%
11	フィッシング詐欺	18	3.7%
12	トラブルにあったことはない	415	85.4%
	無回答	8	1.6%
	計（回答総数）	507	104.3%



## (5) 訪問販売・電話勧誘販売について

◀訪問販売や電話勧誘販売を受けた商品・サービス▶

問 52. この1年間に、次の商品・サービスの訪問販売や電話勧誘販売を受けたことがありますか。  
【複数選択可：いくつでも】

### (ア) 訪問販売

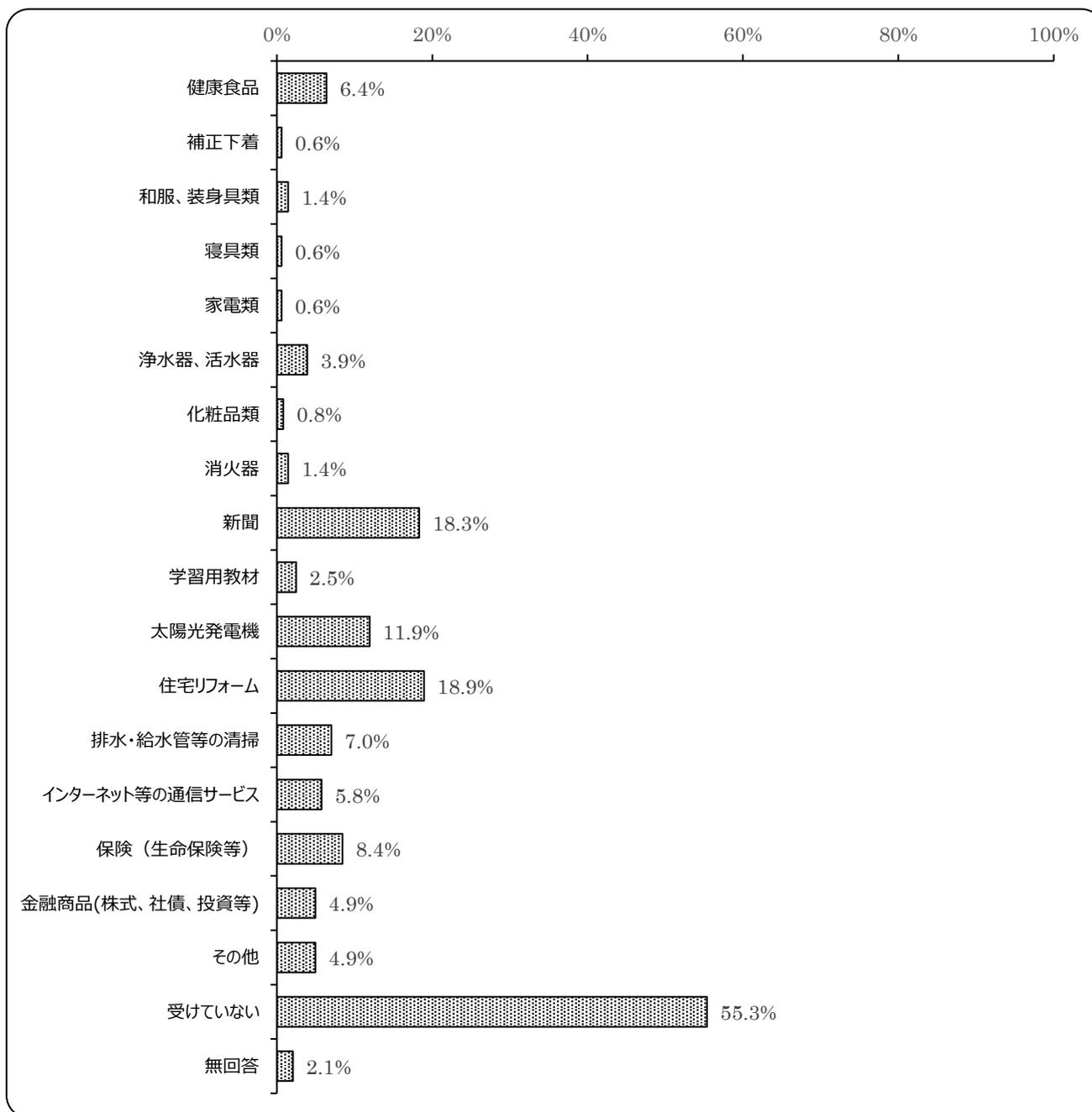
「住宅リフォーム」の割合が18.9%と最も高く、次いで「新聞」が18.3%、「太陽光発電」が11.9%、「保険（生命保険等）」が8.4%となっている。前回調査（平成30年度）では「新聞」が30.9%、「住宅リフォーム」が24.1%、「保険（生命保険等）」が15.6%、「太陽光発電」が11.3%となっており、今回調査では順位が変わってはいるものの、上位を占める項目に変化は見られなかった。

	選択項目（N=486）	回答数	構成比
1	健康食品	31	6.4%
2	補正下着	3	0.6%
3	和服、装身具類	7	1.4%
4	寝具類	3	0.6%
5	家電類	3	0.6%
6	浄水器、活水器	19	3.9%
7	化粧品類	4	0.8%
8	消火器	7	1.4%
9	新聞	89	18.3%
10	学習用教材	12	2.5%
11	太陽光発電機	58	11.9%
12	住宅リフォーム	92	18.9%
13	排水・給水管等の清掃	34	7.0%
14	インターネット等の通信サービス	28	5.8%
15	保険（生命保険等）	41	8.4%
16	金融商品（株式、社債、投資等）	24	4.9%
17	その他	24	4.9%
18	受けていない	269	55.3%
	無回答	10	2.1%
	計（回答総数）	758	156.0%

[17 その他]

【主な回答】

- 野菜、果物
- アクセサリ
- 屋根瓦の補修



(イ) 電話勧誘販売

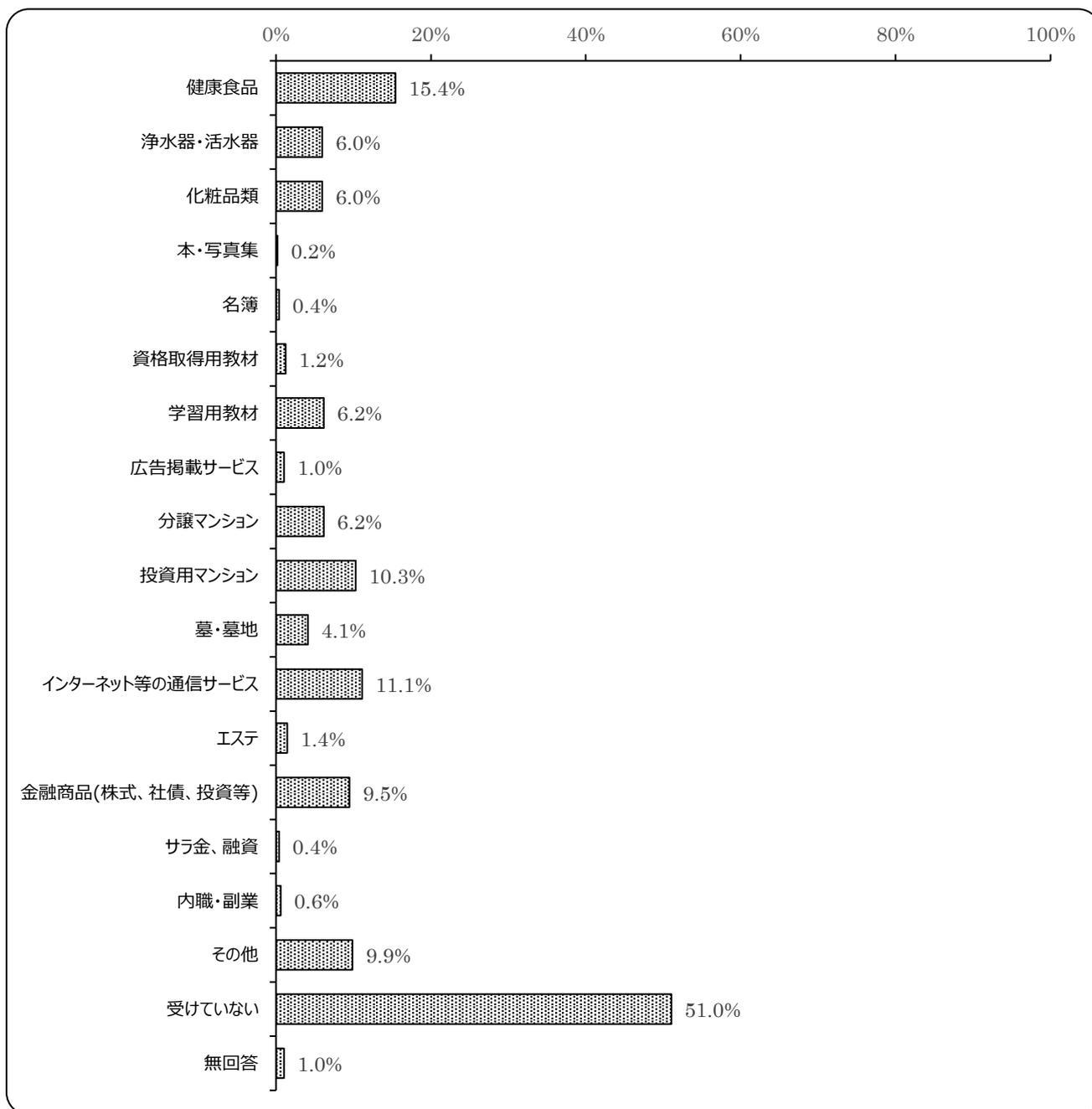
「健康食品」の割合が15.4%と最も高く、次いで「インターネット等の通信サービス」が11.1%、「投資用マンション」が10.3%となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	健康食品	75	15.4%
2	浄水器・活水器	29	6.0%
3	化粧品類	29	6.0%
4	本・写真集	1	0.2%
5	名簿	2	0.4%
6	資格取得用教材	6	1.2%
7	学習用教材	30	6.2%
8	広告掲載サービス	5	1.0%
9	分譲マンション	30	6.2%
10	投資用マンション	50	10.3%
11	墓・墓地	20	4.1%
12	インターネット等の通信サービス	54	11.1%
13	エステ	7	1.4%
14	金融商品(株式、社債、投資等)	46	9.5%
15	サラ金、融資	2	0.4%
16	内職・副業	3	0.6%
17	その他	48	9.9%
18	受けていない	248	51.0%
	無回答	5	1.0%
	計 (回答総数)	690	142.0%

[17 その他]

【主な回答】

- 不用品の買い取り
- リフォーム
- 電力・ガス



《訪問販売や電話勧誘販売についての感想》

問 53. 商品・サービスの販売を目的とした事業者の訪問を受けることや電話がかかってくることを、どのように感じていますか。 【選択は1つ】

(ア) 訪問販売

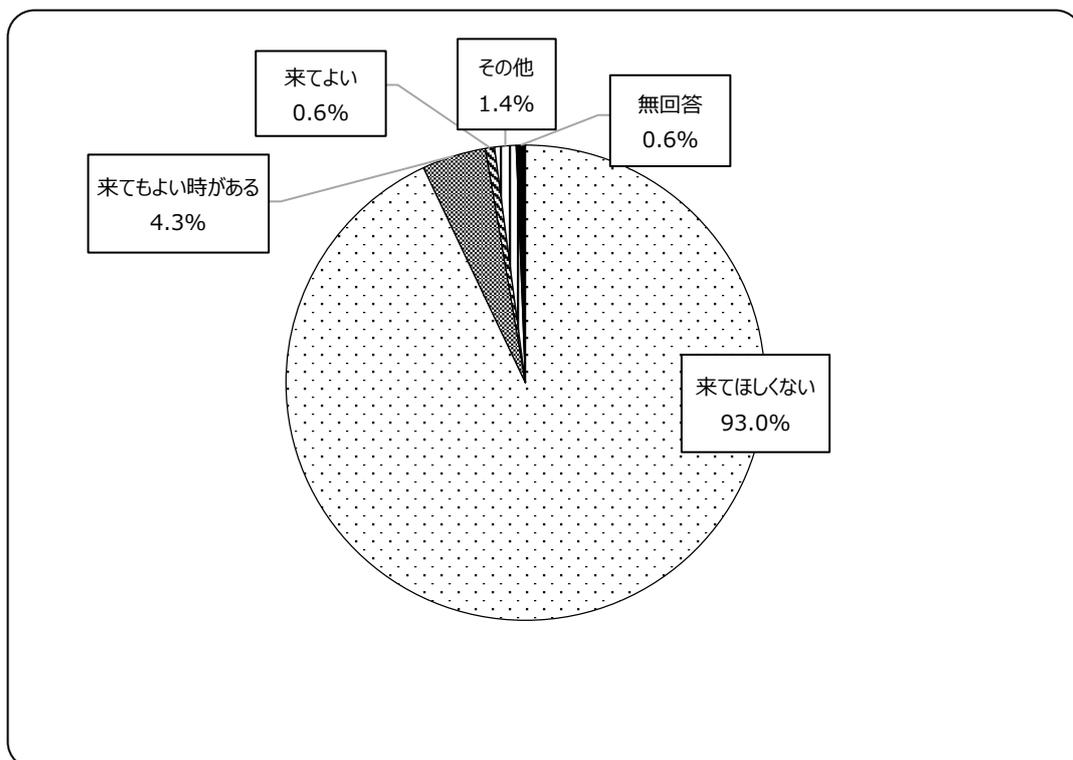
「来てほしくない」の割合が 93.0%となっており、前回調査（平成 30 年度）の 94.0%と同程度の結果である。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	来てほしくない	452	93.0%
2	来てもよい時がある	21	4.3%
3	来てよい	3	0.6%
4	その他	7	1.4%
	無回答	3	0.6%
	計 (回答総数)	486	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- ・来てほしいときはこちらから連絡する。
- ・本当に正当な販売目的であれば、来てもらってもよい。



### (イ) 電話勧誘販売

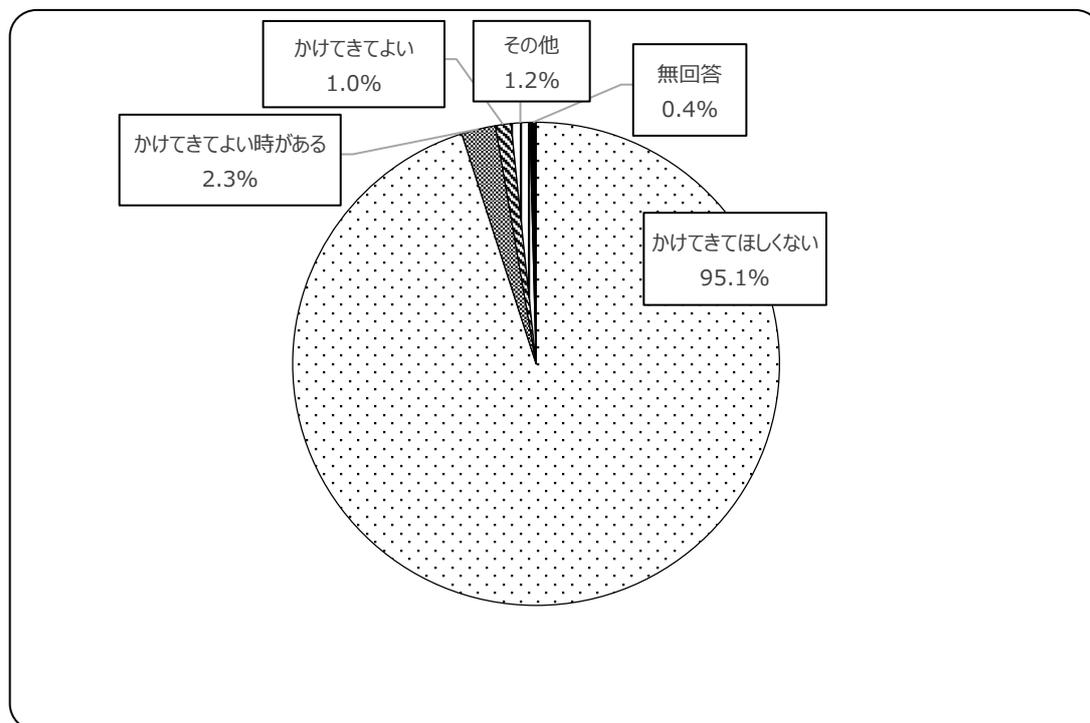
「かけてきてほしくない」の割合が95.1%となっており、前回調査（平成30年度）の94.9%と同程度の結果である。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	かけてきてほしくない	462	95.1%
2	かけてきてよい時がある	11	2.3%
3	かけてきてよい	5	1.0%
4	その他	6	1.2%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- どこから電話番号等の情報が漏れたのかわからない。
- 電話がかかってきても出ない。



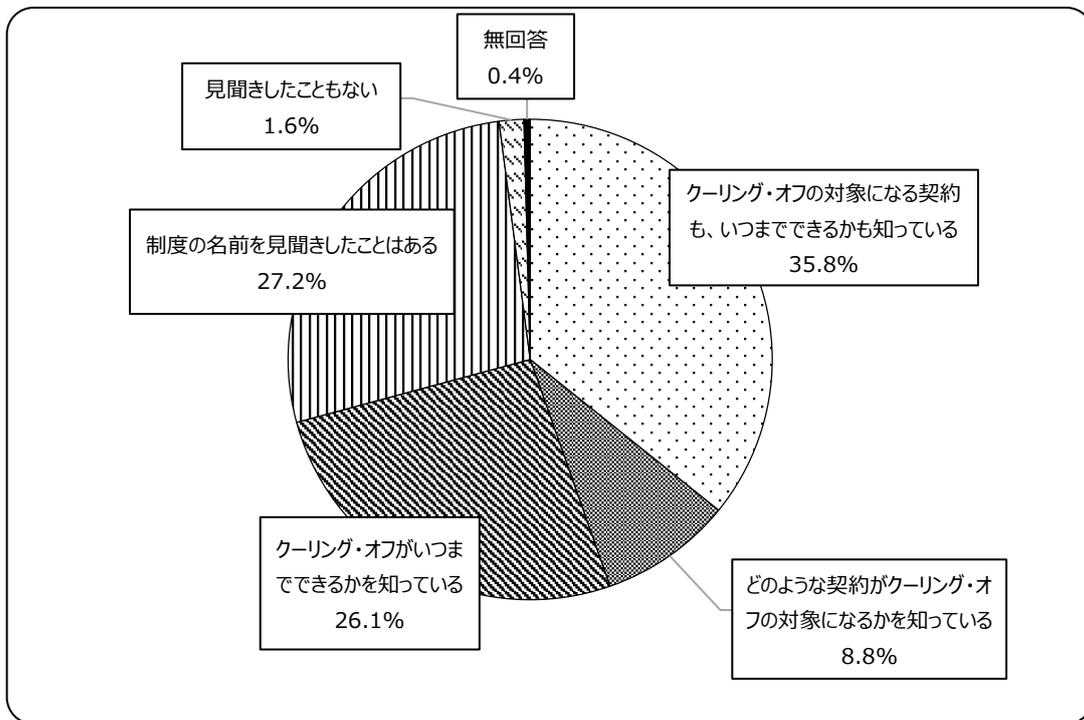
《クーリング・オフ制度の認識度》

問 54. あなたは、クーリング・オフ制度を知っていますか。  
つ】

【選択は 1

「クーリング・オフの対象になる契約も、いつまでできるかも知っている」の割合が 35.8%と最も高く、「制度の名前を見聞きしたことはある」が 27.2%、「クーリング・オフがいつまでできるかを知っている」が 26.1%となっている。これらを合計すると、クーリング・オフ制度について何らかのことを知っている人は 97.9%となる。「クーリング・オフの対象になる契約も、いつまでできるかも知っている」と答えた方は前回調査（平成 30 年度）では 24.7%であったのに対して、今回の調査では 35.8%と 11.1%増えており、制度について認識が深まってきている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	クーリング・オフの対象になる契約も、いつまでできるかも知っている	174	35.8%
2	どのような契約がクーリング・オフの対象になるかを知っている	43	8.8%
3	クーリング・オフがいつまでできるかを知っている	127	26.1%
4	制度の名前を見聞きしたことはある	132	27.2%
5	見聞きしたこともない	8	1.6%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%

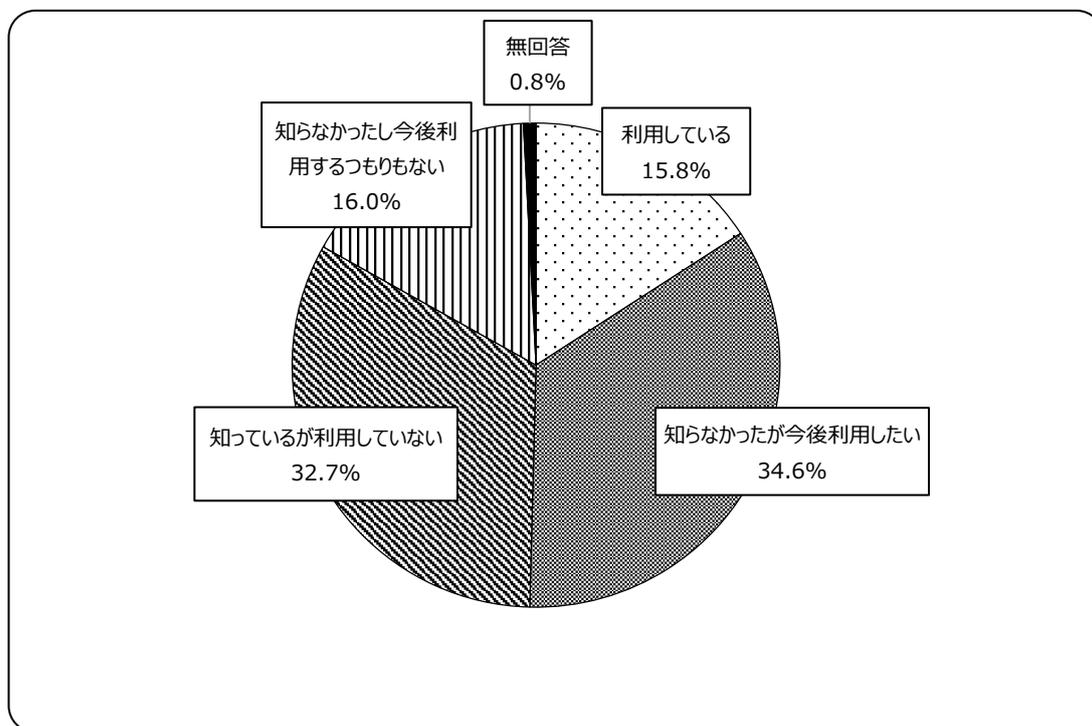


《訪問販売お断りシールの利用度》

問 55. 本市では、望まない訪問販売による消費者被害を防ぐため、「訪問販売お断りシール」を作成し、配布しています。「訪問販売お断りシール」を利用していますか。【選択は1つ】

「知らなかったが今後利用したい」の割合が 34.6%と最も高く、「利用している」の 15.8%と合わせ 50.4%が利用者・利用希望者であるが、一方「知っているが利用していない」、「知らなかったし今後利用するつもりもない」を合わせた 48.7%が利用を希望していない。前回調査（平成 30 年度）では、利用者・利用希望者が 53.3%であったのに対し、「知っているが利用していない」「知らなかったし今後利用するつもりもない」の合計 46.5%が利用を希望していなかった。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	利用している	77	15.8%
2	知らなかったが今後利用したい	168	34.6%
3	知っているが利用していない	159	32.7%
4	知らなかったし今後利用するつもりもない	78	16.0%
	無回答	4	0.8%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《訪問販売お断りシールの効果》

問 56. 問 55 で「1 利用している」と回答された方にお伺いします。

「訪問販売お断りシール」を貼ったことで、以前と比べて効果があったと思いますか。

【選択は1つ】

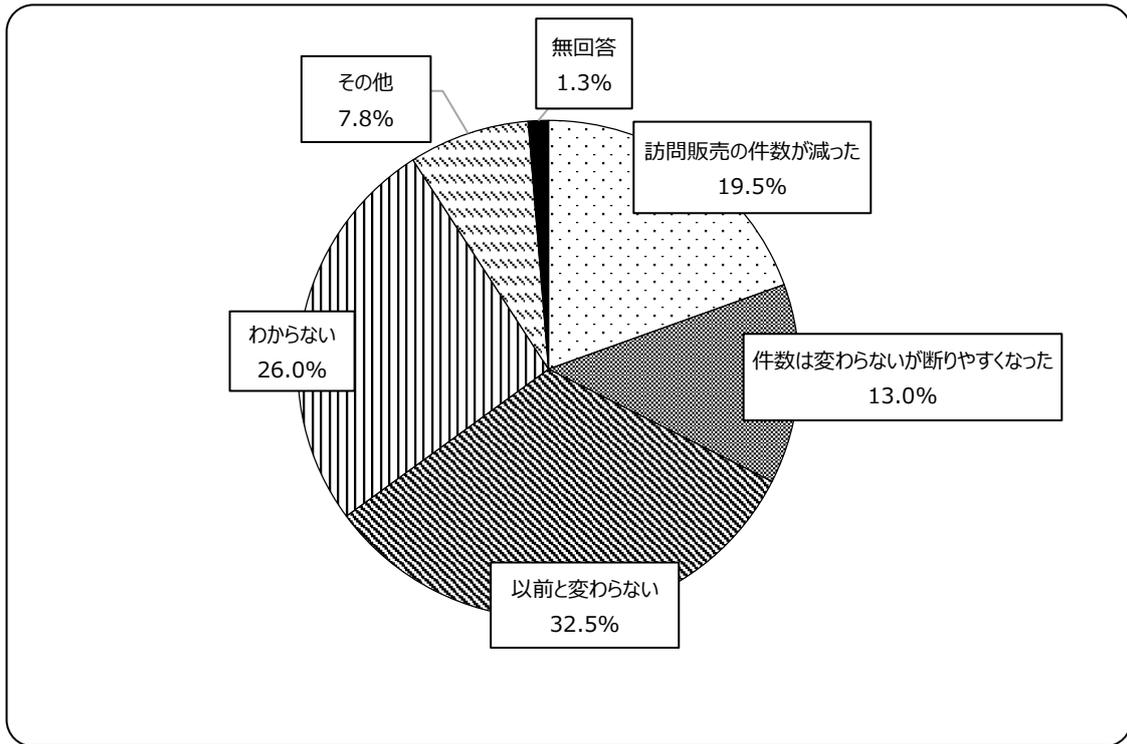
「以前と変わらない」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「わからない」が 26.0%、「訪問販売の件数が減った」が 19.5%となっている。前回調査（平成 30 年度）では、「訪問販売の件数が減った」が 31.4%と最も高かった。

	選択項目 (N=77)	回答数	構成比
1	訪問販売の件数が減った	15	19.5%
2	件数は変わらないが断りやすくなった	10	13.0%
3	以前と変わらない	25	32.5%
4	わからない	20	26.0%
5	その他	6	7.8%
	無回答	1	1.3%
	計 (回答総数)	77	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 宗教団体の勧誘が多い。



《訪問販売お断りシールを利用しない理由》

問 57. 問 55 で「3 知っているが利用していない」または「4 知らなかったし今後利用するつもりもない」と回答された方にお伺いします。

「訪問販売お断りシール」を利用しないのはなぜですか。 【複数選択可：いくつでも】

「貼るまでもなく自分で断れるから」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「貼っても効果があるとは思えないから」が 30.0%、「貼ることで家の外観が損なわれるから」が 28.3%となっている。また、入手方法がわからない、マンションなので貼れないという意見も多かったため、配布方法等の検討が必要である。

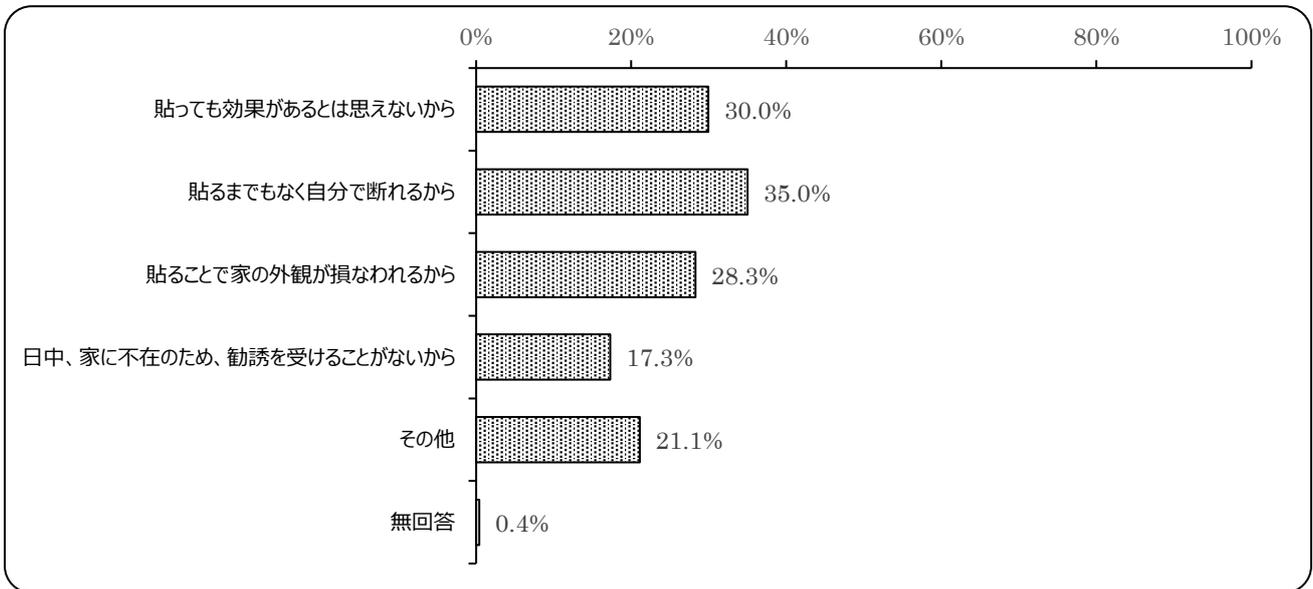
	選択項目 (N=237)	回答数	構成比
1	貼っても効果があるとは思えないから	71	30.0%
2	貼るまでもなく自分で断れるから	83	35.0%
3	貼ることで家の外観が損なわれるから	67	28.3%
4	日中、家に不在のため、勧誘を受けることがないから	41	17.3%
5	その他	50	21.1%
	無回答	1	0.4%
	計 (回答総数)	313	132.1%

[5 その他]

【主な回答】

- オートロックのマンションのため1階のインターホンに貼れない。
- 貼ることで嫌がらせや余計に勧誘が来るのではないかと。

●入手方法がわからない。



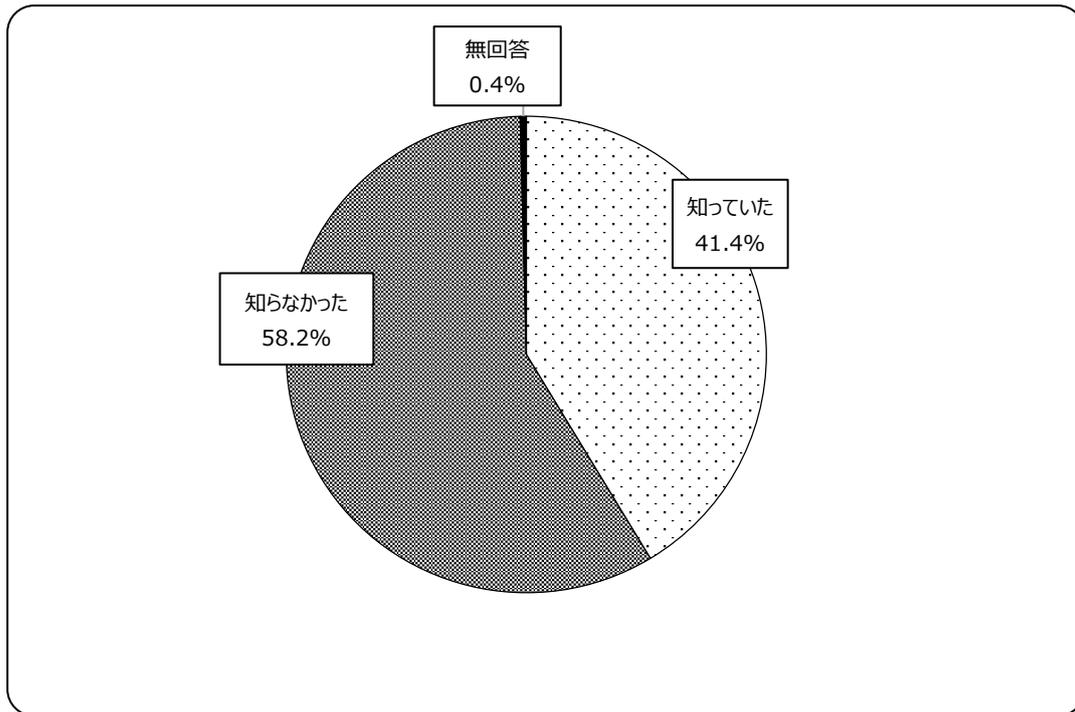
(6) 消費者教育・啓発について

《18歳、19歳の未成年者取消権の認知度》

問 58. 民法の改正により、令和4年4月から、成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられます。これに伴い、「未成年者取消権」が18歳、19歳には適用されなくなります。あなたは、このことを知っていましたか。【選択は1つ】

「知らなかった」が58.2%、「知っていた」が41.4%となっている。すべての年代において「知らなかった」と回答した方の割合が高くなっている。また、年齢別集計の結果、18歳以上30歳未満でも「知らなかった」が58.7%となっているため、若年者の消費者トラブルを防止するための手法を検討する必要がある。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	知っていた	201	41.4%
2	知らなかった	283	58.2%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《消費者トラブルを防ぐ方法》

問 59. 消費者トラブルを防止するための方法として何が重要だと思いますか。

【複数回答可：2 つまで】

「テレビ・ラジオなどを利用した情報提供」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「SNS、インターネットを利用した情報提供」が 36.2%、「広報さかいを利用した情報提供」が 32.9%となっている。前回調査（平成 30 年度）では「出前講座の実施（高齢者を対象とした出前講座の実施）」の割合が 35.4%と最も高かったが、近年、国などがメディアを使った情報提供を広く行い、テレビ・ラジオなどにより情報を得る機会が増えたことが今年度の結果につながったものと思われる。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	SNS、インターネットを利用した情報提供	176	36.2%
2	出前講座の実施	34	7.0%
3	地域で見守り活動を実施されている方々への情報提供	52	10.7%
4	テレビ・ラジオなどを利用した情報提供	206	42.4%
5	広報さかいを利用した情報提供	160	32.9%
6	消費者トラブルに関する講座、講演会の実施	28	5.8%
7	チラシ、パンフレットの拡充	91	18.7%
8	消費者教育の充実	108	22.2%
9	地域の担い手（サポーター）の育成	35	7.2%

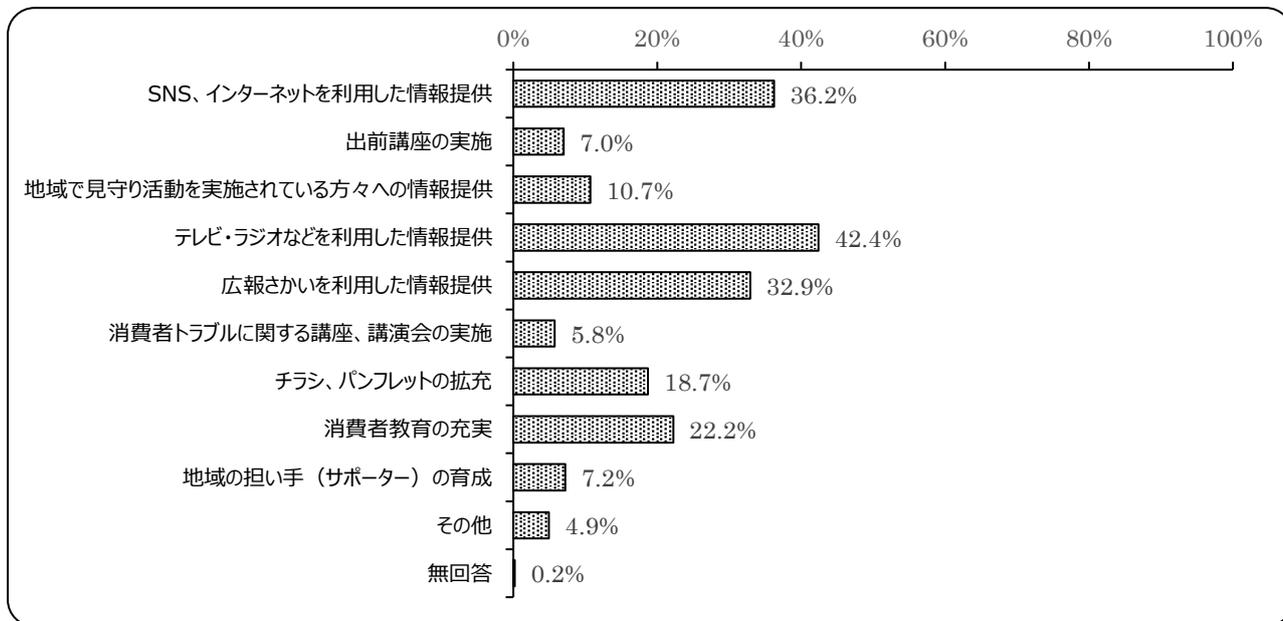
10	その他	24	4.9%
	無回答	1	0.2%
		計（回答総数）	915
			188.3%

[10 その他]

【主な回答】

●学校での教育

●留守番電話での対応



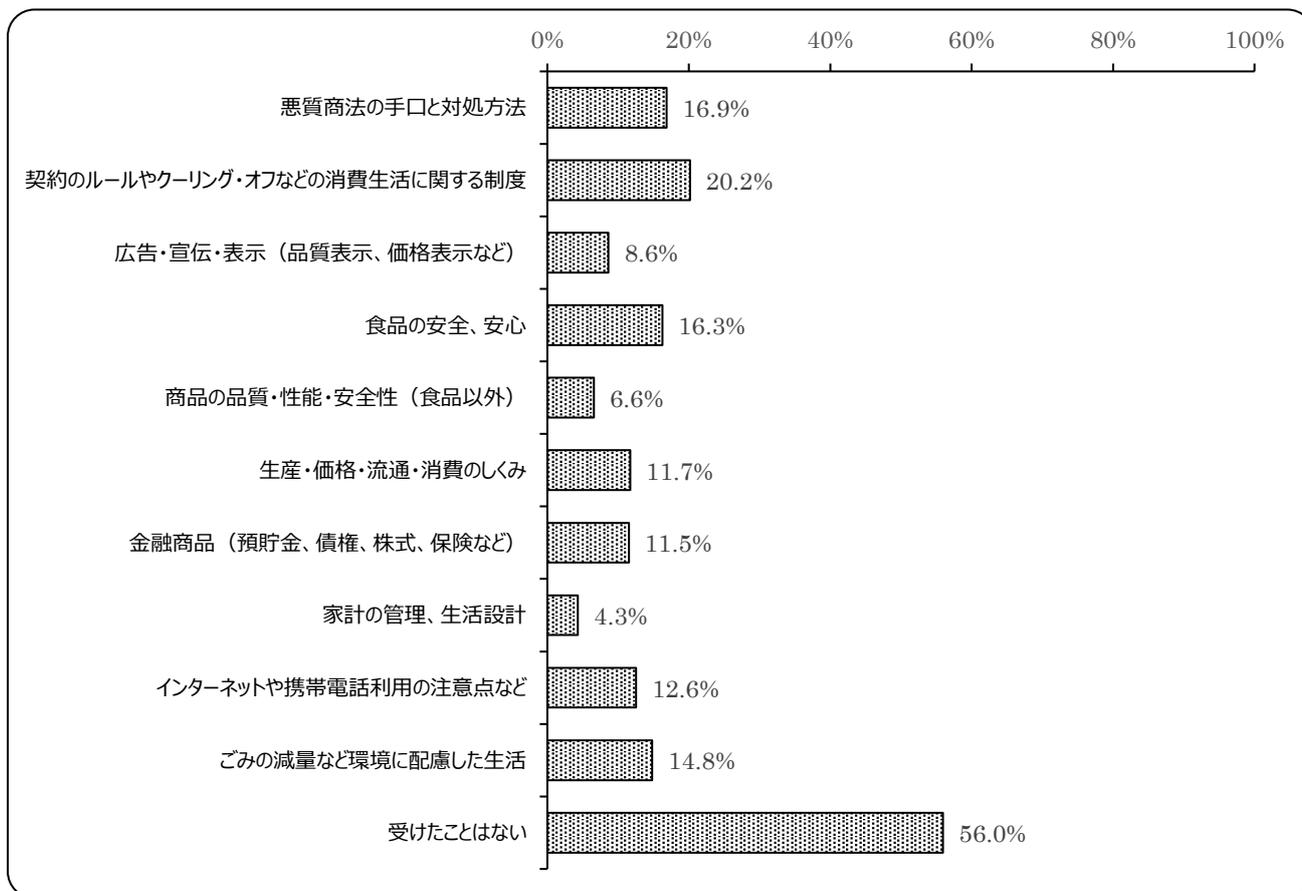
《消費者教育を受けた経験》

問 60. 地域、職場などにおけるセミナーや講座、学校の授業などにおいて、次のような消費者教育を受けたことがありますか。 【複数回答可：いくつでも】

「契約のルールやクーリング・オフなどの消費生活に関する制度」の割合が 20.2%、次いで「悪質商法の手口と対処方法」が 16.9%、「食品の安全、安心」が 16.3%となっている。また、「受けたことはない」が 56.0%と約半数を占めており、前回調査（平成 30 年度）の 49.2%と比べて 6.8%増えている。

	選択項目（N=486）	回答数	構成比
1	悪質商法の手口と対処方法	82	16.9%
2	契約のルールやクーリング・オフなどの消費生活に関する制度	98	20.2%
3	広告・宣伝・表示（品質表示、価格表示など）	42	8.6%
4	食品の安全、安心	79	16.3%
5	商品の品質・性能・安全性（食品以外）	32	6.6%
6	生産・価格・流通・消費のしくみ	57	11.7%
7	金融商品（預貯金、債権、株式、保険など）	56	11.5%
8	家計の管理、生活設計	21	4.3%
9	インターネットや携帯電話利用の注意点など	61	12.6%
10	ごみの減量など環境に配慮した生活	72	14.8%

11	受けたことはない	272	56.0%
		計（回答総数）	872
			179.4%



《消費者教育を受けた場所》

問 61. 問 60 で 1～10 のいずれかを回答された方にお伺いします。

それはどこで受けられましたか。

【複数回答可：いくつでも】

「会社・勤務先での消費生活に関する研修など」と「学校における消費者教育」の割合がそれぞれ 36.0%となっており、次いで「民間の企業や団体などが行う消費生活に関する講座・講演会など」が 22.0%となっている。

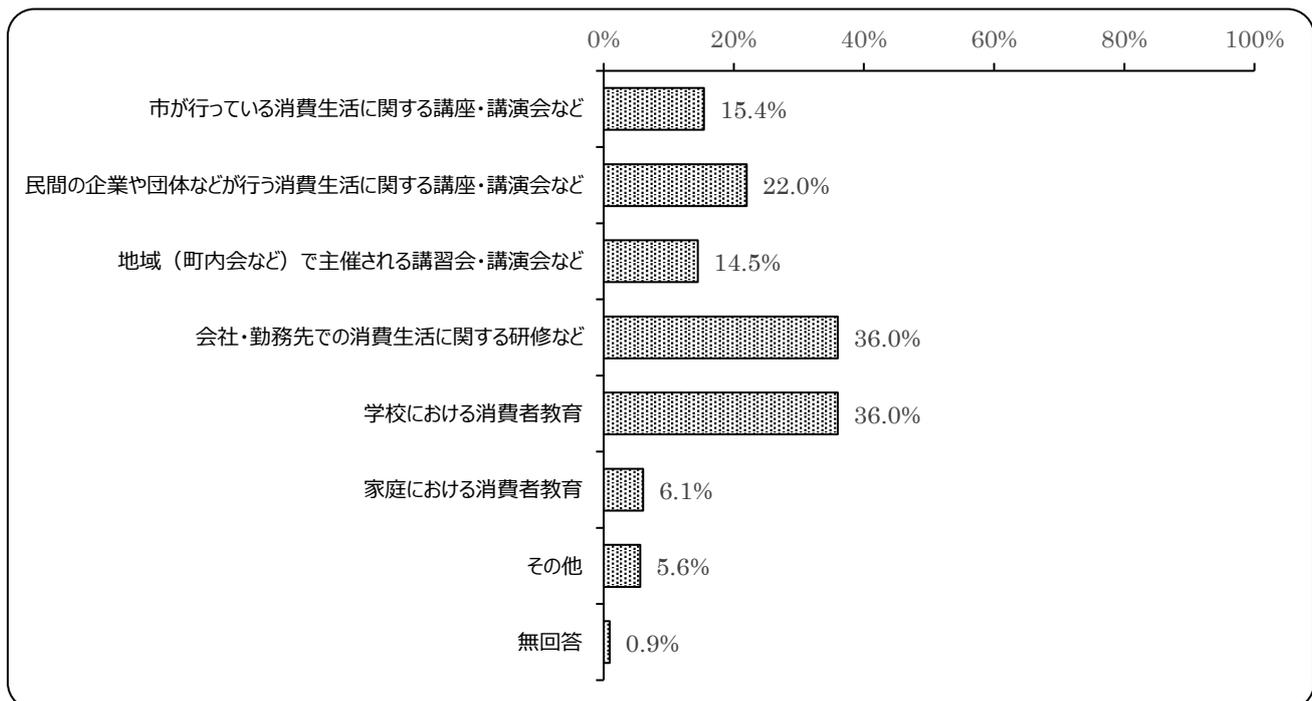
	選択項目（N=214）	回答数	構成比
1	市が行っている消費生活に関する講座・講演会など	33	15.4%
2	民間の企業や団体などが行う消費生活に関する講座・講演会など	47	22.0%
3	地域（町内会など）で主催される講習会・講演会など	31	14.5%
4	会社・勤務先での消費生活に関する研修など	77	36.0%
5	学校における消費者教育	77	36.0%
6	家庭における消費者教育	13	6.1%
7	その他	12	5.6%
	無回答	2	0.9%

	計（回答総数）	292	136.4%
--	---------	-----	--------

[7 その他]

【主な回答】

- 読書による知識
- 大学のセミナー
- 自治会・老人会等



《消費生活で欲しい情報》

問 62. 消費生活に関してどのような情報が欲しいですか。

【複数回答可：いくつでも】

「悪質商法等の手口と消費者被害・トラブルへの対処方法」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「消費生活に関する法律や制度など」が 42.4%、「消費者問題に関する相談窓口」が 38.3%となっている。前回調査（平成 30 年度）でも「悪質商法等の手口と消費者被害・トラブルへの対処方法」の割合が 54.3%と最も高かった。

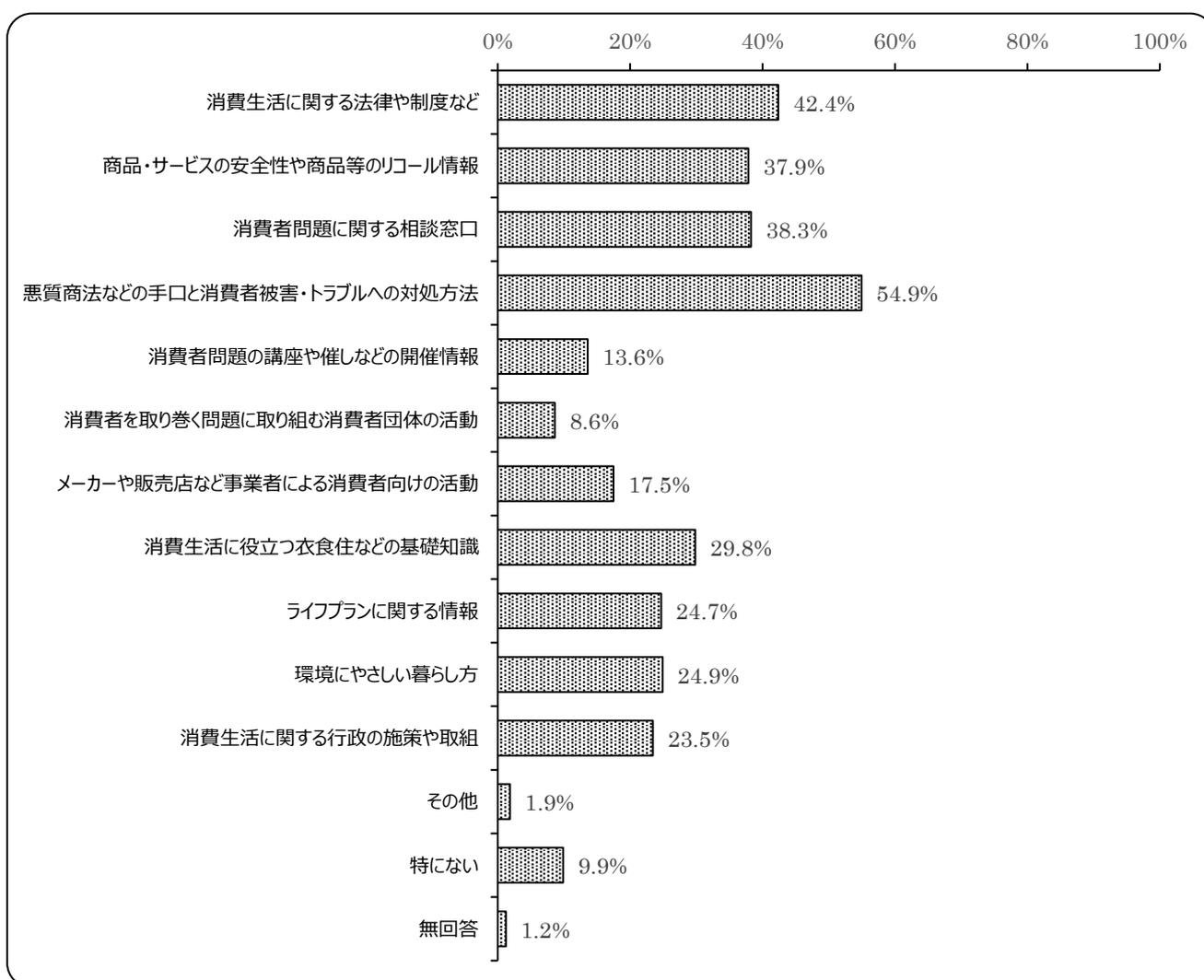
	選択項目（N=486）	回答数	構成比
1	消費生活に関する法律や制度など	206	42.4%
2	商品・サービスの安全性や商品等のリコール情報	184	37.9%
3	消費者問題に関する相談窓口	186	38.3%
4	悪質商法等の手口と消費者被害・トラブルへの対処方法	267	54.9%
5	消費者問題の講座や催しなどの開催情報	66	13.6%
6	消費者を取り巻く問題に取り組む消費者団体の活動	42	8.6%
7	メーカーや販売店など事業者による消費者向けの活動	85	17.5%
8	消費生活に役立つ衣食住などの基礎知識	145	29.8%

9	ライフプランに関する情報	120	24.7%
10	環境にやさしい暮らし方	121	24.9%
11	消費生活に関する行政の施策や取組	114	23.5%
12	その他	9	1.9%
13	特にない	48	9.9%
	無回答	6	1.2%
		計（回答総数）	1,599
			329.0%

[12 その他]

【主な回答】

- 悪質業者の情報
- 現在進行形で多発している消費者問題
- 新しい製品の注意喚起情報



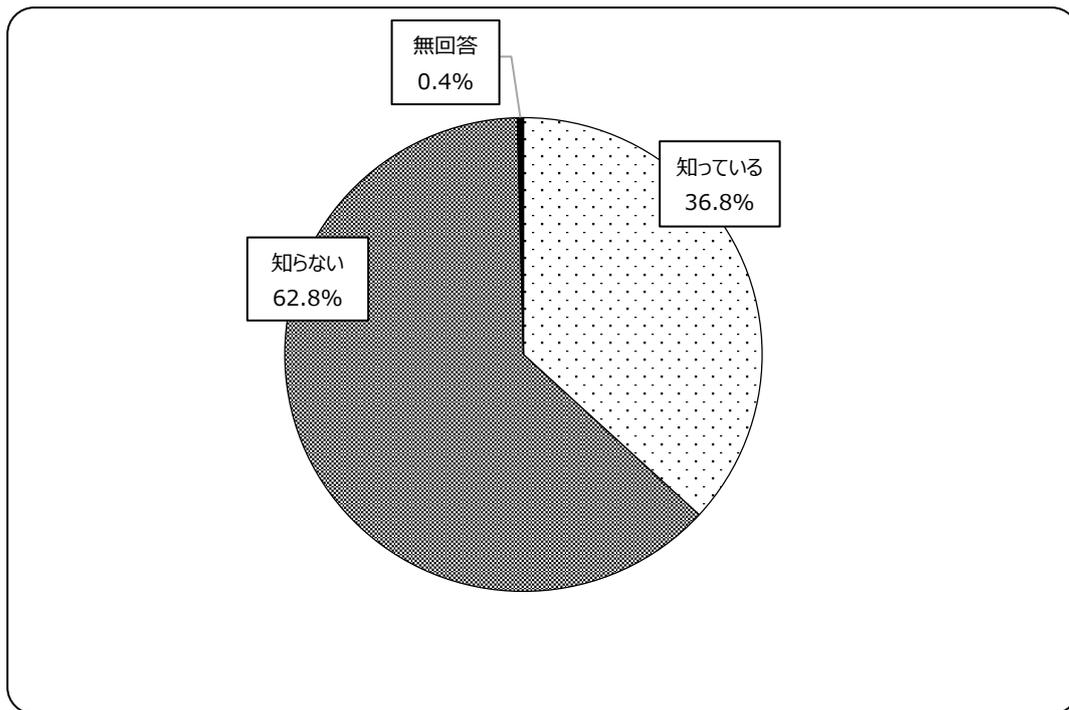
## (7) 計量について

### 《計量業務の認知度》

問 63. 消費生活センターでは、暮らしを守る正しい計量を確保するため、事業者のはかりの定期検査や事業所への立入検査などを行っていることを知っていますか。 【選択は1つ】

「知らない」の割合が62.8%、「知っている」が36.8%となっている。計量業務の認知度はまだまだ低いと考えられるので、より一層の周知が必要である。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	知っている	179	36.8%
2	知らない	305	62.8%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%

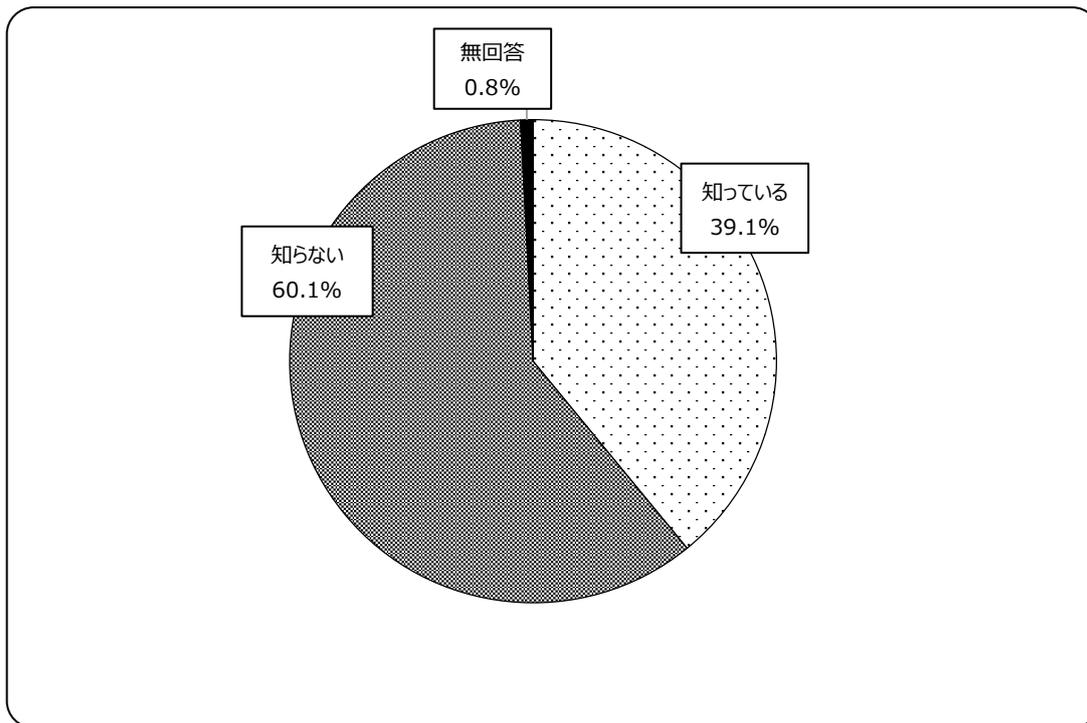


《風袋（ふうたい）の取り扱いの認知度》

問 64. 「風袋」とは、スーパーなどで買い物した時のパック商品のトレーやラップなどの包装、薬味、ワサビやタレ等の添え物のことをいいます。内容量には、風袋の重さを含まないことを知っていますか。 【選択は1つ】

「知らない」の割合が60.1%、「知っている」が39.1%となっている。啓発冊子やホームページで「風袋」について掲載しているが、より一層の周知が必要である。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	知っている	190	39.1%
2	知らない	292	60.1%
	無回答	4	0.8%
	計 (回答総数)	486	100.0%



## (8) その他

《市の取組として期待すること》

問 65. 市民の消費生活の安定・向上のために、市の取組として、どのようなことを期待しますか。

【複数回答可：いくつでも】

「悪質な事業者への指導・取締り・罰則の強化」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「最近、急増している特殊詐欺等の消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実」が 59.9%、「消費者被害の実態や対処方法、相談窓口の連絡先など情報提供の充実」が 47.9%となっている。前回調査（平成 30 年度）でも「悪質な事業者への指導・取締り・罰則の強化」の割合が 62.6%と最も高かった。

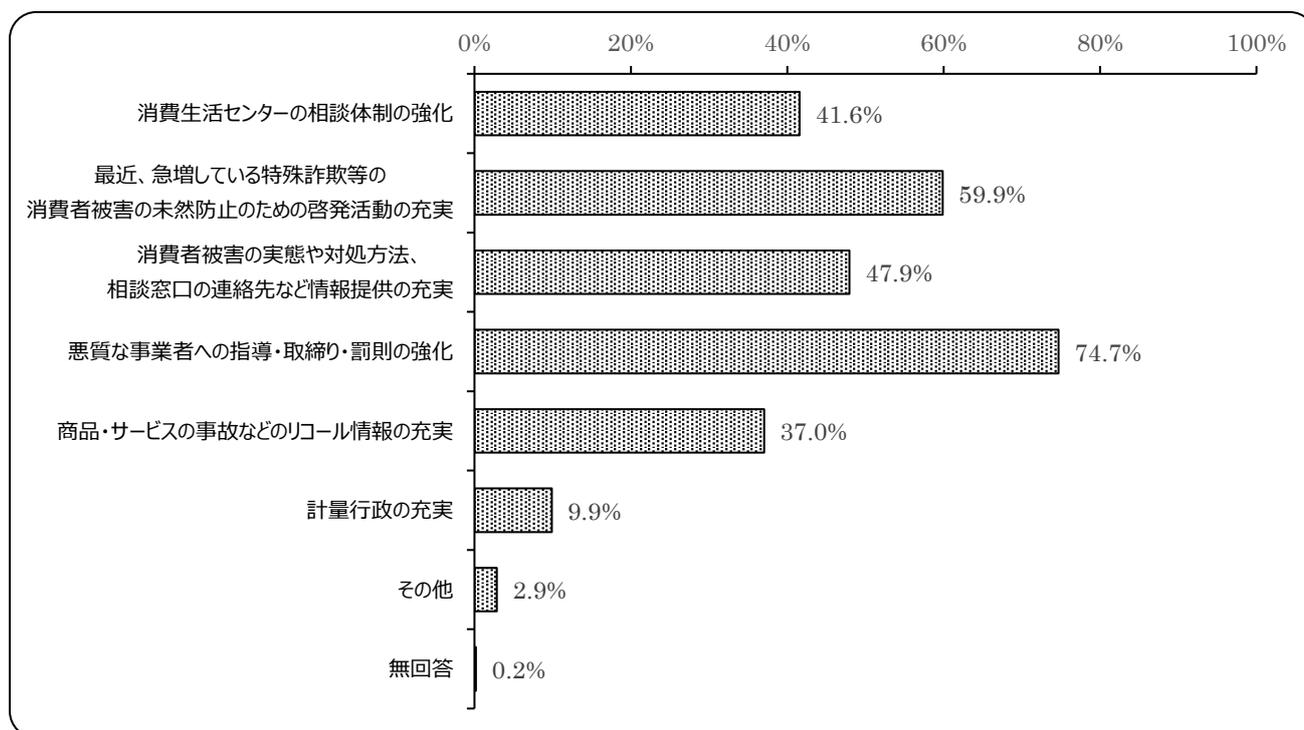
	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	消費生活センターの相談体制の強化	202	41.6%
2	最近、急増している特殊詐欺等の消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実	291	59.9%

3	消費者被害の実態や対処方法、相談窓口の連絡先など情報提供の充実	233	47.9%
4	悪質な事業者への指導・取締り・罰則の強化	363	74.7%
5	商品・サービスの事故などのリコール情報の充実	180	37.0%
6	計量行政の充実	48	9.9%
7	その他	14	2.9%
	無回答	1	0.2%
		計（回答総数）	1,332
			274.1%

[7 その他]

【主な回答】

- 悪質な業者に対して、警察と協力して対応すること
- 老人会等での講習



#### 4. 文化芸術について

##### (1) 本市の文化的環境について

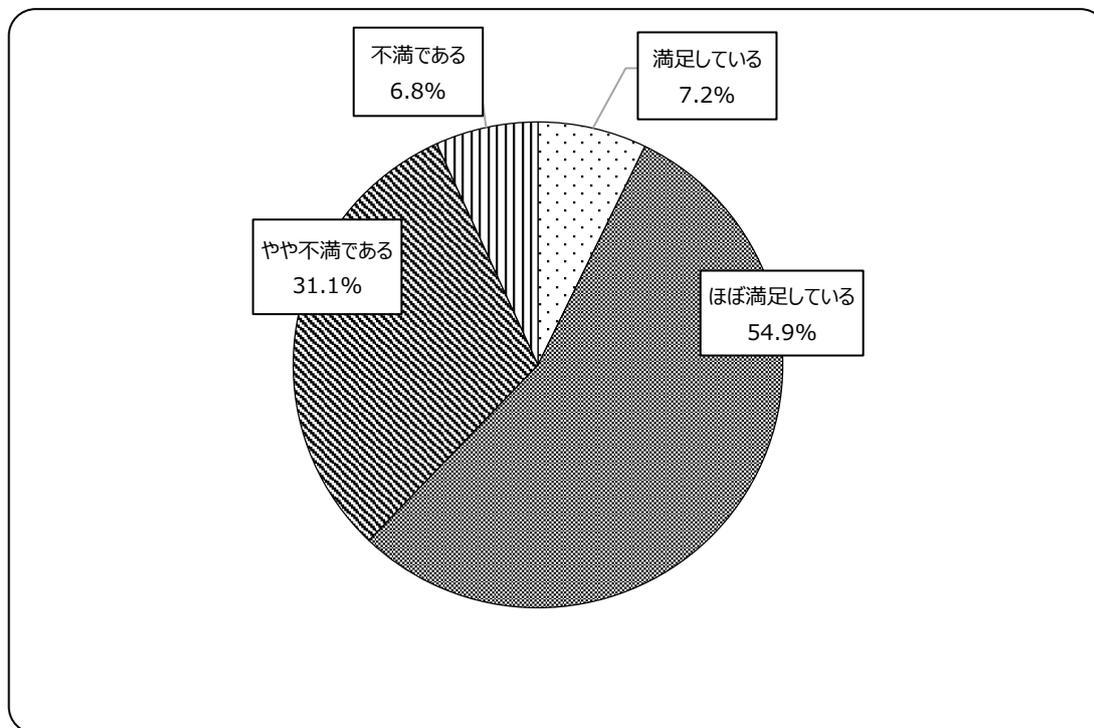
《本市の文化的環境に対する満足度》

問 66. 本市の文化的環境（鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備など）に満足していますか。【選択は1つ】

「満足している」(7.2%)、「ほぼ満足している」(54.9%)の合計(62.1%：昨年度比-5.1%)が「やや不満である」(31.1%)、「不満である」(6.8%)の合計(37.9%：昨年度比+5.5%)を上回っている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	満足している	35	7.2%
2	ほぼ満足している	267	54.9%

3	やや不満である	151	31.1%
4	不満である	33	6.8%
	計（回答総数）	486	100.0%



## (2) 文化芸術活動について

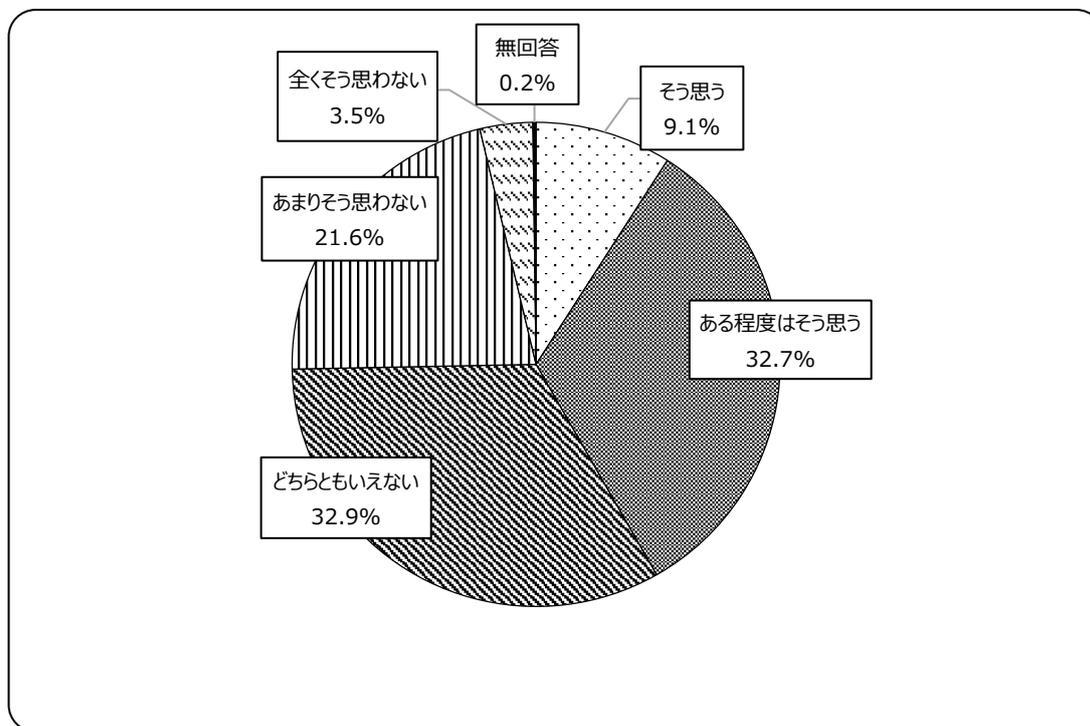
《文化芸術活動のしやすさ》

問 67. 本市は、文化芸術の鑑賞活動や創作・参加を通じた体験活動などの文化芸術活動をしやすいまちであると思いますか。 【選択は1つ】

「そう思う」(9.1%)、「ある程度そう思う」(32.7%)の合計(41.8%：昨年度比-6.4%)が「あまりそう思わない」(21.6%)、「全くそう思わない」(3.5%)の合計(25.1%：昨年度比+4.9%)を上回っている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	そう思う	44	9.1%
2	ある程度はそう思う	159	32.7%

3	どちらともいえない	160	32.9%
4	あまりそう思わない	105	21.6%
5	全くそう思わない	17	3.5%
	無回答	1	0.2%
		計 (回答総数)	486
			100.0%



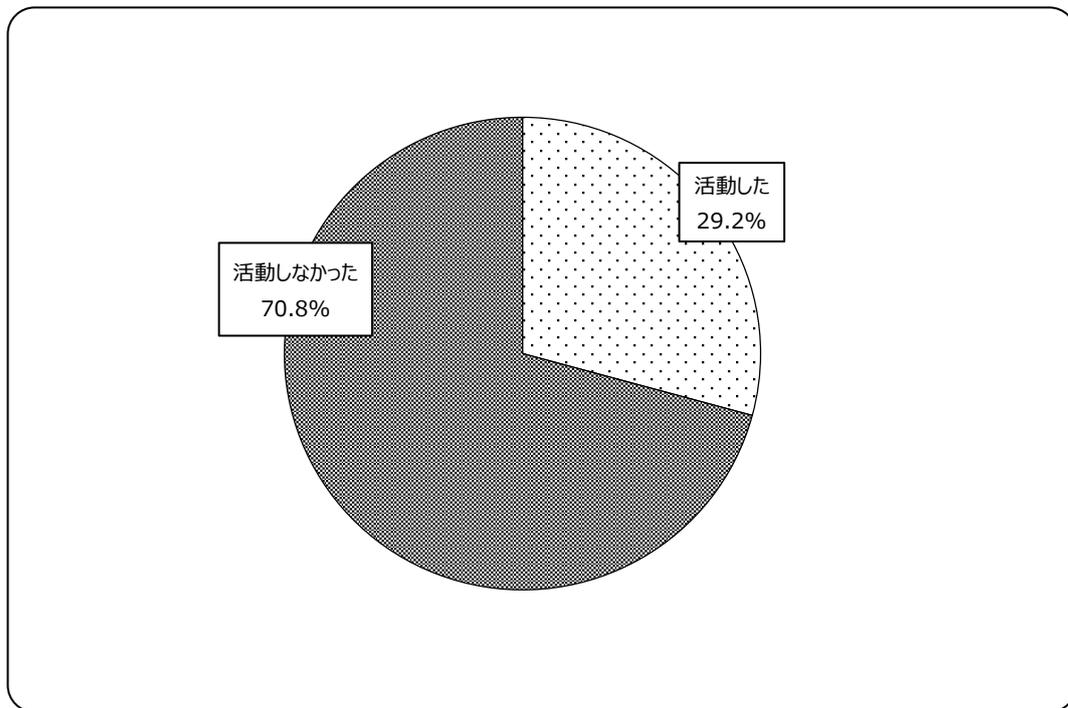
《文化芸術活動の実施の有無》

問 68. この1年間に、文化芸術の鑑賞活動や創作・参加を通じた体験活動などの文化芸術活動をしましたか。【選択は1つ】

「活動した」の割合（29.2%：昨年度比－8.1%）が「活動しなかった」（70.8%：昨年度比＋8.3%）を下回っている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	活動した	142	29.2%
2	活動しなかった	344	70.8%

	計 (回答総数)	486	100.0%
--	----------	-----	--------



《文化芸術活動を通じた国際交流の有無》

問 69. 問 68 で「1 活動した」と回答された方に伺います。

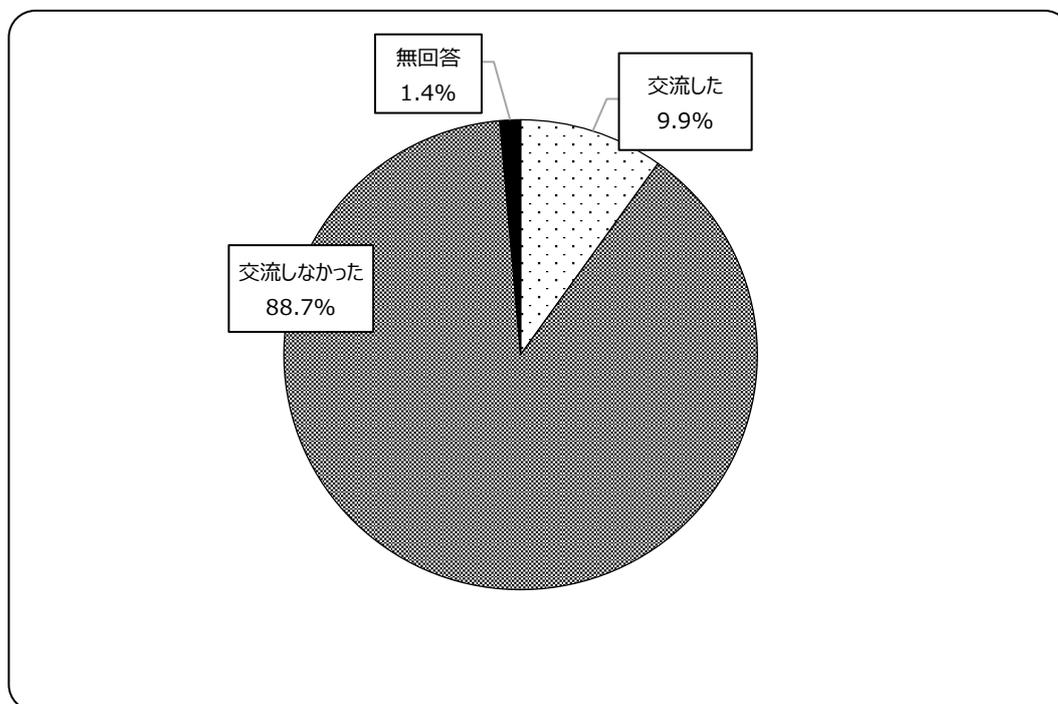
文化芸術活動を通じ、海外の人たちと交流しましたか。

【選択は 1

つ】

「交流した」の割合が 9.9% (昨年度比-3.9%) と低く、「交流しなかった」(88.7% : 昨年度比+2.5%) を大きく下回っている。文化芸術活動を通じ国際交流をしている人は、回答者全体の 2.9% (昨年度比-2.2%) である。

	選択項目 (N=142)	回答数	構成比
1	交流した	14	9.9%
2	交流しなかった	126	88.7%
	無回答	2	1.4%
	計 (回答総数)	142	100.0%



《文化芸術活動をしない理由》

問70. 問68で「2 活動しなかった」と回答された方に伺います。

活動しなかった主な理由は何ですか。

【複数回答可：いくつでも】

文化芸術活動をしない主な理由は、「きっかけがないから」(43.0%：昨年度比-1.5%)の割合が最も多く、次いで「仕事や家事が忙しくて時間がないから」(30.8%：昨年度比-4.8%)、「自分の希望に合う講座や教室などが無い、あるいは講座や教室などが行われる時期・時間が合わないから」(26.2%：昨年

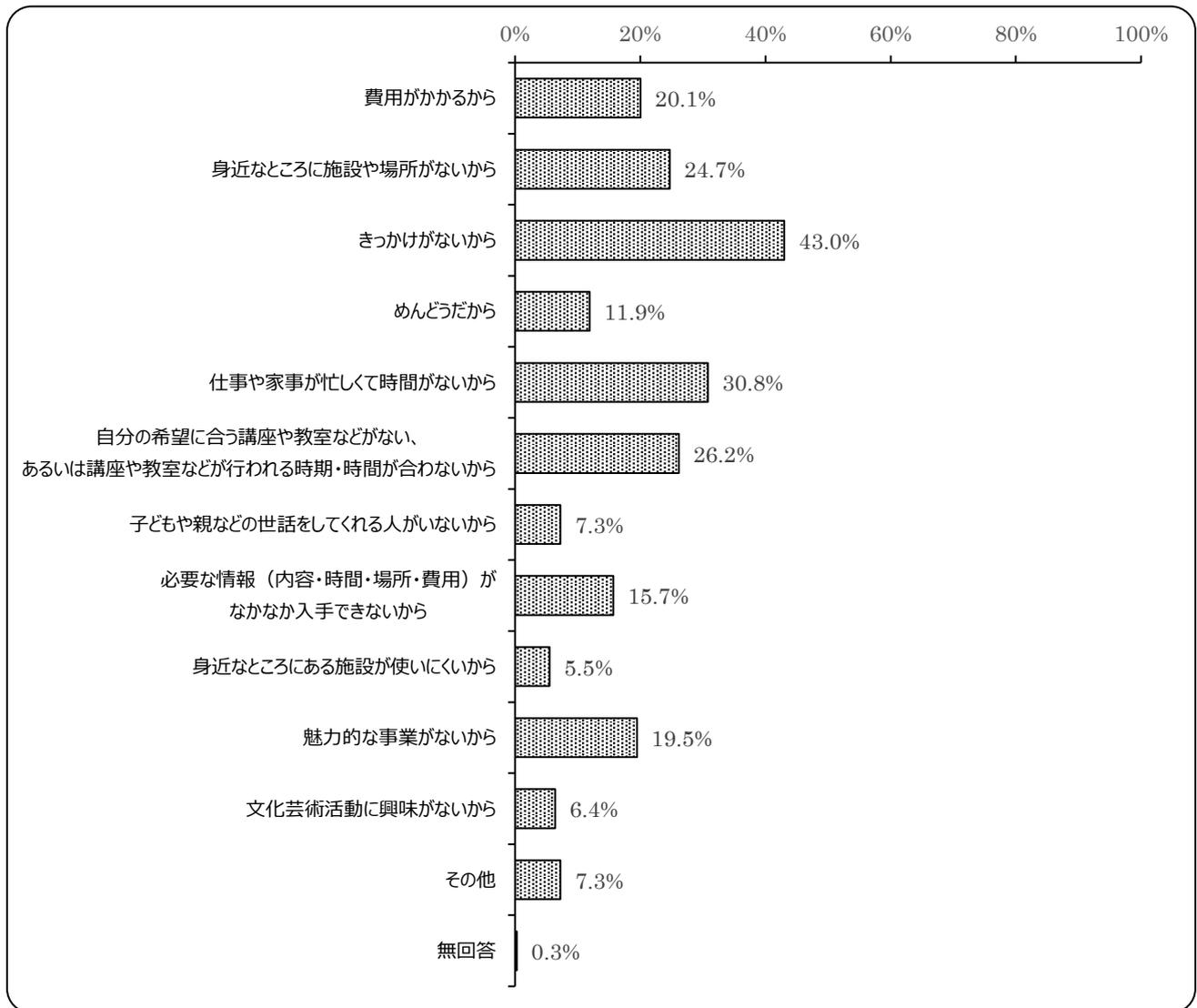
度比+0.2%)、「身近なところに施設や場所がないから」(24.7%：昨年度比-2.4%)となっている。

	選択項目 (N=344)	回答数	構成比
1	費用がかかるから	69	20.1%
2	身近なところに施設や場所がないから	85	24.7%
3	きっかけがないから	148	43.0%
4	めんどうだから	41	11.9%
5	仕事や家事が忙しくて時間がないから	106	30.8%
6	自分の希望に合う講座や教室などが無い、あるいは講座や教室などが行われる時期・時間が合わないから	90	26.2%
7	子どもや親などの世話をしてくれる人がいないから	25	7.3%
8	必要な情報(内容・時間・場所・費用)がなかなか入手できないから	54	15.7%
9	身近なところにある施設が使いにくいから	19	5.5%
10	魅力的な事業がないから	67	19.5%
11	文化芸術活動に興味がないから	22	6.4%
12	その他	25	7.3%
	無回答	1	0.3%
	計(回答総数)	752	218.6%

[12 その他]

【主な回答】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えていたから。
- 身体面・体力面で活動が難しい。



### (3)本市の歴史文化資源と文化芸術事業について

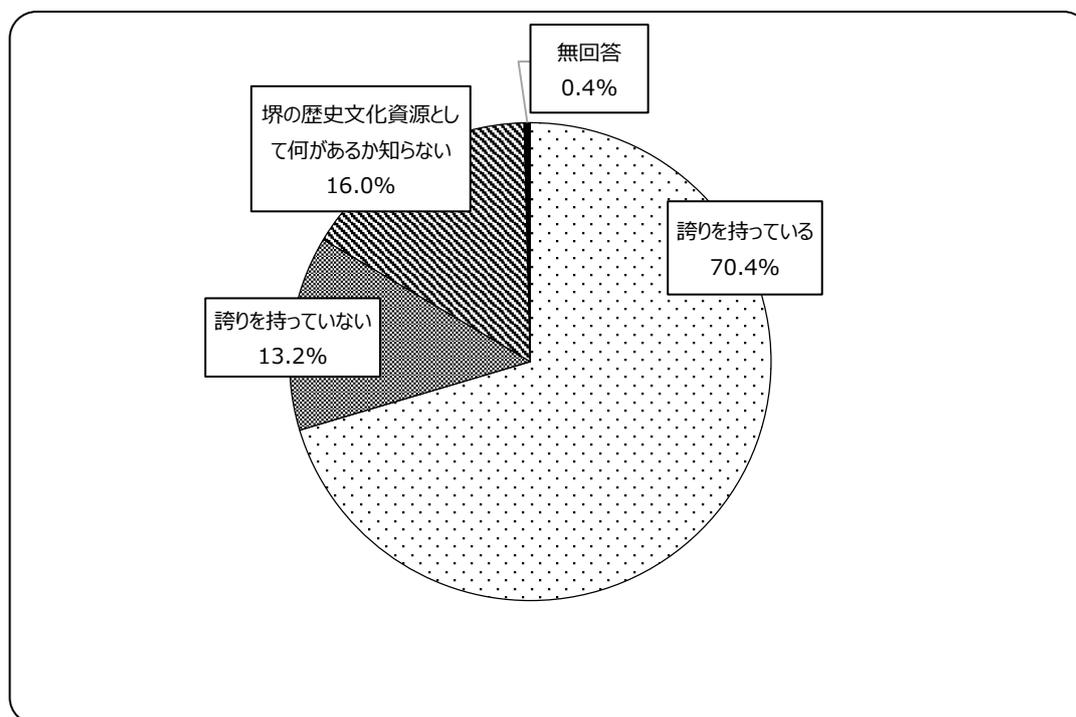
〈堺の歴史文化資源に対する誇りの有無〉

問 71. 堺の歴史文化資源に誇りを持っていますか。

【選択は1つ】

「誇りを持っている」(70.4%：昨年度比+1.9%)の割合が「誇りを持っていない」(13.2%：昨年度比+1.6%)を大幅に上回っている。一方、「堺の歴史文化資源として何があるか知らない」が16.0%(昨年度比-3.5%)を占めており、歴史文化資源の周知が必要である。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	誇りを持っている	342	70.4%
2	誇りを持っていない	64	13.2%
3	堺の歴史文化資源として何があるか知らない	78	16.0%
	無回答	2	0.4%
	計(回答総数)	486	100.0%



《世界に誇れる堺の歴史文化資源》

問 72. 問 71 で「1 誇りを持っている」と回答された方に伺います。

堺の文化の中で、世界に誇れると思う歴史文化資源はどれですか。

【複数回答可：いくつでも】

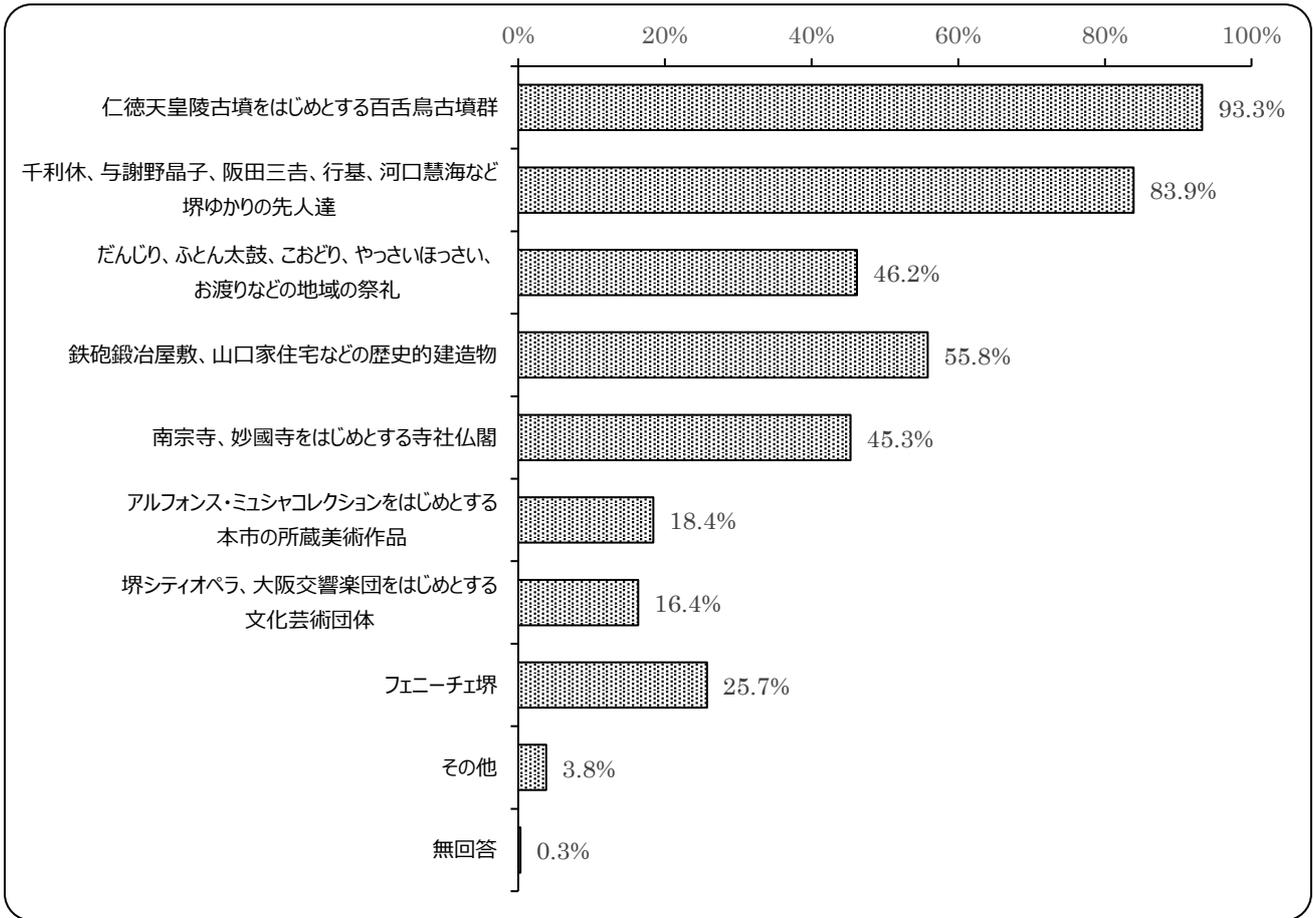
「仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群」(93.3%：昨年度比－2.0%)の割合が最も高く、次いで「千利休、与謝野晶子、阪田三吉、行基、河口慧海など堺ゆかりの先人達」(83.9%：昨年度比＋4.5%)、「鉄砲鍛冶屋敷、山口家住宅などの歴史的建造物」(55.8%：昨年度比＋3.0%)、「だんじり、ふとん太鼓、こおどり、やっさいほっさい、お渡りなどの地域の祭礼」(46.2%：昨年度比－5.4%)となっている。

	選択項目 (N=342)	回答数	構成比
1	仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群	319	93.3%
2	千利休、与謝野晶子、阪田三吉、行基、河口慧海など堺ゆかりの先人達	287	83.9%
3	だんじり、ふとん太鼓、こおどり、やっさいほっさい、お渡りなどの地域の祭礼	158	46.2%
4	鉄砲鍛冶屋敷、山口家住宅などの歴史的建造物	191	55.8%
5	南宗寺、妙國寺をはじめとする寺社仏閣	155	45.3%
6	アルフォンス・ミュシャコレクションをはじめとする本市の所蔵美術作品	63	18.4%
7	堺シティオペラ、大阪交響楽団をはじめとする文化芸術団体	56	16.4%
8	フェニーチェ堺	88	25.7%
9	その他	13	3.8%
10	無回答	1	0.3%
	計 (回答総数)	1,331	389.2%

[9 その他]

【主な回答】

- 堺刃物
- 茶の湯の精神
- 堺港
- 中世の国際商業都市



《本市の文化芸術事業の認知度》

問 73. 本市では次のような文化芸術事業を行っていますが、知っている事業はありますか。

【複数回答可：いくつでも】

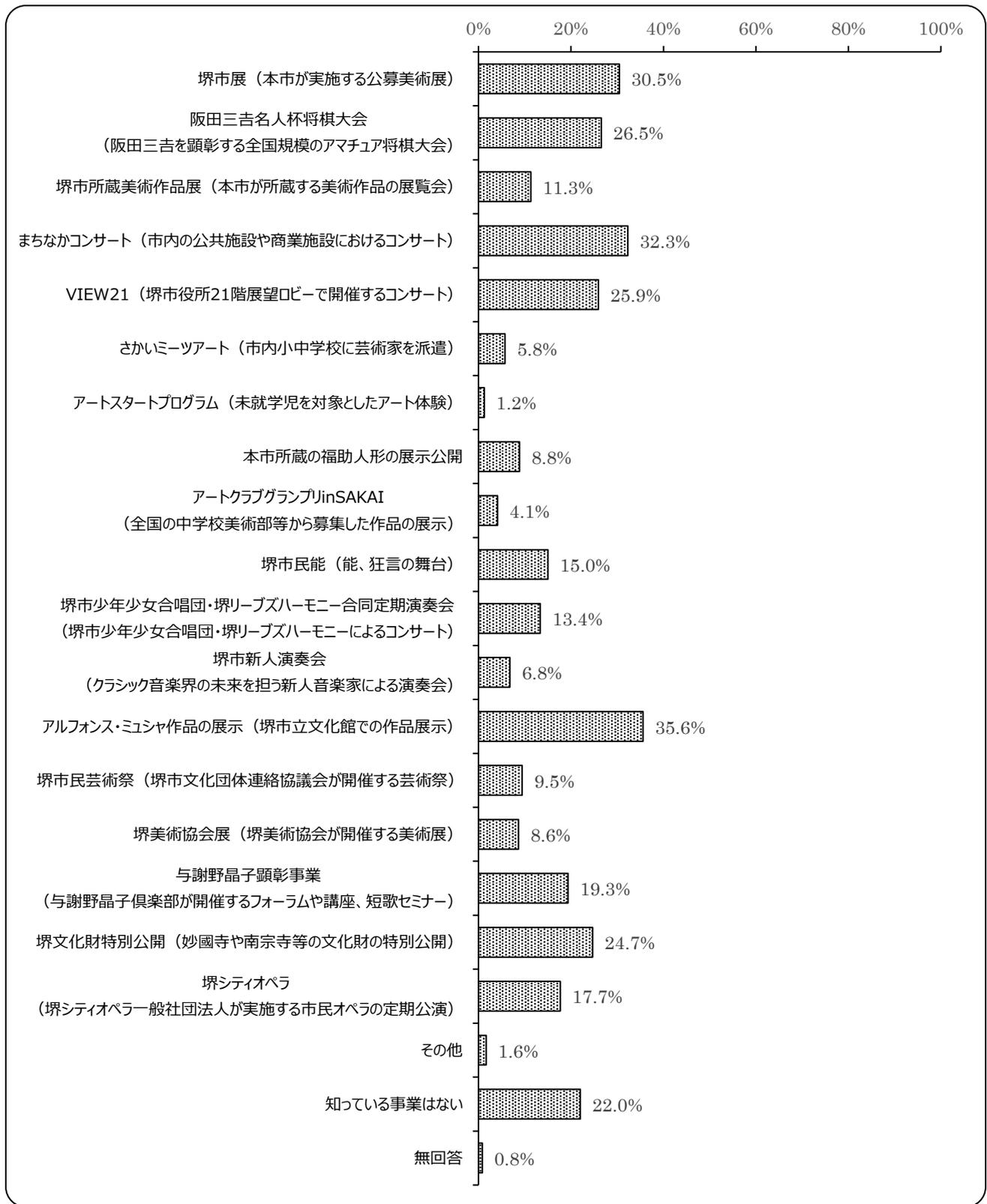
「アルフォンス・ミュシャ作品の展示（堺市立文化館での作品展示）」（35.6%：昨年度比+0.9%）の割合が最も高く、次いで、「まちなかコンサート（市内の公共施設や商業施設におけるコンサート）」（32.3%：昨年度比-0.9%）、「堺市展（堺市が実施する公募美術展）」（30.5%：昨年度比-0.3%）「阪田三吉名人杯将棋大会（阪田三吉を顕彰する全国規模のアマチュア将棋大会）」（26.5%：昨年度比+3.6%）となっている。

	選択項目（N=486）	回答数	構成比
1	堺市展（本市が実施する公募美術展）	148	30.5%
2	阪田三吉名人杯将棋大会（阪田三吉を顕彰する全国規模のアマチュア将棋大会）	129	26.5%
3	堺市所蔵美術作品展（本市が所蔵する美術作品の展覧会）	55	11.3%
4	まちなかコンサート（市内の公共施設や商業施設におけるコンサート）	157	32.3%
5	VIEW21（堺市役所 21 階展望ロビーで開催するコンサート）	126	25.9%
6	さかいミーツアート（市内小中学校に芸術家を派遣）	28	5.8%
7	アートスタートプログラム（未就学児を対象としたアート体験）	6	1.2%
8	本市所蔵の福助人形の展示公開	43	8.8%
9	アートクラブグランプリ inSAKAI（全国の中学校美術部等から募集した作品の展示）	20	4.1%
10	堺市民能（能、狂言の舞台）	73	15.0%
11	堺市少年少女合唱団・堺リープズハーモニー合同定期演奏会（堺市少年少女合唱団・堺リープズハーモニーによるコンサート）	65	13.4%
12	堺市新人演奏会（クラシック音楽界の未来を担う新人音楽家による演奏会）	33	6.8%
13	アルフォンス・ミュシャ作品の展示（堺市立文化館での作品展示）	173	35.6%
14	堺市民芸術祭（堺市文化団体連絡協議会が開催する芸術祭）	46	9.5%
15	堺美術協会展（堺美術協会が開催する美術展）	42	8.6%
16	与謝野晶子顕彰事業（与謝野晶子倶楽部が開催するフォーラムや講座、短歌セミナー）	94	19.3%
17	堺文化財特別公開（妙國寺や南宗寺等の文化財の特別公開）	120	24.7%
18	堺シティオペラ（堺シティオペラ一般社団法人が実施する市民オペラの定期公演）	86	17.7%
19	その他	8	1.6%
20	知っている事業はない	107	22.0%
	無回答	4	0.8%
	計（回答総数）	1,563	321.6%

[19 その他]

【主な回答】

- 堺市新進アーティストバンク
- 山口家住宅での落語会「落語で語る堺あれこれ」



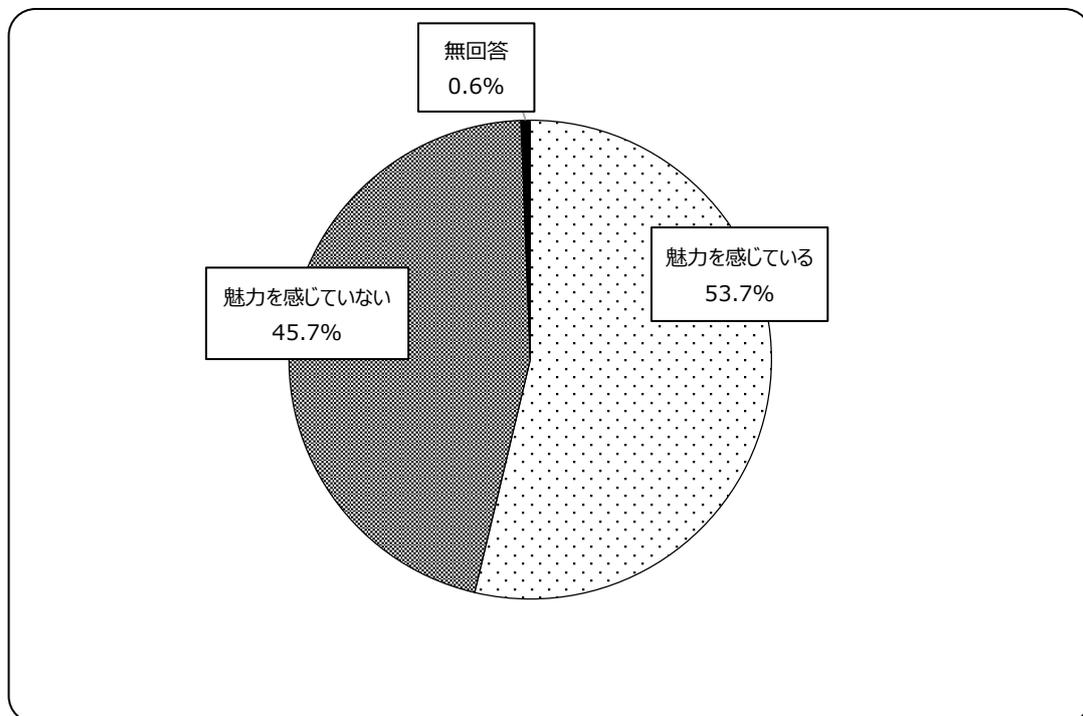
《堺のまちなみの魅力の有無》

問 74. 堺のまちなみに魅力を感じていますか。

【選択は1つ】

「魅力を感じている」(53.7%：昨年度比-0.7%)の割合が「魅力を感じていない」(45.7%：昨年度比+0.1%)を上回っている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	魅力を感じている	261	53.7%
2	魅力を感じていない	222	45.7%
	無回答	3	0.6%
	計 (回答総数)	486	100.0%



#### (4)子どもの文化芸術体験について

《子どもを対象とした文化芸術に触れる機会の提供に対する満足度》

問 75. 本市における子どもに対する文化芸術に触れる機会の提供に満足していますか。(例：音楽・造形・伝統文化等の体験授業、音楽・美術鑑賞 等)

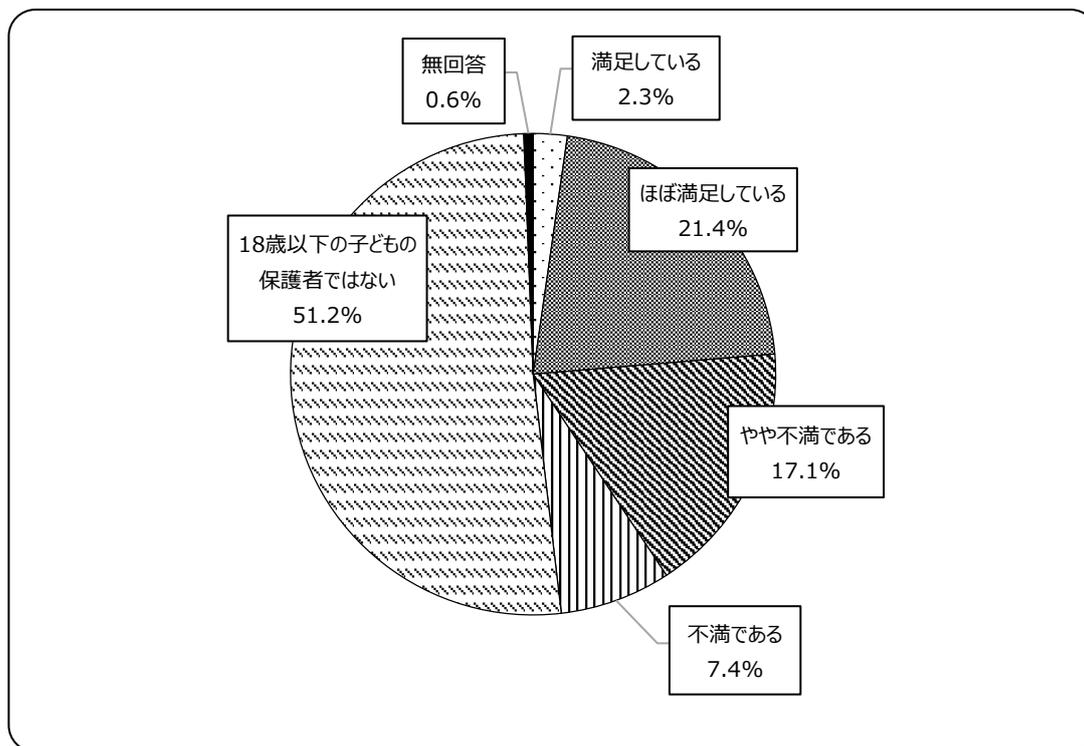
18 歳以下の子どもの保護者でない方は「5」を選択してください。

【選択は1

つ】

「満足している」(2.3%)、「ほぼ満足している」(21.4%)の合計(23.7%：昨年度比-1.2%)が「やや不満である」(17.1%)、「不満である」(7.4%)の合計(24.5%：昨年度比+2.4%)を下回っている。全体の48.2%を占める18歳以下の子どもの保護者のうち、本市における子どもに対する文化芸術に触れる機会の提供に満足している人は49.1%である。芸術家を派遣して未就学児にアート体験・鑑賞の機会を提供する「アートスタートプログラム」の実施や、地域文化会館において指定管理者が主体となって子ども向けの事業を多数行っていることが満足度につながったものと考えられる。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	満足している	11	2.3%
2	ほぼ満足している	104	21.4%
3	やや不満である	83	17.1%
4	不満である	36	7.4%
5	18歳以下の子どもの保護者ではない	249	51.2%
	無回答	3	0.6%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《学校教育における文化芸術に触れる機会の提供に対する満足度》

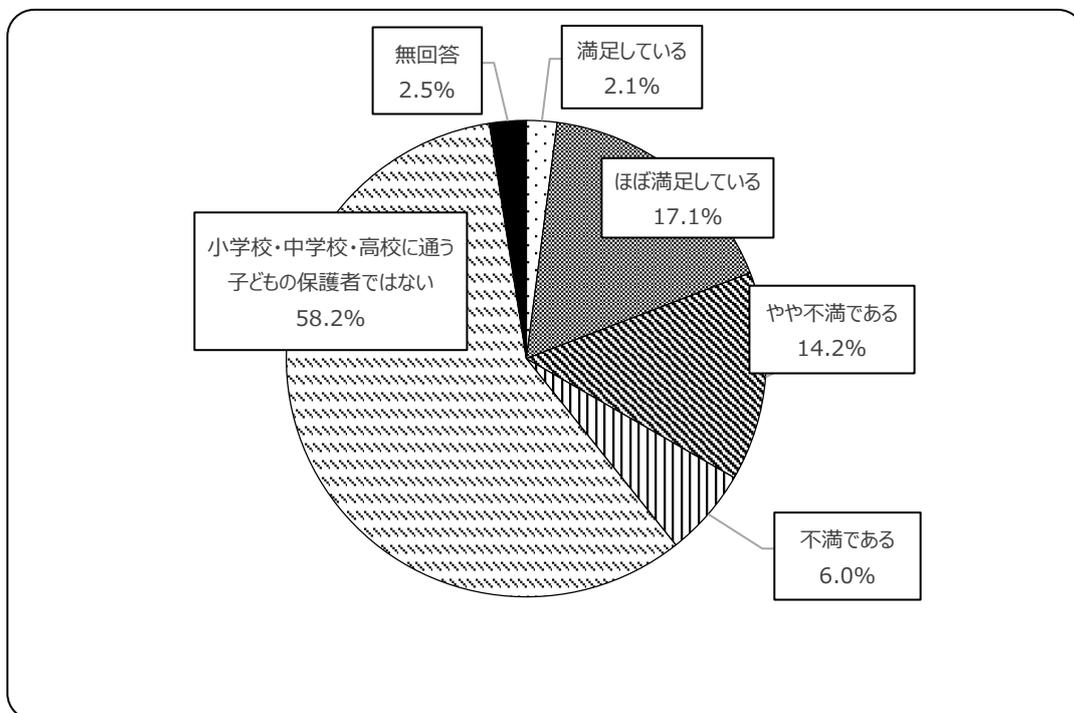
問 76. 学校教育における子どもが文化芸術に触れる機会の提供に満足していますか。(例：音楽・造形・伝統文化等の体験授業、音楽・美術鑑賞 等)

小学校・中学校・高校に通う子どもがいない方は「5」を選択してください。

【選択は1つ】

「満足している」(2.1%)、「ほぼ満足している」(17.1%)の合計(19.2%：昨年度比-0.5%)が「やや不満である」(14.2%)、「不満である」(6.0%)の合計(20.2%：昨年度比+2.4%)を下回っている。全体の39.3%を占める小学校・中学校・高校に通う子どもの保護者のうち、学校教育における子どもが文化芸術に触れる機会の提供に満足している人は48.7%である。小中学校に芸術家を派遣して体験授業を行う「ミーツアート」事業の実施等が満足度につながったものと考えられる。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	満足している	10	2.1%
2	ほぼ満足している	83	17.1%
3	やや不満である	69	14.2%
4	不満である	29	6.0%
5	小学校・中学校・高校に通う子どもの保護者ではない	283	58.2%
	無回答	12	2.5%
	計 (回答総数)	486	100.0%



## (5)文化芸術に関する施設の利用について

《文化芸術に関する施設利用》

問 77. 本市にある次の施設のうち、直近 1 年間に利用した施設はありますか。

【複数回答可：いくつでも】

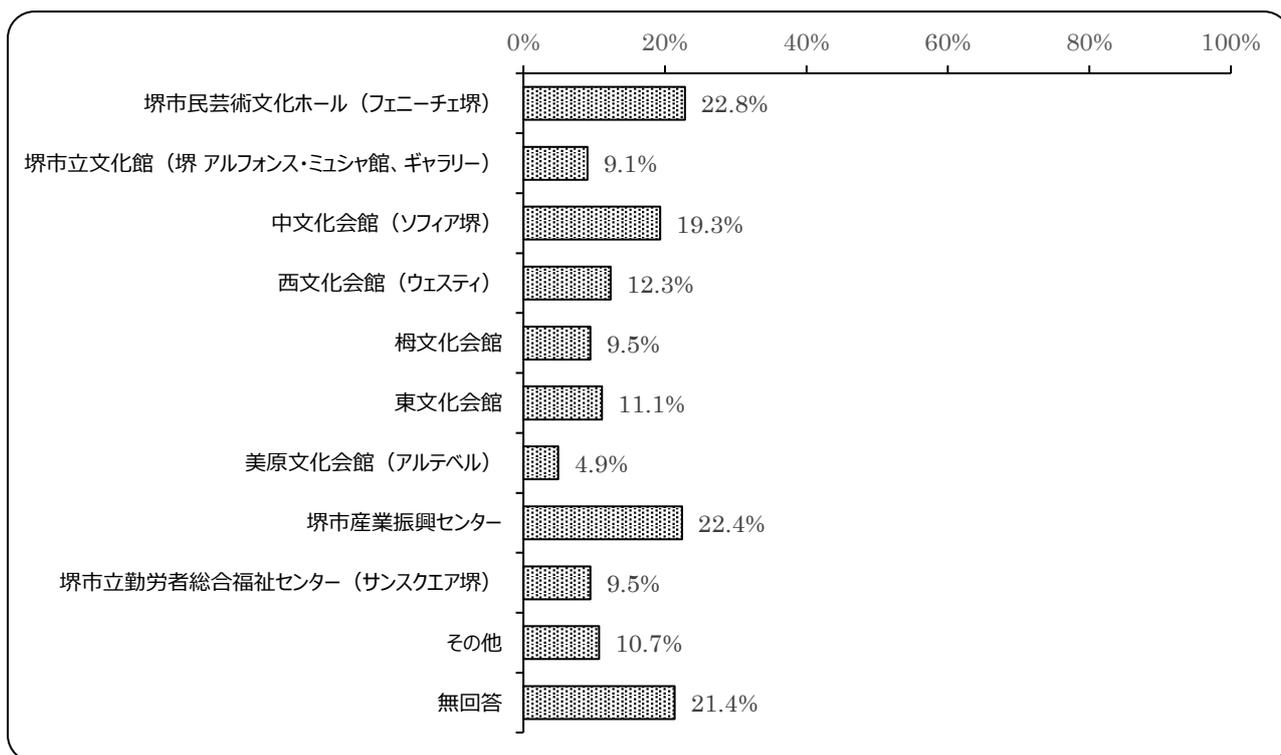
「堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）」(22.8%)の利用者が最も多く、次いで、「堺市産業振興センター」(22.4%)、「中文化会館（ソフィア堺）」(19.3%)、「西文化会館（ウェスティ）」(12.3%)となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）	111	22.8%
2	堺市立文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館、ギャラリー）	44	9.1%
3	中文化会館（ソフィア堺）	94	19.3%
4	西文化会館（ウェスティ）	60	12.3%
5	梅文化会館	46	9.5%
6	東文化会館	54	11.1%
7	美原文化会館（アルテベル）	24	4.9%
8	堺市産業振興センター	109	22.4%
9	堺市立勤労者総合福祉センター（サンスクエア堺）	46	9.5%
10	その他	52	10.7%
	無回答	104	21.4%
	計（回答総数）	744	153.1%

[10 その他]

【主な回答】

- さかい利晶の杜
- 堺市立みはら歴史博物館



## 5. 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について

### (1) 自転車の「安全利用」「利用促進」について

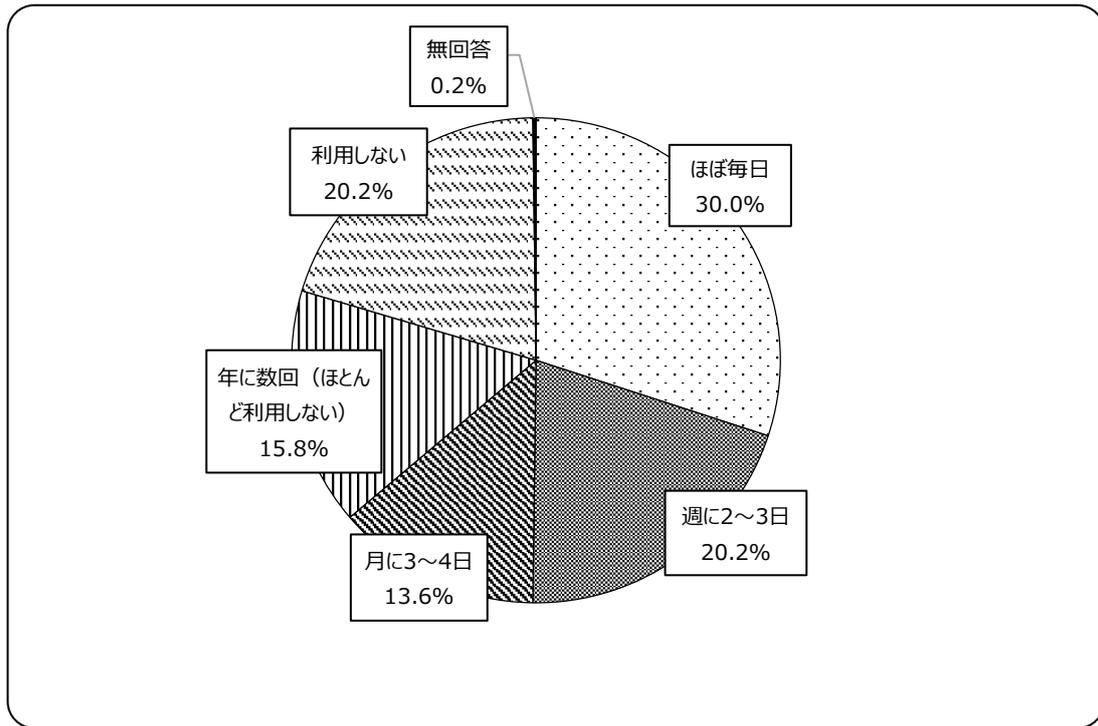
《自転車の利用頻度》

問 78. あなたはどれくらいの頻度で自転車を利用しますか。

【選択は1つ】

「ほぼ毎日」の割合が 30.0%、「週に 2～3 日」が 20.2%、「月に 3～4 日」が 13.6%であり、約 6 割 (63.8%) の方が自転車を利用していることが分かる。また、「利用しない」が約 2 割 (20.2%) であった。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	ほぼ毎日	146	30.0%
2	週に 2～3 日	98	20.2%
3	月に 3～4 日	66	13.6%
4	年に数回 (ほとんど利用しない)	77	15.8%
5	利用しない	98	20.2%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	486	100.0%

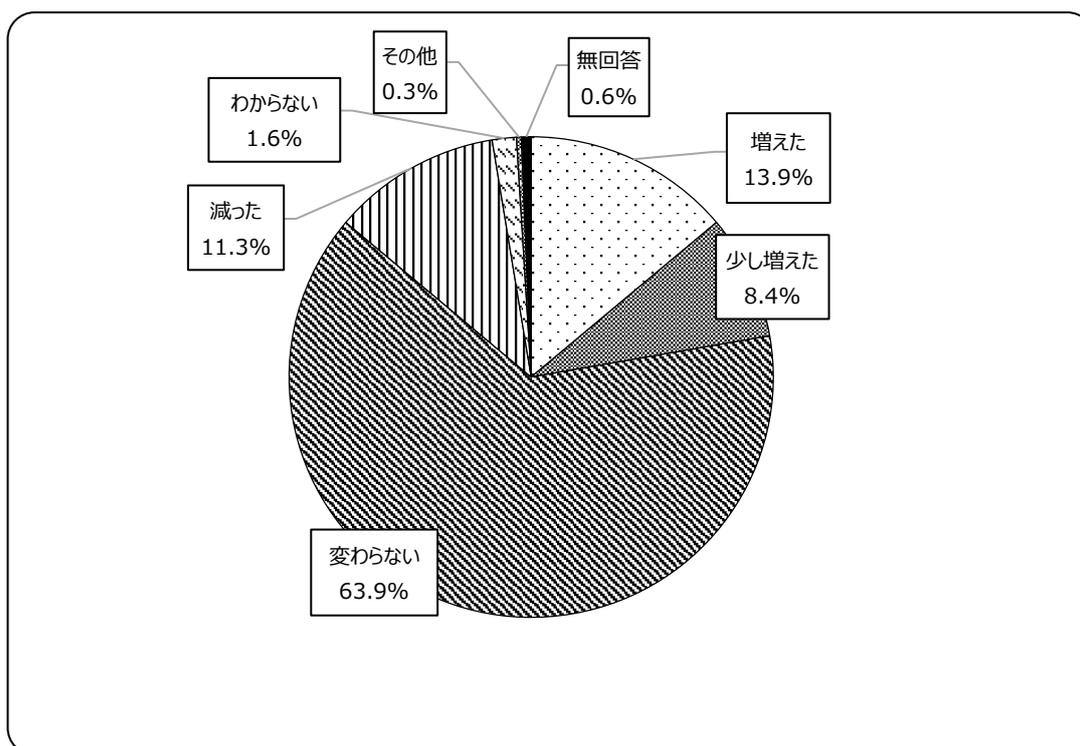


《コロナ禍後の利用頻度》

問 79. 自転車通勤等、日常生活での自転車利用は新型コロナウイルス感染を防止する1つの有効手段とされていますが、昨年度に比べて自転車に乗る頻度は増えましたか。【選択は1つ】

「変わらない」が全体の約6割(63.9%)と、1番高い割合であるが、「増えた」が13.9%、「少し増えた」が8.4%であり、約2割(22.3%)の方が自転車に乗る頻度が増加したことが分かる。また、「減った」が全体の約1割(11.3%)となっている。

	選択項目 (N=310)	回答数	構成比
1	増えた	43	13.9%
2	少し増えた	26	8.4%
3	変わらない	198	63.9%
4	減った	35	11.3%
5	わからない	5	1.6%
6	その他	1	0.3%
	無回答	2	0.6%
	計 (回答総数)	310	100.0%

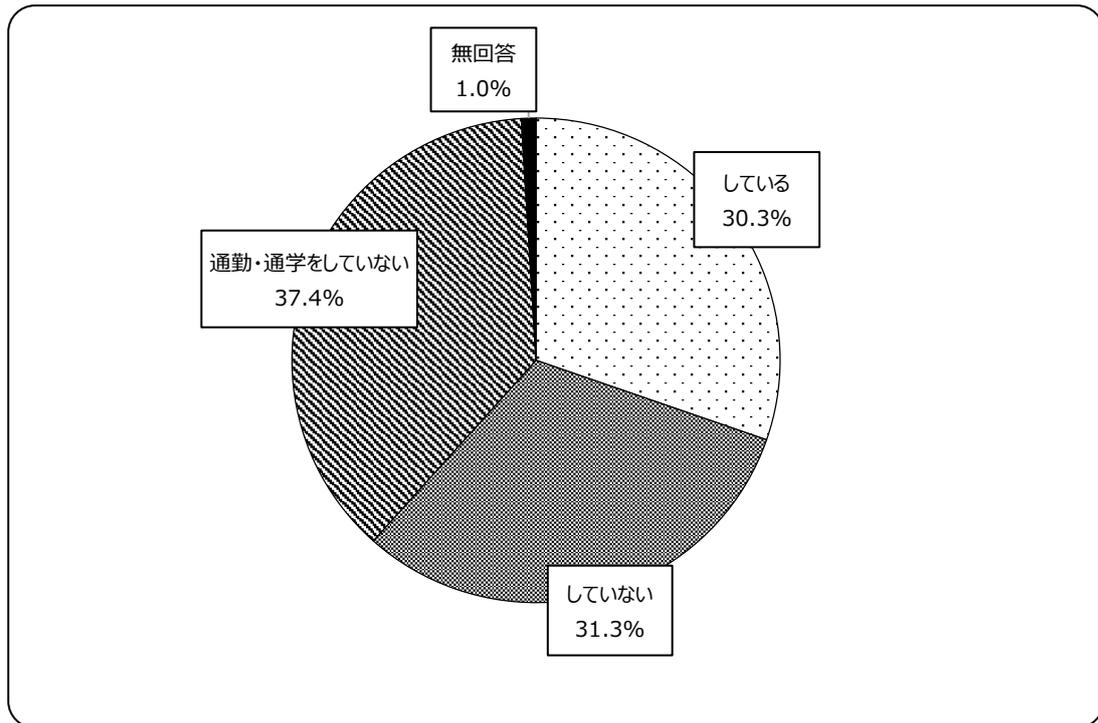


《自転車通勤・通学の割合》

問 80. 通勤通学で自転車を利用していますか。(自宅から駅までの区間のみ自転車を利用するなど、公共交通機関との併用も含まれます。) 【選択は1つ】

通勤・通学において自転車を利用「している」方が30.3%、「していない」方が31.3%と、割合はほぼ拮抗していることが分かる。また、「通勤・通学をしていない」が37.4%であった。

	選択項目 (N=310)	回答数	構成比
1	している	94	30.3%
2	していない	97	31.3%
3	通勤・通学をしていない	116	37.4%
	無回答	3	1.0%
	計 (回答総数)	310	100.0%



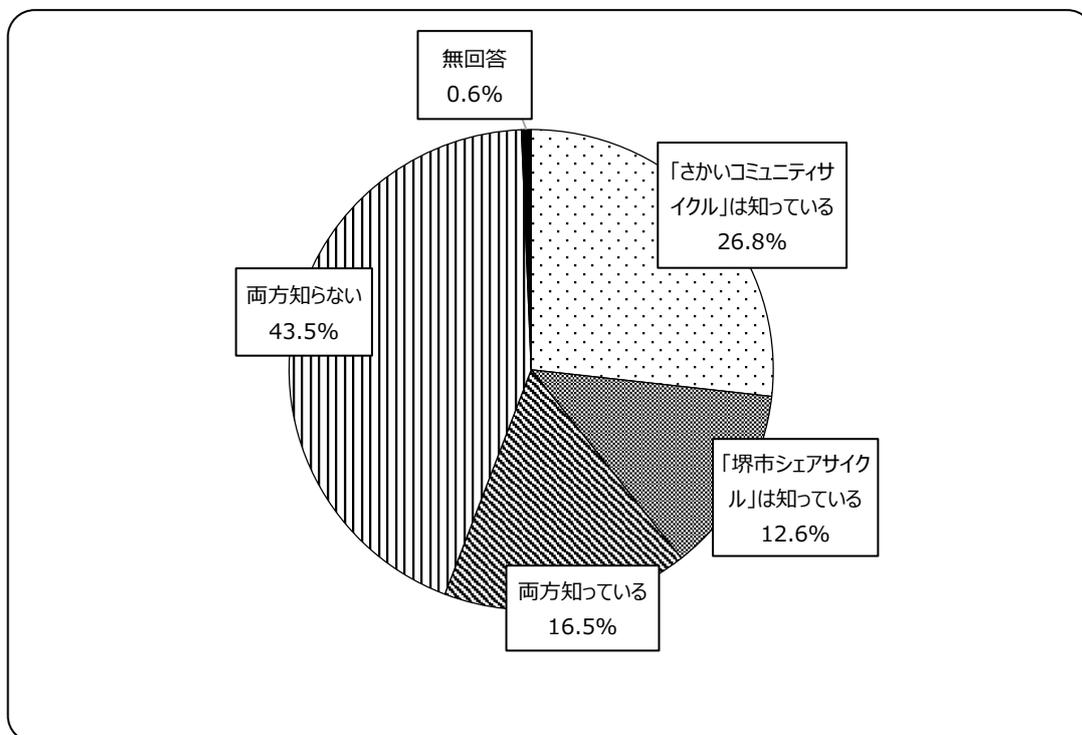
《コミュニティサイクル、シェアサイクルの認知度》

問 81. 現在、堺市では貸自転車である「さかいコミュニティサイクル」や「堺市シェアサイクル」を運用しています。ご存知ですか。【選択は1つ】

「さかいコミュニティサイクル」は知っている」の割合が 26.8%、「堺市シェアサイクル」は知っている」が 12.6%、「両方知っている」が 16.5%となっており、「さかいコミュニティサイクル」は約 4 割 (43.3%)、「堺市シェアサイクル」は約 3 割 (29.1%) の認知があることが分かる。また、「両方知らない」が約 4 割 (43.5%) となっており、今後の利用率の増加に向けて周知等が必要である。

	選択項目 (N=310)	回答数	構成比
1	「さかいコミュニティサイクル」は知っている	83	26.8%
2	「堺市シェアサイクル」は知っている	39	12.6%
3	両方知っている	51	16.5%

4	両方知らない	135	43.5%
	無回答	2	0.6%
		計 (回答総数)	310
			100.0%



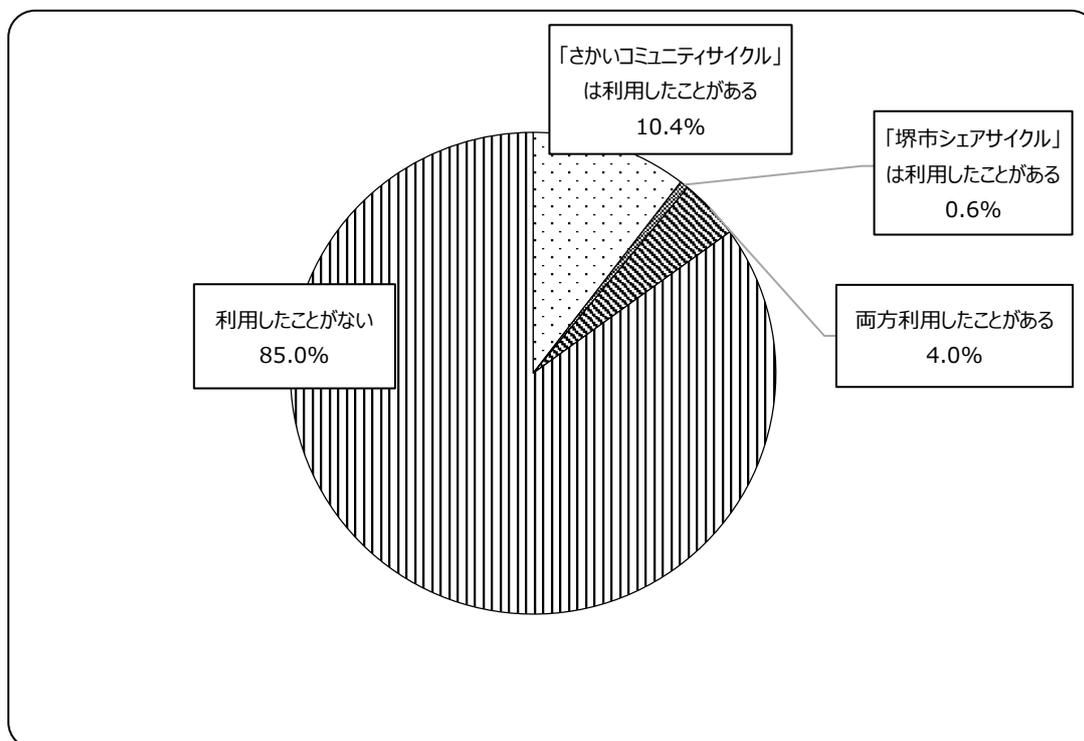
《コミュニティサイクル、シェアサイクル事業の利用実績》

問 82. 問 81 で「1 さかいコミュニティサイクルは知っている」「2 堺市シェアサイクルは知っている」「3 両方知っている」と答えた方に伺います。  
 利用したことはありますか。 【選択は1つ】

「利用したことがない」が全体の8割を超える(85.0%)高い割合であることが分かる。「さかいコミュニティサイクル」は利用したことがある」が10.4%、「堺市シェアサイクル」は利用したことがある」が0.6%、「両方利用したことがある」が4.0%となっており、「さかいコミュニティサイクル」は約1割(14.4%)、「堺市シェアサイクル」は1割未満(4.6%)と、両方とも利用率が低いことが分かる。

選択項目 (N=173)	回答数	構成比
--------------	-----	-----

1	「さかいコミュニティサイクル」は利用したことがある	18	10.4%
2	「堺市シェアサイクル」は利用したことがある	1	0.6%
3	両方利用したことがある	7	4.0%
4	利用したことがない	147	85.0%
		計（回答総数）	173
			100.0%



#### 《ヘルメットの着用状況》

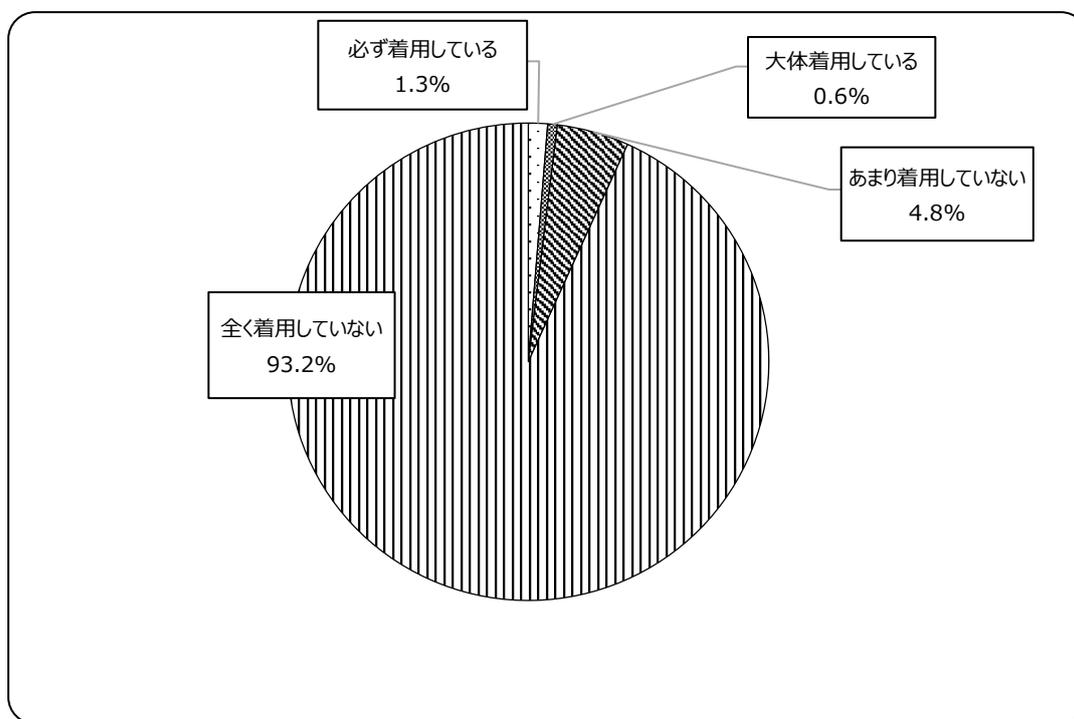
問 83. 日頃、自転車を利用する際、ヘルメットを着用していますか。

【選択は1つ】

「必ず着用している」の割合が1.3%、「大体着用している」が0.6%で、普段からヘルメットを着用している方は少ない(1.9%)。本市が条例で掲げる全自転車利用者のヘルメット着用に向けて、一層周知・広報を重ね、自転車に関連する死亡事故の1番の原因である頭部への負傷から守るというヘルメット着用の意義を広く知ってもらう必要がある。

	選択項目（N=310）	回答数	構成比
1	必ず着用している	4	1.3%
2	大体着用している	2	0.6%
3	あまり着用していない	15	4.8%

4	全く着用していない	289	93.2%
	計（回答総数）	310	100.0%



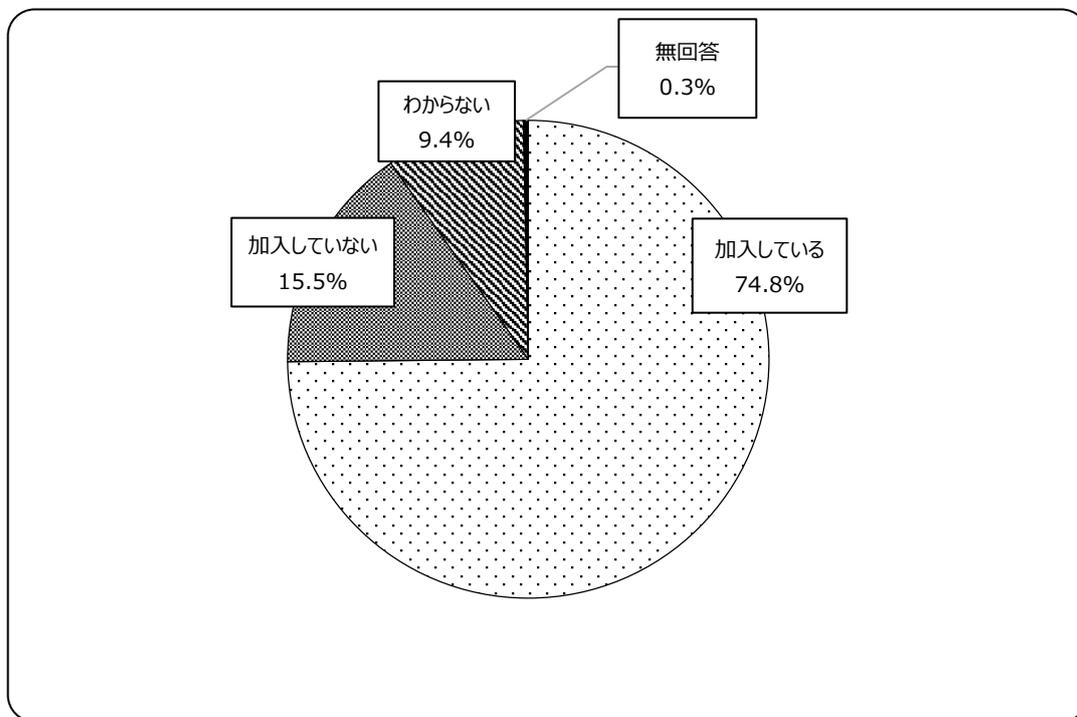
《自転車保険の加入状況》

問 84. 自転車を利用中に加害事故を起こした場合の被害者への賠償に備えた保険（いわゆる自転車保険または個人賠償責任保険等）に加入していますか。【選択は1つ】

「加入している」の割合が74.8%、「加入していない」が15.5%と加入している方が7割を上回った。平成28年7月に条例を改正し、保険への加入が義務化されているが、まだ加入されていない方が約2割いるため、啓発を強化する必要がある。

	選択項目（N=310）	回答数	構成比
1	加入している	232	74.8%

2	加入していない	48	15.5%
3	わからない	29	9.4%
	無回答	1	0.3%
		計 (回答総数)	310
			100.0%



《自転車歩道通行可の標識走行》

問 85. 車の仲間である自転車は、歩道を通行することが出来るのは「自転車歩道通行可」【図参照】の標識（標識を示すこと）がある場所だけが通行可能です。この標識があることを意識して走っておられますか。 【複数回答可：いくつでも】

「そもそも標識を意識して走っていない」の割合が30.3%と最も多く、次に「標識を見て走っている。標識のない歩道では車道の左側を走っている」が29.0%、「標識の有る無しに関係なく歩道を走っている」が26.1%、「標識の有る無しに関係なく車道を走っている」が15.5%、「交差点に標識がないときは歩道を走っていいかわからない」が10.0%となっている。

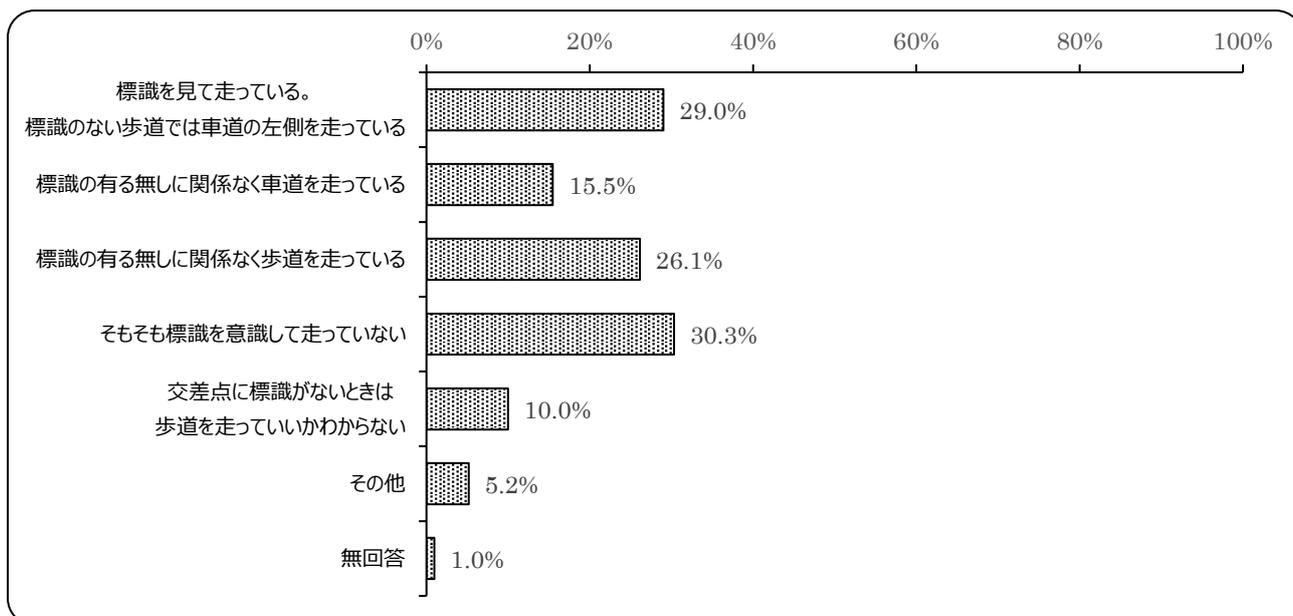
標識の有無を確認せずに走行している自転車の割合が半数を越えており、依然として標識を意識した走行がなされていない状況にあると考えられる。この結果を受けて引き続き啓発していく。

	選択項目 (N=310)	回答数	構成比
1	標識を見て走っている。標識のない歩道では車道の左側を走っている	90	29.0%
2	標識の有る無しに関係なく車道を走っている	48	15.5%
3	標識の有る無しに関係なく歩道を走っている	81	26.1%
4	そもそも標識を意識して走っていない	94	30.3%
5	交差点に標識がないときは歩道を走っていいかわからない	31	10.0%
6	その他	16	5.2%
	無回答	3	1.0%
	計 (回答総数)	363	117.1%

[6 その他]

【主な意見】

- ・ 標識がなくても車道の脇道が狭ければ歩道を走っている。
- ・ 車道は危険で走れない。
- ・ 車の量やスピードで歩道を走ることがある。
- ・ その都度自分で判断して道を選んでいる。



《自転車のあおり運転》

問 86. 令和 2 年 6 月 30 日に道路交通法が改正され、自転車にも「妨害運転」（「あおり運転」）として、罰せられるようになりました。次のような行為が自転車の「あおり運転」に当たります。

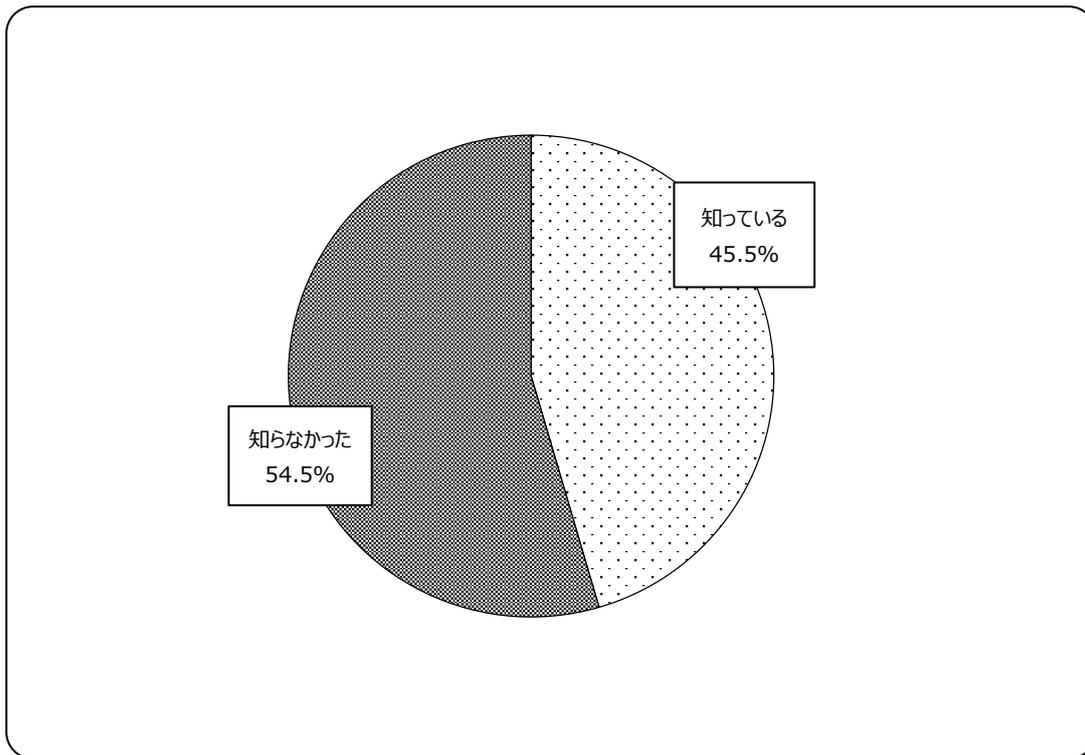
- ・逆走して進路をふさぐ ・急に割り込む（進路変更）
- ・幅寄せ ・不必要な急ブレーキ ・車間距離の不保持 ・執拗にベルを鳴らす

このことをご存じでしたか。

【選択は 1 つ】

「知っている」が 45.5%、「知らなかった」が 54.5%であった。令和 2 年 6 月 30 日に道路交通法が改正され、自転車も「妨害運転」（「あおり運転」）として罰せられるようになったものの、未だ半数以上に周知できていない状況にあるため、引き続き啓発を行う必要がある。

	選択項目（N=310）	回答数	構成比
1	知っている	141	45.5%
2	知らなかった	169	54.5%
	計（回答総数）	310	100.0%



《自転車のあおり運転の情報収集手段》

問 87. 問 86 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

自転車も「あおり運転」として、処罰されることをどの媒体でお知りになりましたか。

【選択は1つ】

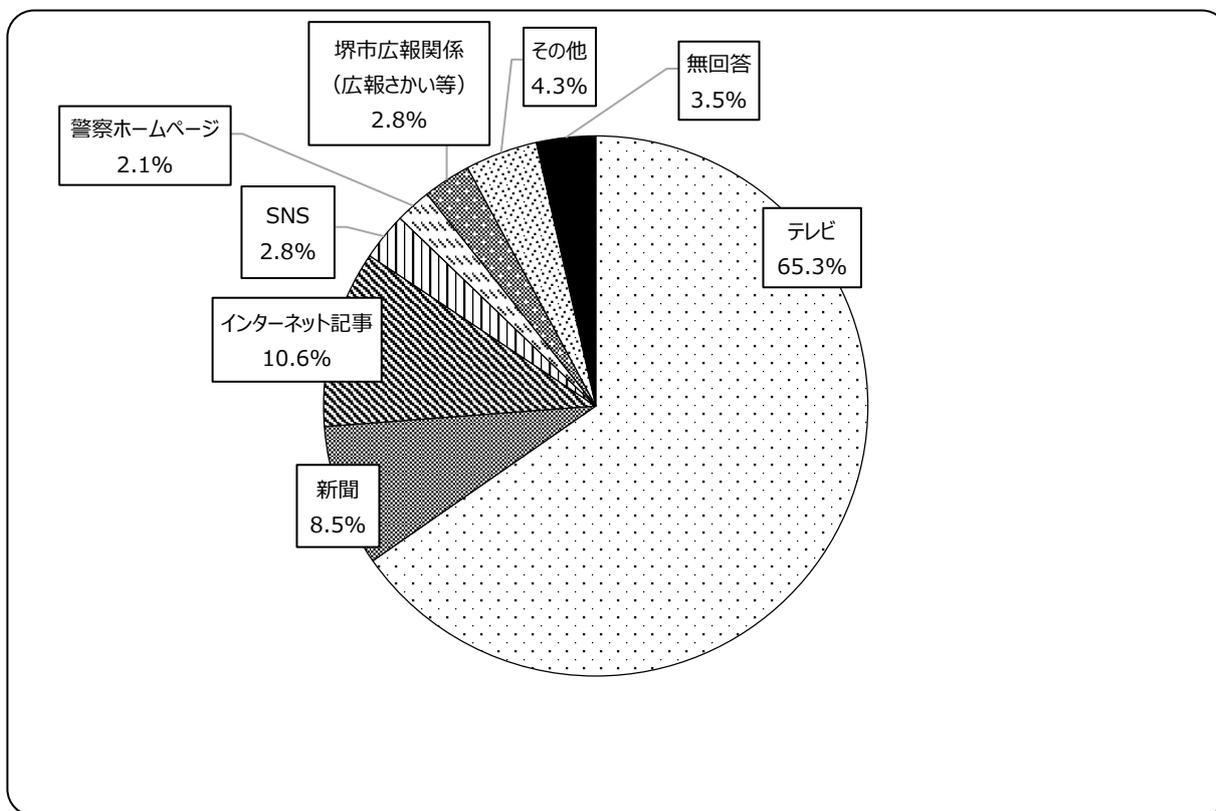
「テレビ」の割合が 65.2%と最も多く、次に「インターネット記事」が 10.6%、「新聞」が 8.5%、「その他」が 4.3%、「SNS」及び「堺市広報関係（広報さかい等）」が 2.8%、「警察ホームページ」が 2.1%となっている。

	選択項目（N=141）	回答数	構成比
1	テレビ	92	65.2%
2	新聞	12	8.5%
3	インターネット記事	15	10.6%
4	SNS	4	2.8%
5	警察ホームページ	3	2.1%
6	堺市広報関係（広報さかい等）	4	2.8%
7	その他	6	4.3%
	無回答	5	3.5%
	計（回答総数）	141	100.0%

[7 その他]

【主な意見】

- ・ 自動車教習所
- ・ ラジオで
- ・ 運転免許更新時の講習にて



## (2) 自転車の通行環境について

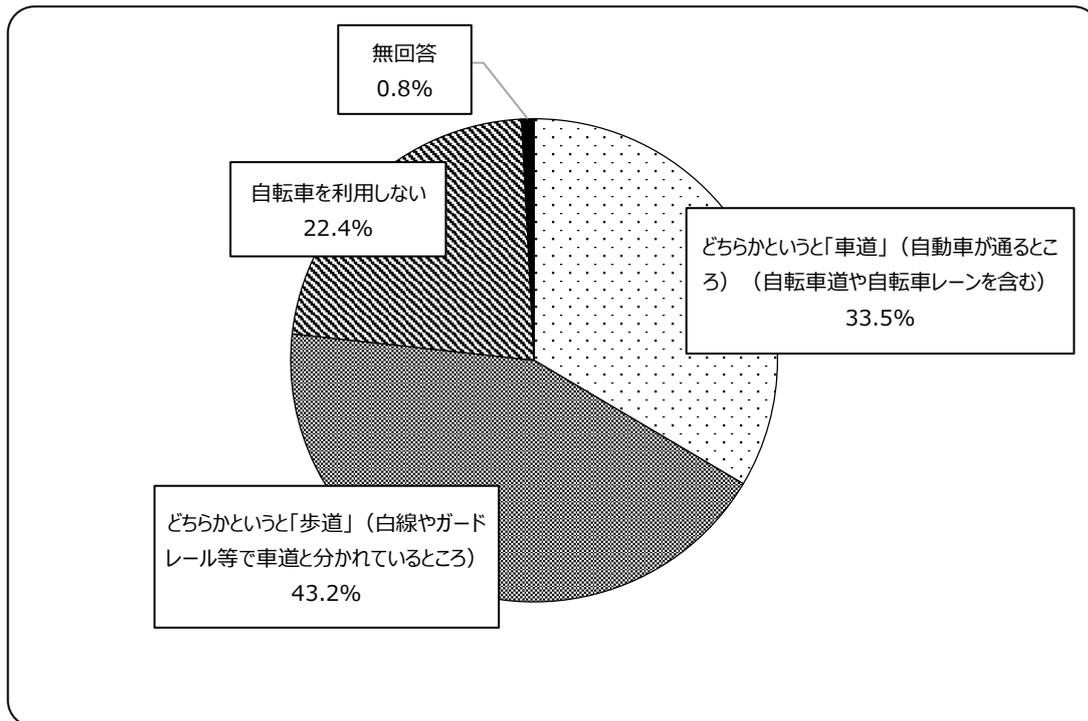
《自転車の通行位置》

問 88. あなたは、自転車で主にどこを通行していますか。

【選択は1つ】

自転車を利用する人(373人)のうち、どちらかという「車道」を通行する人(163人)の割合は43.7%、どちらかという「歩道」を通行する人(210人)の割合は56.3%となっている。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	どちらかという「車道」(自動車が通るところ)(自転車道や自転車レーンを含む)	163	33.5%
2	どちらかという「歩道」(白線やガードレール等で車道と分かれているところ)	210	43.2%
3	自転車を利用しない	109	22.4%
	無回答	4	0.8%
	計(回答総数)	486	100.0%



《自転車通行環境のルール・マナー》

問 89. 問 88 で「1 どちらかというと「車道」」「2 どちらかというと「歩道」」と回答された方に伺います。

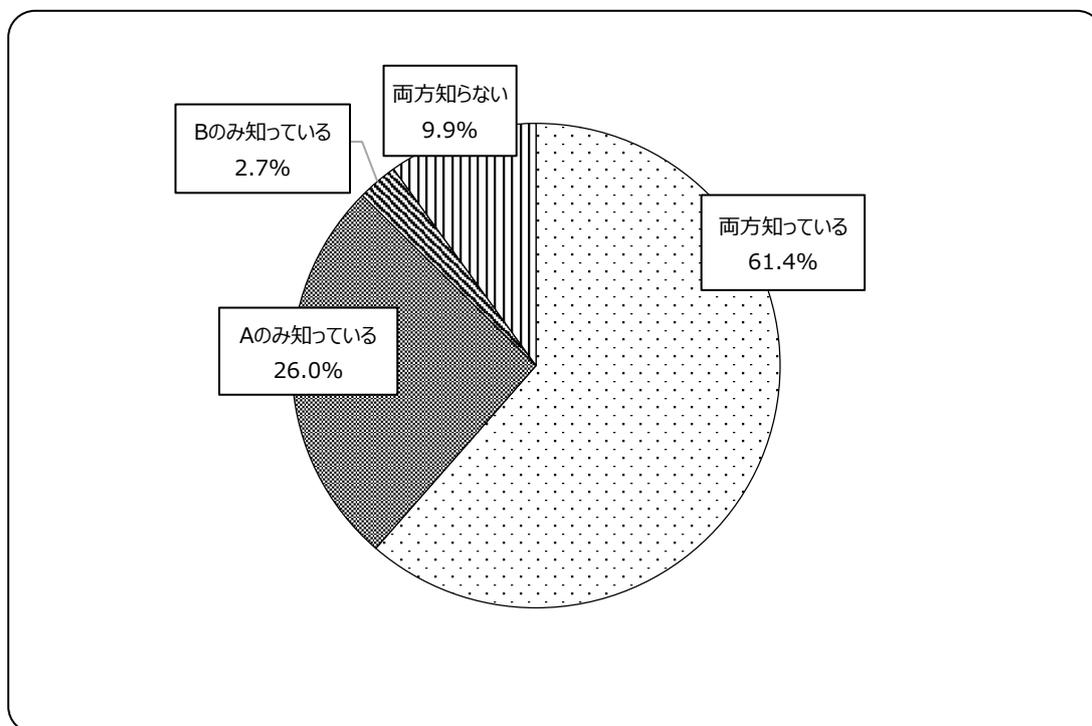
自転車に乗るときのルールとして次の 2 つのルールを知っていますか。 【選択は 1 つ】

- A. 自転車は、歩道と車道の区別がある道路では、車道の左側を通行（左側通行）する。
- B. 自転車は原則車道通行だが、歩道を通行する際は、車道寄りを徐行しなければならない。また、歩行者の通行を妨げることになる場合は、一旦停止をしなければならない。歩行者優先である。

「両方知っている」(61.4%)、「Aのみ知っている」(26.0%)と「Bのみ知っている」(2.7%)を合わせた 90.1%の人が自転車は原則車道通行であることを知っている。一方、「両方知らない」人は 9.9%であり、引き続き周知・啓発を行っていく。

	選択項目 (N=373)	回答数	構成比
1	両方知っている	229	61.4%
2	Aのみ知っている	97	26.0%
3	Bのみ知っている	10	2.7%

4	両方知らない	37	9.9%
		計 (回答総数)	373 100.0%



《自転車通行環境整備の通行頻度》

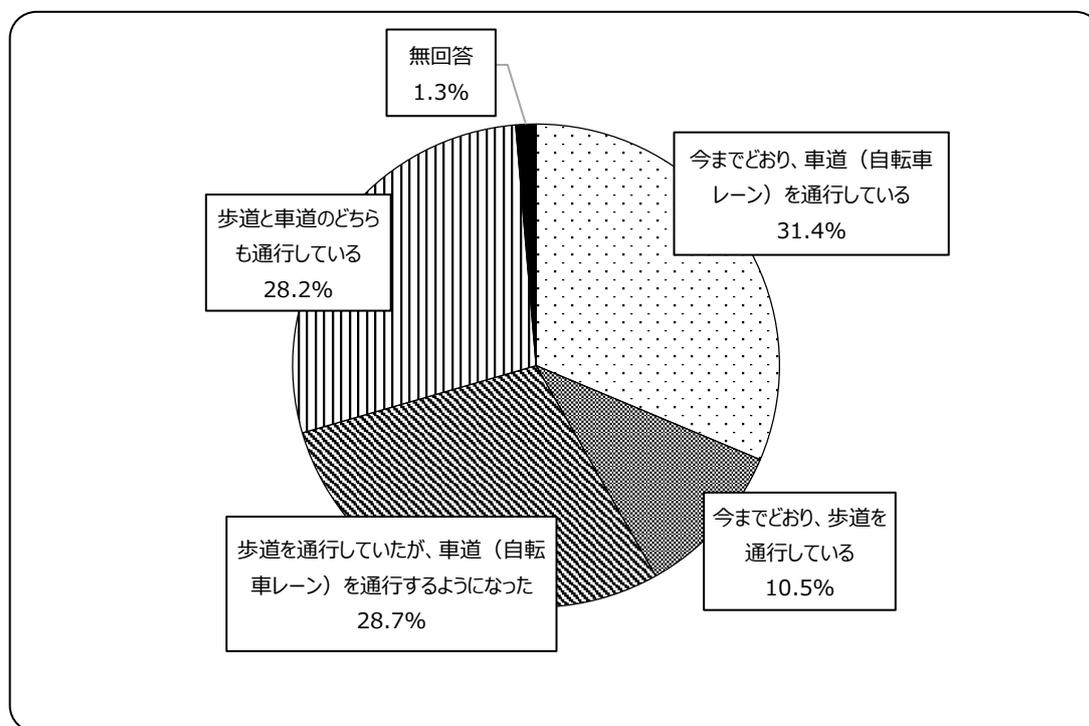
問 90. 問 88 で「1 どちらかというと「車道」「2 どちらかというと「歩道」と回答された方に伺います。

本市では車道に自転車レーン（車道に青色サイン）の自転車通行環境の整備を推進しています。あなたは、整備された自転車レーンを通行するようになりましたか。【選択は1つ】

「今までどおり、車道（自転車レーン）を通行している」（31.4%）、「歩道を通行していたが、車道（自転車レーン）を通行するようになった」（28.7%）を合わせると約 6 割（60.1%）の人が自転車レーンを通行している。一方、「今までどおり、歩道を通行している」（10.5%）と約 1 割の人が自転車レーン整備後も歩道を通行している。

	選択項目 (N=373)	回答数	構成比
1	今までどおり、車道（自転車レーン）を通行している	117	31.4%
2	今までどおり、歩道を通行している	39	10.5%
3	歩道を通行していたが、車道（自転車レーン）を通行するようになった	107	28.7%
4	歩道と車道のどちらも通行している	105	28.2%

	無回答	5	1.3%
		計 (回答総数)	373 100.0%

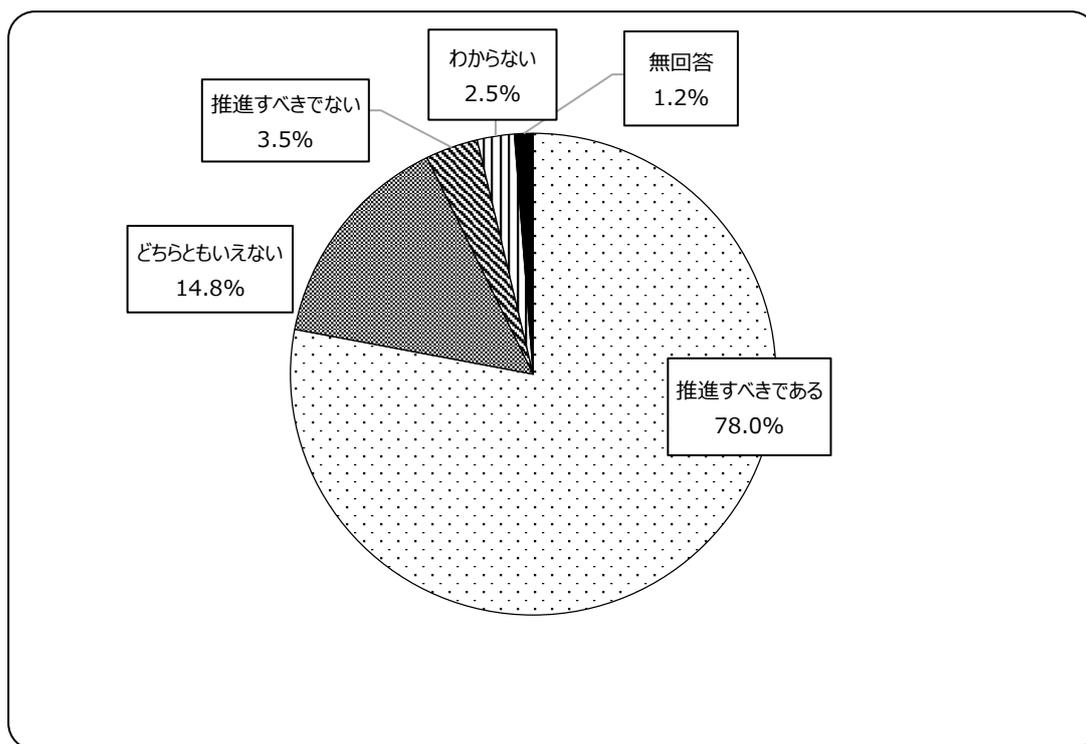


《自転車通行環境整備の推進について》

問 91. あなたは、自転車道や自転車レーン等の自転車通行環境の整備を、今後も推進すべきであると思いますか。 【選択は1つ】

「推進すべきである」と考えている人の割合が昨年度の 77.3%に対して、今年度は 78.0%、「推進すべきでない」と考えている人は昨年度の 4.1%に対して、今年度は 3.5%であり、ともに横ばいである。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	推進すべきである	379	78.0%
2	どちらともいえない	72	14.8%
3	推進すべきでない	17	3.5%
4	わからない	12	2.5%
	無回答	6	1.2%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《自転車のまちづくりに対する自由意見》

問 92. 自転車の利用促進、自転車の歩道通行や右側通行違反等の安全利用、自転車の通行環境などについて、ご意見がございましたらご自由にお書きください。 【自由記述】

【自転車の通行環境等について】

- 自転車の利用者数に対して自転車道が狭すぎる。駐車車両がレーンを塞いでいるときは、歩道を走行している。
- 自転車レーンが整備されたが、車道の幅が狭い場所に自転車レーンを作るのは自転車も車も怖い。十分な広さが取れる道路で整備すれば良いのではないか。
- 自転車利用の機会を増やせるように通行環境整備を進めてほしい。
- ヨーロッパのような自転車レーンと駐輪場も併せての整備を進めてほしい。
- 高校生の通学のため深井交差点から泉ヶ丘方面の自転車レーンを進めてほしい。
- 自転車レーンに駐車している車があるので通行に危険を感じる。

- 自転車レーンを人が歩いていて困る。
- 自転車レーンの幅が狭く車に巻き込まれそうで、歩道を走行している。
- 車と完全に分離した区別された安全な自転車レーンを整備してほしい。
- 自転車道や自転車レーンを整備しすぎると車道が狭くなり、駅前が今以上に混雑する。
- 道路に無理に自転車レーンをするより、歩道の視覚分離で整備する方が良い。
- 自転車レーンの水色は派手すぎて見づらい。もう少し目に優しい色調にしてほしい。
- 自転車レーンを反対方向に通行している人がいる。
- 自転車レーンのない道路では自転車が道路の中央を走っており危ないので、自転車レーンの整備は必要
- 自転車が歩道を通行すると高齢者は怖くて歩道を歩けない。自転車道を作ってほしい。
- 歩行者・自転車の事故防止、自転車と車の事故防止の観点から安全なまち環境を作ってほしい。
- 自転車と歩行者はまでも、自転車と自動車との分離を進めてほしい。
- 元々、自転車の通行環境を前提に道路を作っていないので、レーンのない車道は自転車を運転する側、自動車を運転する側の双方が危険。泉北は道路が広い分、商業施設近くは自転車レーンにもかかわらず路上駐車もあり、運転しにくい。歩道に自転車レーンを1本作るなど、道路に無理矢理自転車レーンを作るなら歩道に作る自転車レーンのほうが良いと思う。

#### 【自転車のルール・マナーについて】

- 自転車利用者のマナーがなっていない。狭い歩道では歩行者を追い越す際には、後ろから声を掛けベルを鳴らすくらいしてほしい。
- 自転車専用レーンの逆行、後ろからの無理な追い越し、信号無視、携帯電話ながら運転など、特に中・高校生などの若年層の自転車マナーの欠如が目立つ。市から警察署の担当部署や学校関係者への協力要請、広報紙・HPなどを通じた啓発を検討してはどうか。
- 歩行時に、急に後ろからきた自転車に急ブレーキをかけられて驚くことがある。
- 自転車に乗りながら携帯電話を見ている人を見かけるので危険
- 歩行者にとって自転車は怖いという感覚がある。前後に子どもを乗せ、傘を差し、ベルを鳴らし何台もの列をなして我が物顔で歩道を走っている。歩行者は肩身が狭くなるのはおかしい。自動車には免許が必要で規則に縛られるが、自転車は自由である。
- 歩行者がいるのに無視して、自転車が突然ぶつかってくるが多々あった。
- 堺市の自転車利用は放任状態にある。ルールを統一する必要がある。標識を増やしてルールを徹底することが必要
- 高齢者の自転車の危険運転をよく見かける。左右の確認なしでの車道の横断、ふらつき運転などの取り締まりも強化してほしい。ケガも怖いが本人達に自覚が感じられない。
- 自転車の運転ルール・マナーなど、高齢者への安全教育が必要
- 歩道のない道路を右側通行している。
- 小学校から高校まで全ての学年で安全利用学習（乗り方実習会）をすべきである。
- 車の免許のように、せめて講習会を受講しないと乗れない、違反者は罰則がある等、年代に応じた自転車利用のルール・マナーを教えること。

- 自転車レーンを通行せず歩道を通行したりして非常に危険。自転車に乗る人に自転車レーンの通行方法など、ルールを徹底してほしい。
- 小さい子どもの頃から自転車利用のマナーを教えるべきではないと思う。

#### 【取り締まりについて】

- もっと自転車のルール違反の取り締まりと罰則を強化してほしい。
- ルールを守らないのは、取り調べや罰則が甘いからだと思う。
- 車の違法駐車で進路を塞がれている場合があり、自転車は歩道を通行せざるを得ない場合が現実である。
- 自転車の通行環境をもっと整備して、警察等は違反自転車も積極的に検挙できるように努力してほしい。
- 歩道をバス並みのスピードで走る通勤自転車に毎日怖い思いをしている。警察に取り締まりをお願いしたが、一時的に改善されてもすぐに元の状態に戻っている。
- 自転車レーン走行中に車が幅寄せしてくるので、危険を感じる。
- 「自転車歩道通行可」の標識を意識することが大切だと思う。

#### 【補助金など】

- 堺は坂が多いので、市から電動自転車の購入補助があれば手に入れやすくなり、利用する人も増えると思う。
- 超高齢化社会に向けた策として、75歳以上の高齢者に三輪自転車を市の補助などで提供してはどうか。専用の駐輪場も併せて増やす必要がある。

#### 【コミュニティサイクル・シェアサイクル】

- 駅にコミュニティサイクルやシェアサイクルの看板などを掲出してはどうか。
- コミュニティサイクル・シェアサイクルではなくもっと手軽に利用できる単発のレンタサイクルがあれば利用度アップにつながるのではないかな。
- ヘルメット購入、空気入れサービス、販売店での整備点検を充実させてほしい。

#### 【その他】

- 泉北地区と堺の繁華街とで自転車の法律適用を同じ扱いにしているのはどうかと思う。少し区別して考えるべきではないかな。
- 自転車レーンや歩道も確保できないバス通りが堺には多くある。大型バスが通る路線は、車道と歩道の区別ができる道路への整備を進めてほしい。
- 国道310号をスムーズに走れるようにしてほしい。
- 自転車は歩行者とは違うので、一人一人が気をつけて乗り、ルールを守るしかないと思う。
- 堺の宝である緑道でのわがままな自転車通行を取り締まってほしい。

## 令和2年度 第1回 市政モニターアンケート報告書

1. 環境に関する意識や行動について
2. 広報活動について
3. 消費者問題について
4. 文化芸術について
5. 自転車の「安全利用・利用促進」及び「通行環境」について

発行月 令和3年2月

編集・発行 堺市市長公室広報戦略部市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <http://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1-C3-20-319